

第3次下関市総合計画（原案）に対するパブリックコメントの実施結果

実施期間　：令和6（2024）年9月2日～10月18日

提出者総数：123人

意見総数　：485件

反映区分

- | | |
|----------------------------------|------|
| A　ご意見を踏まえ原案を修正したもの | 68件 |
| B　ご意見は原案に反映済み、または、検討の結果修正しなかったもの | 63件 |
| C　今後の取組の参考とするもの　ほか | 354件 |

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
1	1章	16		産業・就業の方向性の欄で、人口減少が見込まれる状況の中で、若者や女性など幅広い人材の多様なニーズに応じた就業機会を創出とあるが、市の臨時職員に新規応募しても、長年臨時されている人ばかりの登用が目立ち、新規に臨時採用されていないので新規の臨時職員も入れた方が市の活性化につながると思う。	市の会計年度任用職員については、1会計年度を任期としていますが、その任用にあたっては、引き続き広く募集を行うとともに、地方公務員の任用における成績主義や平等取扱いの原則を踏まえ、競争試験又は選考による客観的な能力の実証に基づき行ってまいります。	C【今後の参考・その他】
2	1章	34	○	P34の上から8行目から9行目にかけて「商工業については、戦略的かつ積極的な企業誘致に取り組むとともに、地場産業の育成支援をはじめ、新産業の創出促進等により地元企業の内発展開を促進します」とありますが、「内発展開」とは何ですか。注釈をつけてほしいです。	「内発展開」が分かりにくいというご指摘を踏まえ、記載を改めます。	A【反映する】
3	1章	34.37		新たな農業・漁業の成り手を増やすには、兼業ではなく農業や漁業専業で「十分食べていける」と確信できるだけの改革やアピールが必要であると考えます。とりわけ新たに農業・漁業に専業で取り組んだ人の成功事例およびその要因を市の内外に幅広く発信することが必要であると考えます。	ご意見を踏まえて魅力ある情報発信となるよう検討してまいります。	C【今後の参考・その他】
4	1章	35	○	下関は捕鯨のまちとしても有名ではあるが、新母船が完成した際も、関係者の方が優先的に船内見学をするなどしているため、もっと市民に対しても捕鯨を身近に感じてもらうための取組が必要だと考える。そうすることで、市民が自身の地域に対して誇りを持ち、より産業が発展していく景気になると考える。	捕鯨を産業として発展させていくためには、鯨肉消費の拡大が不可欠と考え、鯨食習慣が身近なものとなるよう、官民一体となって取り組んできたところです。今後も鯨食普及や鯨肉消費拡大に努め、捕鯨産業の発展に向けた下支えすることが重要と考えております。	C【今後の参考・その他】
5	1章	36		■(1) 生産流通基盤の整備 ①農業生産基盤の整備 ※人手不足などの解消にスマート農業の推進とあるが、支援を受けるには小規模農業者では駄目のようなので、要件を拡大することが大切である。よって、小規模農家まで拡大するとすべき。	スマート農業の推進に係る小規模農家等の対象拡大につきましては、ご意見を踏まえて今後検討してまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
6	1章	36	○	漁港施設の長寿化・漁港の整備について 近年では温暖化の影響もあり、これまで通りの漁業ができなくなっていると聞いています。下関の漁業が衰退する可能性もある中で、こうした事業はどれほどの比重を置いた取り組みになるのでしょうか。	地球温暖化を含めた様々な要因により、10年前と比べると本市水揚量・水揚金額は減少しておりますが、漁港施設の長寿化・漁港の整備は、水産物を安定供給するため、漁業活動に必要な漁港施設を将来にわたって健全に保持していくことを目的に、老朽化した施設整備を行う重要な取り組みと位置づけております。	C【今後の参考・その他】
7	1章	36	○	③漁業生産基盤の整備について 下関といえば「ふぐ」が有名とイメージがあり、水産資源を守る、生産量を上げるという意味で大切だと思いました。	水産都市である本市では、一番のブランド力を持つ「ふぐ」はもちろん、その他の水産資源の保護と生産量向上も重要であると考えております。そのための施策として、引き続き、漁業生産基盤の整備をはじめとした様々な取組を推進してまいります。	C【今後の参考・その他】
8	1章	37		■(2) 担い手の確保・育成 ①新規就農者に対する支援 ②多様な担い手対策の推進 ※担い手育成は、認定農業者、集落営農法人に集約・支援で解決するとは思えない。 ※まず、地域で一生懸命に頑張っている小さな営農者を支援すること。市外の出ている後継者が戻って農業の担い手となる希望を掲げることが大切である。全くこの支援の記載がない。これでは現在、苦勞している農業者には先行きは暗い。	小規模営農者・後継者育成への支援については、農業振興において重要な施策のひとつであると考えますので、原案に追加記載いたします。 地域で頑張っている小規模営農者は、本計画では「②多様な担い手対策の推進」における認定農業者に含まれており、様々な支援を受けることができます。 後継者育成への支援については、ご意見を踏まえて、原案に追加記載いたします。	A【反映する】
9	1章	37	○	第1章 産業・就業 P37(2)担い手の確保・育成 ①新規就業者に対する支援 主な取組内の「農業・漁業の魅力発信」について ⑦労働人口が減少しているのは発信が十分でないからという認識？世にある仕事と比べて魅力が十分あると思っているのか？まず魅力の向上が先。その先の発信。魅力が少ないものに対し発信(アピール)が先行すると見掛け倒しの形になってしまい、結果として定着にはつながらない。そのことを考慮し再考、記述の変更をすべき。	ご指摘のとおり、生業としての農業・漁業の魅力向上が必要不可欠と考えます。 そのため、第1章第1節の〈取組の方向〉に記載しているとおり、様々な施策に取り組むことで、魅力の向上に努めてまいります。	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
10	1章	37	○	担い手の確保に農業・漁業の魅力を発信とあるがどの年代の人にアピールしていくのか明確にし絞る方が良いのではないかと。(中学生なのか、高校生なのか、大学生なのか…)	若者には将来の職業選択、定年後はやりがいとしての選択であつたりと幅広い年代の人に対する発信が必要と考えております。アピールする年代の絞り込みにつきましては、個別の事業を企画・立案する際に重要となりますので、引き続きターゲットを明確にし、様々な事業を展開してまいります。	C【今後の参考・その他】
11	1章	38		ぜひ安岡ねぎも入れてほしい。	ご指摘のとおり安岡のねぎは、本市の代表的な農産物であると考えます。 地域ブランドとしては「下関ねぎ」の名称が一般的であると考えますので、当該名称で原案に追加記載いたします。	A【反映する】
12	1章	38		①「鳥獣被害防止対策等の支援」に関して、「有害獣として捕獲したイノシシやシカの肉をジビエとして有効活用する取組を支援します」とありますが、これを「下関ジビエ」として新たにブランド化するのがよいのではないかと考えます。 ②また、「地元産木材の搬出の促進」とありますが、地元産木材を使った木造住宅や近年都市部で注目され施工件数が増えている木造中高層建築の新築に際し、補助金・助成金を交付するのが大きなインセンティブとして有効ではないかと考えます。	①ジビエのブランド化については、下関市ならではのストーリー性が必要であると考えます。ご意見を踏まえ今後の取組を進める上で参考とさせていただきます。 ②地元産木材を使用するには、材の安定供給を図るため、搬出間伐の実施や搬出のための路網整備の支援が必要です。また、搬出された材の利用促進を図る支援も必要であると認識しており、公共施設だけでなく広く一般住宅等を対象として、地元産木材を使用した新築、増改築等に対する支援策につきましても検討してまいります。ご意見も踏まえ、主な取組の記載を修正いたします。	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
13	1章	38	○	<p>P38(4)生産振興の推進 ②有害鳥獣防止対策等の支援 ⑧主な取組について ジビエを有効活用する取り組みに関する記述が見当たらない。まず「有効活用」について、物としてのニーズの調査はしているのか？(一般？レストラン？数量は？種類は？食用か否か？等)=販路</p> <p>本当に有効活用する気があるなら、その結果を見てブランディングに入るべき。 市費で払い続けるなら別の話であるが、猟師の自立した安定的な収入の確保を考慮しても、10年の見通しとして、これらを踏まえた内容&主な取組を練り直すべき。</p>	ご意見を踏まえ今後の取組を進める上で参考とさせていただきます。	B【反映済み・原案のまま】
14	1章	39		<p>水産物に関しては、近年温暖化によりふくの漁場が大きく移動していることを踏まえると、「ふくの街」としての下関の地位は安泰ではなく、ブランド力の低下・喪失に官民ともに強い危機感を持つ必要があると考えます。この点、「下関漁港あんこう」や「下関北浦特牛イカ」等の新たな下関ブランドの浸透・定着の推進に関しては評価すると同時に、更なる推進を望みます。 また、鯨肉に関しては、現状はいまだに「高級品」です。鯨肉文化の復興のためには、鯨肉をより安価に、日々の食卓に出せる価格帯にする必要性があり、それに向けた官民挙げての取組が必要であると考えます。</p>	<p>「ふく」のブランド力低下については、官民とも強い危機感を持っております。その他の本市水産物ブランドも含め、更なる魅力向上と継続的な情報発信により、水産物ブランドの浸透・定着を推進します。 また、鯨食を普及させるためには、飲食店での鯨料理の提供だけでなく、鯨肉が家庭で食べられることが重要と考え、家庭用食材として位置付けられるよう取り組んでまいります。鯨肉の価格につきましては、安価に購入可能な部位もあることから、小売店での販売促進やその部位を使用した料理レシピの開発など、官民協力して取組を進めてまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
15	1章	39		<p>■(4)生産振興の推進 ⑤農産物のブランド化の推進 ○くじら給食の実施による…… ※学校給食には、高価な鯨肉より、まず、生産振興の推進には、地元の農産物(米、野菜等)の地産・地消の推進が生産振興ではないか。 ※地産地消に関するテーマは、どこかに述べてあるのかな。</p>	<p>捕鯨においては、新しい捕鯨母船が本市を母港とするなど、本市の主要産業の一つとして根付く時機であり、今後も鯨肉消費拡大などに取り組み、下支えすることが、捕鯨を含む本市産業全体の活性化につながるものと考えております。そのため、将来にわたり鯨を消費してもらうため、若い世代への鯨食習慣の定着が必要と考え、今後も小中学校等を対象としたくじら給食の提供を続けてまいります。 なお、農畜産物の地産地消につきましては、(4)①「需要に対応した生産振興の促進」に記載済となっております。</p>	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
16	1章	39	○	<p>P39(4)生産振興の推進 ⑤農水産物ブランド化の推進 ⑨主な取り組み「鯨肉の消費拡大」について 前回、第2次計画ではは鯨食文化の普及にとどまっていたが、今回はこれまで以上に推進すること。鯨肉は値段、家庭での調理の幅(あんまり加熱しないほうが美味いんじゃないかって思ってる)、が味に合っていない。豚、鶏、牛のように消費の拡大の可能性がある土俵にはなく、合理的ではないと考える。</p> <p>文化としてなら理解できるが、外食時の刺身、給食の竜田揚げ以外、みんなそんなに食べてるのかと思う。主な取り組みとしてこれから費用をかけて推進するにはいささか合理性を欠いている。努力とかじゃなく、供給しないとイケない理由が先になっており、普及活動で止めるべき。</p> <p>上記の欠点を超えた価値をつけて一般に普及・消費拡大できる算段がお有りならその根拠を示した上で実行するのが筋であるが如何か。</p>	<p>鯨肉に関しては、①高タンパク、低脂肪、低カロリー、②低いアレルギー性、③豊富な有効成分など健康的な食材として注目されており、その他の畜肉等と比べても、有益な食材であるため、消費拡大の可能性は高いと考えております。</p> <p>また、長きにわたる商業捕鯨の中止により、食材としての位置付けが希薄となっていましたが、捕獲後の保存技術の向上等により、様々な料理への活用が見込まれ、多くの調理人により新しい鯨料理が開発されているところです。</p> <p>これからも、官民一体となり、飲食店での鯨料理の提供促進を進めるほか、家庭料理向けのレシピ開発や小売店での販売推進に取り組み、鯨食の普及や鯨肉の消費拡大に努めてまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
17	1章	39	○	DXやGXなど馴染みのない言葉の説明を簡単にでも書いていただきたいです。	原案では用語の解説をしておりませんが、冊子化する時点ではご指摘の用語を含め解説いたします。	C【今後の参考・その他】
18	1章	40		<p>「藻場・干潟の再生」は漁業にも直結する問題ですので重点政策として取り組んで欲しいです。</p> <p>「漁村のにぎわい創出」に関しては、美しい海の見える空き家をリノベーションしドミトリーや民泊などを整備することで、関係人口を増やし、「漁業をやってみたい」と思う人を増やしていくことがにぎわい創出に有効ではないかと考えます。</p>	<p>生物の生息場所、特に幼稚仔魚などの育成場所として非常に重要である藻場や干潟の再生は、沿岸の水産資源増大につながるものと考えております。漁獲量の増大や漁業収入の安定化を目指し、重点的に取り組んでまいります。</p> <p>併せて、「漁村のにぎわい創出」では、担い手の確保にも繋がるような展開も今後検討してまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
19	1章	40		漁協のみならず、農協や森林組合等の体制や役割の見直しを行うべき。	関係団体との連携、役割分担については今後の検討課題とさせていただきます。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
20	1章	41		<p>①「地域のニーズを把握するとともに、新規出店や雇用、新たなコミュニティの創出に向けた取組として、観光分野との連携を踏まえた商業地のにぎわいづくりや、地域コミュニティに資する商店街の振興を図る必要があります」とありますが、商店街の空き店舗を市や民間不動産業者が買い取り建替やリノベーションを行い、上層部を市営住宅として整備あるいは借り上げることで中心市街地の活性化につながるのではないかと考えます。</p> <p>②また、「スタートアップ支援によりイノベーションを創出」とありますが、前述のとおり保守的・排他的な下関市民の意識改革なくしてそれは不可能であると考えます。 「大陸の窓口として地理的優位性や交通アクセスに恵まれ」とありますが、それらは既に「アジアの玄関口」を標榜しその実現に向けて都市戦略を緻密に組み立ててきた福岡市にその地位を完全に奪われたという現状を認識し、それを踏まえて福岡市とどのように差別化させるかという観点から政策を立案する必要があると考えます。</p> <p>③また、「若者や女性のニーズが高い情報通信業などの求人増加に向けたオフィスの誘致が課題となっています。」とありますが、その大前提として市が補助金を交付して建設されたエストラスト下関センタービルの市外の企業からのテナント誘致の苦戦の総括をする必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>④さらに、「地域住民の生活拠点としてだけでなく、観光客を取り込むことで商店街の活性化を目指します。」とありますが、商店街が郊外型店舗を展開する大資本に対抗するだけの取組にどれだけ覚悟が持てるかが疑問です。むしろ他都市、同様変化を嫌う人たちが殆どではないかと強い憂慮の念を抱いています。</p>	<p>①本市では現在、空き物件活用ビジネス支援事業の補助対象者を賃借人だけでなく、所有者、管理者まで拡充することで、個人や民間の事業者の積極的な補助金活用を促し、空き店舗・物件の解消及びにぎわい創出に努めているところです。また、商店街への新規出店を誘導できるような施策の検討は必要と考えています。 また、公民連携のもと、遊休不動産のリノベーションを通じて、まちを再生し、産業の集積をはかることで、雇用の創出やコミュニティの再生につなげるまちづくりにも引き続き取り組んでまいります。</p> <p>②スタートアップ支援については、都市部や海外のスタートアップ企業との連携により、本市にスタートアップ企業が持つ技術とともにリスクをもって課題に挑戦し、失敗の中から学ぶというアントレプレナーシップマインド(起業家精神)を地域に徐々に取り入れ、保守的・排他的と言われる下関市民の意識の変革を目指します。 福岡市の都市戦略や取組を参考にしつつ、下関市ならではの視点を備えた施策を検討、展開したいと考えています。</p> <p>③オフィスビル建設促進補助制度については、時期がコロナ禍と重なり企業の動きが見込みと異なったことも一因だと分析しておりますが、本施策を含め他施策についても、取組みの成果や課題等の振り返りもしながら、施策を検討、展開してまいります。</p> <p>④商店街については、本市に限らず全国の地方都市の商店街は、域内スーパーや郊外型大型商業施設との競合、高齢化、後継者不足など多くの課題を抱えています。そのような中、一部商店街では、商店街の再興に向けて新しい取組みが始まっており、市も伴走支援をすることで、本年7月に中小企業庁「地域にかがやく わがまち商店街表彰2024」の受賞を得るに至っています。本市としては、このような覚悟とやる気を有する商店街を積極的に支援し、商店街の活性化を図ってまいります。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
21	1章	41	○	<p>P41(1)地域商業力の強化 ①魅力のある商店街づくりの推進について</p> <p>⑩商店街の消費者におけるニーズってどんなことなのか？ 第1回活力部会 議事録P7に「商店街は買い物だけでなく、人が集まり交流できる魅力のある商店街等を考えている」とあるが全く同感である。国内外そうだが、その周辺で生活している風景が商店街の1番の魅力。「観光客を取りこむ」と言うところ不自然。(市がしたいように記述しているにすぎない。)捉え方がそもそもニーズを汲んでないので消費者ニーズに合わせた記述に変更すべき。</p> <p>⑪主な取組について 加えて、今まで実施してきた、スタンプラリーとか商品券とかじゃダメ。(ダメというよりはその結果どうなったかの分析の有無。)延命措置的な過保護は下関市全体の今後に繋がっているかを考えると効果はかなり薄い。ニーズを含めて自立していけるような手助けでないと無意味。よかった時代の唐戸商店街はなんだったのか分析し取組を熟考すべき。</p>	<p>⑩商店街は郊外型商業施設と異なり、その周辺で生活している方々を主に顧客としています。消費者ニーズは様々ある中、購入を希望する商品がそこで入手できるかが重要と考えますが、空き店舗が多い商店街ではそれが叶わないこともあるため、その対策が必要です。 また、商店街はまちづくりの機能も担っており、消費者ニーズとして挙げられる一つとして、個店と消費者のコミュニケーションと考えています。 本市の人口は減少傾向にあるため、商店街周辺に居住する方のみを対象した場合、顧客数も売上額も増加は望めません。観光地・施設が近隣にある商店街では、観光客の取り込みが存続にとって重要と考えています。</p> <p>⑪商店街全盛期後、モーターリゼーションの発展、ECの普及とともに消費者のニーズや購買行動が変容しています。そのため、一部商店街では、商店街の再興に向けた新しい取組として、AIカメラによるペルソナ情報やPOSによる購買情報からマーケティングを行うことで、販売商品や店舗構成の検討を行うことで消費者ニーズに即した商店街運営を開始しています。</p>	B【反映済み・原案のまま】
22	1章	41	○	<p>今の時代に商店街を活性化させることが本当にできるのか、する必要があるのか</p>	<p>商店街は多くの店舗が集積して形成されており、店舗の数に応じた雇用を生み出し、地域経済に貢献しています。その雇用を守るため、商店街というまちを守るため、地域住民のコミュニティを守るため、商店街を活性化する必要はあると考えます。 本市に限らず全国の地方都市の商店街は、域内スーパーや郊外型大型商業施設との競合、高齢化、後継者不足など多くの課題を抱えています。 そのような中、一部商店街では、商店街の再興に向けて新しい取組が始まっており、市も伴走支援をすることで、本年7月に中小企業庁主催「地域にかがやく わがまち商店街表彰2024」の受賞を得るに至っています。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
23	1章	41	○	活力のある町をつくるにあたって、福岡市や北九州市に見劣りしない町をどうやってつくっていくのか、具体的に気になった。	本市は少子高齢化や転出など人口減少に伴い、生産年齢人口も減少することが予想されています。活力あるまちを維持するには、雇用を創出するさまざまな企業の存在が必要不可欠ですが、福岡市・北九州市とは規模が異なるため、下関市の特性を活かした商工業の振興に取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】
24	1章	41	○	P41の下から5行目に「商店街を訪れる人を増やすため、消費者ニーズに即した商店街づくりを促進」とありますが、「商店街を訪れる人を増やすため、消費者ニーズに即した商店街づくりや駐車場・駐輪場の整備、公共交通機関の利用を促進」と修正してほしいです。「どうやって商店街、にぎわいがある場所に向かってもらうか」の視点が欠けていると感じます。	全国の多くの商店街では、廃業した店舗がその後解体され、コインパーキングとなるケースが増えています。商店街内にコインパーキングが増えると、車で来街する方にとって便利である一方、多彩な個店が集積する商店街の魅力・利便性が減少するものと考えています。市が、商店街利用促進を目的に新規に駐車場を整備する予定はありませんが、一部の商店街では、ウェブアプリを開発することで、商店街近隣駐車場の満空情報と併せて商店街各個店の情報発信を行うことで来街動機の創出、利便性向上に努めているところです。	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
25	1章	42		<p>①「空き家・空き店舗対策の推進」とありますが、空き家は中心市街地に多く、空き家対策を行うのであれば郊外化の流れにいかにかの戦略を立案することが必要であると考えます。また、空き家を市が借り上げて、子育て世代向けの低家賃の市営住宅にすれば低コストで子育て世代への住居の支援が出来るのではないかと考えます。</p> <p>②「中心市街地の商業地の求心力向上」とありますが、その前提として築50年近く、空きテナントが多いシーモール下関の老朽化・建替問題は避けて通れないと考えます。建て替えにあたっては地元資本(下関商業開発)単独での運営にこだわるのではなく、イオンや三井不動産など商業施設の開発ノウハウに定評のあるデベロッパーの参加を仰ぐことの必要性も検討に値するのではないのでしょうか。</p> <p>③「企業経営の安定化、体質強化」に関してですが、中小企業に多い所謂「ゾンビ企業」をいたずらに融資や補助金で延命させるのではなく、戦略的に整理淘汰することによる企業の強靱化・生産性向上が必要ではないかと考えます。</p>	<p>①空き家対策の一環として実施している、空き物件活用ビジネス支援事業において、補助対象者を賃借人だけでなく、所有者、管理者まで拡充することで、個人や民間の事業者の積極的な補助金活用を促し、空き店舗・物件の解消及びにぎわい創出促進に努めているところです。</p> <p>②駅前商業施設の活性化は、本市だけでなく全国の多くの地方都市で課題となっています。下関駅前の商業施設は、ご指摘のとおり築後年数が経過しているものの、下関駅とその周辺は中心市街地活性化基本計画に基づく再開発を平成27年に終え、9年しか経過していません。民間施設の再開発は民間事業者の負担となるため、再度の再開発については官民で慎重な協議を要すると考えています。</p> <p>③少子高齢化により全国で事業承継が課題となっており、2025年問題も叫ばれています。黒字でありつつも後継者がおらず、今後廃業する企業も数多く生じることが懸念されるため、地域経済の維持のためにも黒字企業の存続を図るとともに、ご指摘の「企業の強靱化・生産性向上」が必要と考えます。</p>	C【今後の参考・その他】
26	1章	42		<p>■(1) 地域商業の強化 ②空き家・空き店舗対策の推進 ※どんな実施計画が示されるか期待しています。また、早期に取り組む旨も必要ではないか。</p>	<p>空き物件活用ビジネス支援事業により、空き家や空き店舗の解消及びにぎわい創出促進に努めているところです。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
27	1章	42	○	(1)地域商業力の強化 ③中心市街地の商業地の求心力向上について ⑫今後10年(今もなお)、下関の中心市街地が駅前であるとは考えにくい。求心力がどこにあるのか把握し、その場所に施策を集中すべき。ここではそのような調査に基づく決定ではなく行政が定めたから、唐戸周辺の観光とエリアを繋げて計画を進めているだけ、駅周辺の商業施設を保護している状態になっており、伸びが全くなく市内の実情と乖離がある。エキマチ広場の利活用の促進も長らくやっているが全く成果が上がってないこともいい例であるように思う。目指すべきほどのニーズがないということの現れ。市民、近隣住民、その他諸々の客観的な意見をベースにどのエリアを伸ばすべきか明確に捉え、取組に移す必要があると考えるが如何か。	令和4年3月に、海峡エリアのまち全体の方向性を示すために「下関海峡エリアビジョン」が策定されました。このビジョンは、市民、事業者、行政など同エリアに関わる全ての人が共有すべき「羅針盤」として位置づけるものです。その中で下関駅エリアは「小さな取組が集まって、まち全体が多世代の居場所になる多世代ウォークアブルエリア」と定められており、同ビジョンに沿って引き続き活性化に取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】
28	1章	42	○	エキマチ広場でのイベントは少なく、より沢山のイベントを誘致して欲しい。	エキマチ広場でのイベントについて、多くは市がエキマチ下関推進協議会に委託して開催しているものです。委託として開催するイベントの回数は年間20回程度であるため、その他の週末のイベント開催を実現するには、民間事業者の自主的な開催が必須となります。そのため、本市では令和5・6年度でエキマチ利活用促進事業において、自主的に同広場でイベントを開催する人材の掘り起こしや育成を実証事業として取り組んでいます。	C【今後の参考・その他】
29	1章	42	○	空き家の活用について、市民のための場所にできたらいいなと思った。リノベーションをして、高齢者のための老人ホームにするのはどうだろうか。	空き物件活用ビジネス支援事業により、空き家や空き店舗の解消及びにぎわい創出促進に努めているところです。なお、この事業においては、当補助金を活用して老人ホームの運営にも利用いただけます。	C【今後の参考・その他】
30	1章	42		空家・空地を取り除きを含め利用可能なゾーンとして活用できるよう整備事業を行うことを検討。	ご提案の内容は、P104第5章第1節の記載に含まれております。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
31	1章	42	○	エキマチ広場でこの前イベントが開催される予定だったが、雨で中止になっていた。屋根をつけるなどして、そういうところを改善するともっと活用しやすくなると思った。	エキマチ広場のイベントは、雨天の場合にはシーモール4階のシーモールホールで開催するなど配慮しているところです。	C【今後の参考・その他】
32	1章	42	○	空き家のリノベーションや、商店街の復興は興味のわく取組だと思えますが、今住んでいる人、2階の居住者などが嫌がるのではと思っています。そこに対する対策が知りたいです。	商店街には、1階店舗部分が閉店しているものの、2階居住部分に居住している、併用住宅も存在しています。空き物件活用ビジネス支援事業補助金については、居住者等の理解が得られた物件について支援をしております。	C【今後の参考・その他】
33	1章	42	○	空き家、空き店舗を活用してカフェや施設をつくるべき。商店街などは今の若者にも魅力的(平成レトロなど昔のものがやはりはじめているため)であるから、そこに若者が入れるようなカフェとかあれば、利用する人多くなる。盛んだったらレトロなものとしてSNSにUPしたくなる	空き物件活用ビジネス支援事業補助金を活用することで、カフェや飲食店などを開業する方は多く存在しています。なお、当補助金は市内であれば出店地域や場所に制限がないため、今後は商店街にも出店を誘導できるような施策の検討が必要と考えています。	C【今後の参考・その他】
34	1章	43		「若者や女性のニーズが高い情報通信企業などの新規立地による雇用創出を図るため、オフィスの誘致を促進します。」とありますが、これに関しては完全に福岡市の独壇場であり、下関市が正攻法で真正面から勝負を挑むと極めて危険であると考えます。政策の再検討が必要であると考えます。 「生産性向上、高付加価値化の促進」に関しては、ぜひ重点政策として取り組んで欲しいです。 「成長産業等への参入促進」に関して、「企業間ネットワークの構築による成長産業等への販路開拓」が主な取り組みとして挙げられていますが、それだけではなく市独自、あるいは山口県や国とも連携した融資制度や補助金・助成金制度の整備が必要であると考えます。	企業誘致における今後の具体的な取組については、福岡市の都市戦略や取組を参考にしつつ、本市の強み・弱みや時勢を踏まえ、下関ならではの視点を備えた施策を検討・展開したいと考えています。 「生産性向上、高付加価値化の促進」に取り組んでまいります。 「成長産業等への参入促進」については、半導体等の成長分野への進出を支援する取組に応じて、設備投資等に必要な融資制度や補助金を活用いただくとともに国・県の補助メニューも適切に情報提供することにより、市内企業の成長を促進してまいります。	B【反映済み・原案のまま】
35	1章	43	○	半導体の工場の誘致	企業誘致における今後の具体的な取組については、引き続き検討してまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
36	1章	43	○	企業誘致を頑張してほしい。大手がないと若者流出は止まらないのでは？	ご指摘のとおり、就職を契機に市外に転出される若者は少なくありません。 企業誘致における今後の具体的な取組については、引き続き検討してまいります。	C【今後の参考・その他】
37	1章	44	○	④貿易の支援のJETROとは何なのか具体的に書いた方が良くと思う	原案では用語の解説をしておりますが、冊子化する時点ではご指摘の用語を含め解説いたします。	C【今後の参考・その他】
38	1章	44		<p>①「販路開拓の促進」に関して、「下関産品のブランド再構築」とありますが、水産都市として繁栄した過去の栄光にすぎただけではなく、新しい特産品の開発にも重点的に政策として関与する必要があると考えます。</p> <p>②「貿易の支援」に関して、「中間層、富裕層人口の増加が見込まれる国・地域の市場背景を踏まえた販路開拓」が挙げられていますが、これから先社会が貧困化していく日本だけではなく、海外の新興国の富裕層に下関ならではの特産物を売るという視点は極めて重要であると考えており、行政も積極的に推進して欲しいと考えます。</p> <p>③「創業の支援」に関して、前述のとおり封建的で現状維持を好み、変化を嫌い新しい挑戦に対しては冷淡、時には妨害さえもしてきた下関市民の気質や歴史を踏まえると、このような環境整備は不可能ではないかと考えます。現状を打破するには、市民の意識改革を促すような政策立案が重要かつ急務であると考えます。</p>	<p>①「販路開拓の促進」に関しては、下関産品の新たなブランドコンセプトに基づき、本市の「強み」となりうる農林水産物や鉱工業製品、生産技術、観光資源等の地域資源を活用して商品開発を行う市内中小企業者を積極的に支援します。これにより、多様な下関産品で幅広い顧客層の獲得を目指します。</p> <p>②「貿易の支援」に関しては、「下関地域商社」の枠組みにおいて各構成団体の協力を得ながら、本市の優れた産品を積極的に海外に売り込んでいくとともに、市内中小企業者が輸出に取り組みやすい環境を醸成して、市全体で輸出を促進してまいります。</p> <p>③「創業の支援」に関しては、VUCA(ブーカ・先行きが不透明で、将来の予測が困難)と言われる現在の環境においては特に、新たなものを拒み、新たな挑戦を妨害するような気質のある地域に発展はありません。一方でこのような気質は長きにわたる価値観や経験により形成されたものであり、このような意識に変化をもたらすことは難しいのも確かです。したがって、新たな価値観、新たな挑戦が成功し形となる事例を一つでも多く創出し、成功体験を地域で共有することにより、持続的な地域の発展には新たな挑戦や発想を受入れ、それが地域の成長・活性につながることを示しながら、意識改革を進めていきます。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
39	1章	45		<p>「地域循環型経済の推進」に関して、不安定の度合いが高まるグローバル経済の急変に対応するためにも、地産地消・自給自足経済を今の段階から構築することが急務であり、重点施策として取り組んで欲しいです。</p> <p>「観光需要の取込による活性化」に関して、今の下関の観光は多くが「福岡のおまけ」的なポジションであり、下関をメインとした滞在型へと転換していかないと実現は不可能であると考えます。</p>	<p>「地域循環型経済の推進」については、本市の農林水産物や鉱工業製品、生産技術、観光資源等の地域資源を活用した商品の売上を伸ばしていくことで、地域内の仕入れを促進し、製造事業者のみならず地域資源の生産者にまで利益を還元して、地域経済に良い循環を作ってまいります。</p> <p>いただいたご意見は、今後の検討の際に参考とさせていただきます。</p>	C【今後の参考・その他】
40	1章	46		<p>①「本市は、少子高齢化や若者の市外流出が顕著にあらわれ」とありますが、「若者の市内就職の支援」だけではなく、なぜ若者が下関から出ていくのかの分析がこれまで不十分・不徹底であったと考えます。場合によってはシンクタンクやコンサルティングファームに調査を依頼し、より広く深い客観的な視点から徹底的に原因を掘り下げてもらうことも必要であると考えます。</p> <p>②同様に「企業誘致等による雇用の創出」に関して、これまで企業誘致がうまくいかなかった理由の分析無くして新たな企業誘致の成功は不可能であると考えます。</p>	<p>①本市においては、若者世代の就学・就職時の市外転出が多い一方で、就学を終えた若者の本市(地元)への転入者数が少ないことが特徴となっております。ご指摘のとおり、今後も流出についての分析を行ってまいります。</p> <p>②これまでの企業誘致に向けた取組の成果や課題等を振り返り、今後の施策を検討、展開してまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
41	1章	46	○	<p>①<現状と課題>の文章が長いので、箇条書きにしたほうが良いのではないかと。</p> <p>②人口流出対策は企業誘致の他になにかあると良いと思う。</p> <p>③起業やスタートアップへの支援を行うべきであると考えた。</p>	<p>①<現状と課題>については、できるだけわかりやすい説明を心掛けていることから、文章が長くなっているものもございます。</p> <p>②人口流出対策は、当ページに限らず、基本計画の第1章～第8章におけるあらゆる施策を総動員して効果を見出すものです。</p> <p>③スタートアップ企業を支援し、地域にスタートアップ企業を呼び込むことで、人材の流入、地域での雇用の創出を目指します。また、将来的には下関市から世界へ羽ばたく企業が生まれることを目指します。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
42	1章	47		「若者の市内就職の促進」に関してはP46同様に若者の市外流出の原因のより深い分析が必要であると考えます。	本市においては、若者世代の就学・就職時の市外転出が多い一方で、就学を終えた若者の本市(地元)への転入者数が少ないことが特徴となっております。ご指摘のとおり、今後も流出についての分析を行ってまいります。	C【今後の参考・その他】
43	1章	47	○	(2)人材の確保・育成・定着 ①若者の市内就職の促進 主な取組 地域の仕事の魅力発信について ③仕事を選ぶ基準は個々様々あるが、それらと照らし合わせた時、基準より上かどうかで同じ舞台に立てる決まる。魅力発信はその舞台上での話。(基準の例/賃金、やりがい、箔がつく、やりたい・興味がある等。)そこがあつての魅力発信でないと効果が出ないが魅力向上よりも発信が先になるのか？	仕事(企業)の魅力の向上については、第1章の第2節、第3節の産業の振興や人材の育成を中心とした施策を通じて向上が図られるものと考えます。 ここに記載している主な取組については、そうした仕事の魅力を中高生に知ってもらうことの重要性から施策を展開するものとなります。	C【今後の参考・その他】
44	1章	47	○	学生・シニア・女性・障害者・外国人等の就職の促進も大切であるが、生産年齢である15～64歳の求職者に対しても、更なる支援を行うべきである。労働の中核的な担い手であるのにも関わらず、様々な理由があり、就職できていない人がいる。労働力を増やし、求職者を減らすためにも、企業に中途採用の枠を広げるよう誘致したり、求職者が就職できない理由を解消するための、献身的な就労支援を行ったりしていく、必要があると感じた。	就業機会の拡充の対象として例示的に「シニア・女性・障害者等」と記載していますが、施策の実施においては、これらを含め幅広い世代の多様な人材に向けて支援してまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
45	1章	35-40		<p>「地元農産物を食べて、下関を元気にしよう！～農業を核とした豊かな地域づくり・循環型の農村経済圏を創ろう～(スマートテロワール)</p> <p>下関の農業の衰退は、耕作放棄地・向都離村・農家の高齢化などの難問である。特に四町合併以来益々衰退の一途である。世界的に見て、異常気象、爆買い、お金を出しても買えない時代がくる。益々難問山積になる昨今。自給率38%の我が国安全保障はどうなっているのか？政策に問題があるのではないか？「今だけ、金だけ、自分だけ」の風潮に惑わされ、未来のための策を忘れていないか？この様なことから下関を元気にする方法として提案したいのが、「農業を核とした豊かな地域づくり・循環型の農村経済圏(スマートテロワール)を創る事」である。</p> <p>スマートテロワールは耕畜連携・農工連携・工商連携・地産地消の4つの連携で自給圏をつくること。国連で提唱されているSDGsにもかなう方法。山形県鶴岡市の庄内スマートテロワールは(山口市が取り組んでいるようである)、地域の風土を活かしながら、①耕種農家と家畜農家の連携により農畜産物を生産し、②農業と加工業者が一体となって加工食品を製造し、③加工業者と地域の小売店が連携して地域内で販売し④消費者が望む加工食品を地域に提供する、これらすべてを地域内で完結できる「循環型の経済圏(農村社会)」を目指している。流通も狭い範囲なので、CO2の排出も少ない。学校給食も賄える。自給圏を構築すれば、最強ビジネスシステムになる。「スマートテロワール」構築の道程は、ホップ・ステップ・ジャンプ方式で水田を畑地に転換する難事業は、有効性を実証しなければ推進できない。</p> <p>ホップ:大学などの試験農場で「実証展示圃」を開設し、仮説を検証する。検証に着手して5年以内に地域の「ビジョン」を描き、「農村計画書」をつくる</p> <p>ステップ:仮設の経済性を最小経営規模で実証する</p> <p>ジャンプ:自給圏をエリアに全面的に「スマートテロワール」を展開する</p> <p>以上詳しい内容は、ホームページにて。下関で取り組み循環型社会を構築する。ぜひ下関を活性化して欲しい。 ※資料添付あり</p>	<p>ご意見を踏まえ今後の取組を進める上で参考とさせていただきます。</p>	C【今後の参考・その他】
46	1章	41-43	○	<p>商業の活性化に合わせた広報のにぎわいが弱いと感じる。検索エンジンやインスタグラム等のSNSで下関市の商業施設を調べてもあまりヒットしなかったため、盛り上がりのある商業施設や新しくオープンした店舗の情報などを今より大々的にPRしてもいいと思う。</p>	<p>SNSを活用することで個人や個店でも多彩な情報発信が可能となるとともに、消費者も興味がある分野の情報を自ら取りにいける現在、情報を届けたい対象に如何にアプローチをかけていくか、プロモーションの重要性は高くなっています。</p> <p>行政が民間事業者に代わってプロモーションすることはありませんが、商工会議所や商工会を通じて、プロモーションの重要性を伝えていきたいと考えています。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
47	1章	41-45	○	若者が下関市に残らない理由は、大卒文系の就職先がないことが一番の要因だと考える。そのため、大卒文系の就職先の第3次産業への取組を入れていただきたい。	第1章第2節(3)企業の誘致 誘致活動等の推進の記載は、ご意見を反映済みのものとなっております。	B【反映済み・原案のまま】
48	1章	46-48	○	①地域の仕事の魅力発信ですが、魅力ある業種・業界の仕事があったとしても、まず雇用環境・待遇の面(給与が低い、大卒を募集していない等)に課題があると感じます。就職する側へのインセンティブ(奨学金返還支援)と同時に、企業側への支援も拡充していただき、若者雇用への機運醸成を図ってほしいです。 ②「やりたい仕事を見つけやすいと感じる～」とありますが、働き方が多様化するこの時代に、やりたい仕事が「就職」というかたちとは限りません。フリーランスや起業等の働き方を選択する若者にも、同等程度のインセンティブを設け、「しものせきではたらく」ことを全般的に推進してもらえると有り難いです。 ③企業誘致においては、地方進出に前向きな企業に対する「立地条件的メリット」の提示、また下関の産業や地域課題に関する事業を優先的に取り組み地域経済に還元できる「仕組み化」を要望します。より積極的な誘致を希望します。	①賃上げや労働環境の整備については、国全体の課題であり、国・県と連携する中で、市の役割に応じた施策の展開を図ってまいります。 ②起業者等への支援については、商工団体や金融機関等と連携し、窓口相談や創業セミナーを開催することで、さまざまな起業の形に対応してまいります。 ③企業誘致における今後の具体的な取組については、本市の強み・弱みや時勢を踏まえて引き続き検討してまいります。	C【今後の参考・その他】
49	1章			上小月地区に物流の拠点作り ・中国自動車道路、山陰道の小月ICとの接続、山陽道の基点であり、万一関門橋の通行止め、関門トンネルの通行止めが同時に生じた場合(九州の災害発生)物流が(支援物資等)止まるため、ここを拠点として対応ができる、また小月海上自衛隊基地からの空輸(ヘリコプター)も可能になるのではないかと考えます	いただいたご意見は、今後の検討の際に参考とさせていただきます。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
50	1章		○	<p>①「市民雇用者1人当たりの報酬」をKGIとして算出しているが、最低賃金の政策・インフレ率で数値の意味が違ってくるはずだが、そこについての記述がない。適当な数字ですか？算出の根拠が知りたい。</p> <p>②獣被害対策と林業を分けているが、野生動物が暮らせる奥山の維持管理をきちんとすることが自然との共生につながる。たんに捕獲駆除では限界がある。</p> <p>③「魅力ある商店街づくりの推進・空き家・空き店舗対策の推進」とあるが、一段と踏み込んだ政策をお願いしたい。商店街は未利用店舗が増加・商店街も駐車場ばかりになっている。これでは店舗・新規事業が展開される環境ができない。未利用店舗や未活用不動産に対して課税強化など、土地や不動産の塩漬を回避しないことには高齢世代が土地を持ったまま、町とともに死んでしまう。また、子供が都市部に移住して、地方の不動産を放置する状態も今後拡大する。積極的に市への返還、活用を促すための、ペナルティを伴う政策を導入してください。(詳細は書籍「ラディカルマーケット」を参照)</p> <p>④下関でスタートアップは不可能。計画に含めるべきではない。誰もできるひとがない。少なくともアメリカにおいてスタートアップやイノベーションの主体は国家予算に匹敵する巨大資本・巨額の補助金を拠出する国家戦略があります。下関がカラストなどを作って行っているのはレベルが違う。スタートアップと小規模の創業を区別しておくべきです。スタートアップは下関では不可能。ヤマグチレボリューションの悲惨な結果を見ればわかる。小規模企業支援に特化したスモールビジネス支援にするべき。それが地域の経済循環と関係構築につながる。</p> <p>⑤「地域循環型経済の推進」は是非も進めてほしい。これが一番効果ある。これを最初に持ってくるべき。クレジットカード利用廃止、極力不必要なデジタル化、フランチャイズビジネスを避けることで、地域で循環するお金の量が増える。すべての決済に手数料・デジタル出費が伴うようになると、その分のコストが下関市から流出する。その金額は試算できるはずです。</p>	<p>市の考え方 (回答・対応)</p> <p>①本指標は、山口県市町民経済計算における「市民雇用者1人当たりの報酬」であり、算出根拠は、「市民雇用者報酬」を「就業者数」で除したものです。全国の自治体においても同様の計算が活用され、継続的かつ自治体比較も可能な指標としてとらえております。</p> <p>②ご指摘のとおり、獣害対策と奥山の維持管理は関係性が深いと考えますので、市農林水産振興部としても一体的に取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>③全国の多くの商店街では、廃業した店舗がその後解体され、コインパーキングとなるケースが増えています。商店街内にコインパーキングが増えると、車で来街する方にとって便利である一方、多彩な個店が集積する商店街の魅力・利便性が減少するものと考えています。 そのため、市内の一部の商店街では、店舗所有者がいなくなった後、空き店舗のまま放置されたり、当店舗が売却されたりする前に、商店街で購入して貸し物件とすることで、商店街機能の維持・向上を図る取組を始めています。未利用店舗や未活用不動産に対する課税強化、市への返還、活用を促すためのペナルティ等については、慎重な検討が必要と考えています。</p> <p>④本市の現状においてJカーブを描くような急成長を狙うスタートアップ企業を生み出すことは現実的ではありません。一方で持続的な地域経済の発展のためには新たな要素が必要です。その新たな要素がスタートアップ企業が持つデジタル技術を中心とする先端技術や新たな価値観を創出する起業家精神であると考えます。スタートアップ企業をゼロから生み出すのではなく、都市部や海外のスタートアップ企業を地域に呼び込み、支援し、地元企業等との連携事業や新規事業を創出することで地域経済の活性化に繋げていきます。</p> <p>⑤「地域循環型経済の推進」に関しては、本市の農林水産物や鉱工業製品、生産技術、観光資源等の地域資源を活用した商品の売上を伸ばしていくことで、地域内の仕入れを促進し、製造事業者のみならず地域資源の生産者にまで利益を還元して、地域経済に良い循環を作ってまいります。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
51	1章			<p>①農林水産業に従事する人が減っていることに対しては、所得保障を行い、従事者を増やす必要があり、デジタル技術の導入によって解決できるものではない。就業者への相談や受け入れ態勢の強化のためには就業者がいる地域で対応できる職員や権限を増やすことが必要。</p> <p>②商工業についていえば、「中心街」といった概念に縛られ、実際の人口の動向や公共交通の状況を無視した一部地域への過剰な支援が目立つ。駅周辺は車での乗り入れが不便であり、現在は郊外型のショッピングセンターが増えており、賑わいの一極集中に固執する市の姿勢はかえって市の発展にはマイナス。</p> <p>③P45 商工会会議所は、豊浦町では地域に貢献しているとはいいがたい。恵まれた条件の場所に事務所を構えながら、賃料が高く、入り口付近の展示物を見ても、長年同じものがあり、積極的に地域の産物や観光産業を開発したり支援しようとする気概に乏しい。</p> <p>④P47 市内就職の促進のために最も効果があるのは、市役所の雇用だと考えるが、それが非正規雇用を増やしているのが現状。まず隗より始めよ。</p>	<p>①ご意見を踏まえ国や県の施策の動向も見ながら、今後の施策を進める上で検討してまいります。職員体制については、今後の課題とさせていただきます。</p> <p>②令和4年3月に、海峡エリアのまち全体の方向性を示すために「下関海峡エリアビジョン」が策定されました。このビジョンは、市民、事業者、行政など同エリアに関わる全ての人が共有すべき「羅針盤」として位置づけるものです。その中で下関駅エリアは「小さな取組が集まって、まち全体が多世代の居場所になる多世代ウォークブルエリア」と定められており、同ビジョンに沿って活性化に取り組んでいます。下関駅は本市の玄関口であり、また市内最大の商業エリアとして、雇用を生み出し、地域経済に貢献しています。昨今、全国の地方都市で、駅前商業施設が廃業するケースが増えていますが、その影響は駅前にとどまらず多方面に及ぶため、同様な状況が本市に生じないよう努めているところです。</p> <p>③下関市商工会は、地域の商工会として域内事業者の経営相談や経営指導など、経営支援により旧四町地域の中小事業者を支えています。なお、頂戴した意見は同商工会に伝えさせていただきます。</p> <p>④将来にわたって安定的に質の高い市民サービスが提供できる体制づくりを進めていくため、正規職員につきましては、「下関市定員管理計画」に基づき、職員数を管理していくとともに、会計年度任用職員については、業務の内容や量に応じて任用していくなど、多様な任用形態の活用に取り組んでいるところです。今後においても、職務の内容や責任の度合に応じて、業務の棲み分けを行いながら、各種の施策、市民サービスを進めていくために必要となる職員(正規職員または会計年度任用職員)を任用してまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
52	1章		○	国内の企業だけでなく国外の企業を誘致することが必要だと感じる。円安が進行する今こそ、対内直接投資を増やす良い機会である。海外の投資家に下関をアピールしていかなければならない。	企業誘致における今後の具体的な取組については、引き続き検討してまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
53	1章		○	大企業誘致はとても良いと思う。市大生の働き口も増える。	大学生の就職先にも関係の深い企業誘致における今後の具体的な取組については、引き続き検討してまいります。	C【今後の参考・その他】
54	1章			夜の飲食店が少なすぎるため、大型の商業施設が幅をきかせ、街の発展を妨げている。 夜の飲食店が増えると、観光客や地元住民が賑わう。それを受けてその他業種の店舗が増える。公共交通機関が潤う。 夜の娯楽施設(撤退してしまったカラオケ館やラウンドワンなど)の復活。 昼間の唐戸市場だけでなく夜も楽しめるのであれば、観光客は九州や広島方面に流れることなく下関に居るため、ホテルが建つ。 長州出島等にIR事業、統合型リゾートを展開する。 下関にはビジネスホテルしかないため(星野リゾートもビジネスホテルみたいな安価なタイプだと聞く)星つきホテルがたてば、医者や高収入の層の宿泊者ができ、高級なレストランが増えミシュランガイドにのる店舗ができる。更に観光客が増える。 このように、飲食店支援により多大な雇用が増え税収が増すと考える。	本市に限らず全国各地の飲食店がコロナ禍に厳しい状況に置かれ、多くの店舗が廃業に至っています。新型コロナウイルス感染症が5類に移行した今、創業意欲が高まっているため、本市では創業・開業を希望する方を支援するため、空き物件活用ビジネス支援事業費補助金を実施しています。当補助金の補助対象者は賃借人だけでなく、所有者、管理者まで拡充しており、個人や民間の事業者の積極的な補助金活用を促し、空き店舗・物件の解消及びにぎわい創出に努めているところです。	C【今後の参考・その他】
55	1章			下関には唯一無二とも言える、下関漁港がある。唐戸市場ばかりが注目されているが、こんな街中(JR本線から徒歩1分)にこの規模の漁港がある町は、日本中探しても他にはないと思う。これを活かさないのはもったいないと思う。もっと市民や観光客に開けた漁港にすることで、漁業の発展にもつながり、漁業に興味をもつ若者が増えるのではないかと思う。	山口県所管の施設である下関漁港では、高度衛生管理型荷さばき所を設置しているため、唐戸市場のように一般開放することは非常に困難です。 そのような制限の中、本市水産業の活性化を目的として、「下関さかな祭」などイベントの際には、市民や観光客に一部開放し、その魅力を発信しているところです。引き続き下関漁港の周知と併せて、漁業の魅力を発信してまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
56	1章		○	働きやすい職場環境、整備等について 看護師として働いており、都内から下関の病院に転職しました 患者の命を預かる仕事をしている中で、夜勤をしないとある程度の 給料がもらえない、夜勤をしても都内の日勤だけよりも明らかに少ない 収入。生活をする事で精一杯、収入に毎月期待できずに、精神的不 調や体力の不調を抱えている上司や同僚が多い現状があります。全 体的な基本給を下関市としてアップし、モチベーション強化、仕事以 外の時間が豊かになれば、より良い業務を遂行でき、より良い医療、 看護の提供ができると思います。	賃上げや労働環境の整備については、国全体の問題として国・ 県との連携の中で、市の役割に応じた施策の展開を図ってまい ります。	C【今後の参考・ その他】
57	2,3章	51.71		山口県東部に比べて西部では音楽的、芸術的背景の不足があります。 下関において一流の芸術・音楽を求める方は市外へ行かれているの が現状です。特に子供(小中学生)への情操教育として一流の音楽的 芸術的な催し物が必要です。特に一流のクラシック音楽の学校での演 奏会、一流の芸術家の作品経験する機会が必要です。様々な子供へ の対応も大変でしょうが、将来のために必要な情操教育は大切だと 思っています。現状では色々子供達の問題もありますが、将来すばら しい子供が成長していくための情操教育が大切ですので、ぜひ市とし ても各学校に年一回でもいいですから、一流の芸術を体験させて下 さい。	本市では、市内全小学校6年生を対象に毎年、文化・芸術事業 「こころの劇場」劇団四季ミュージカルを開催しています。国や 県の文化・芸術事業に申し込むことができるように学校には周 知しており、子供たちが芸術に触れる機会を各学校の実情に応 じて設けているところです。 まず、下関市文化振興財団では、青少年育成のための文化事業 として、小中学校でのコンサート、演劇等(学校公演)や実績の あるアーティストと市内の小中学校、高等学校の青少年たちが 共演するファミリーコンサートを自主事業で実施しております。 今後も優れた芸術文化の鑑賞機会の充実を図るとともに、こど も達の芸術文化環境の構築に努めてまいります。	C【今後の参考・ その他】
58	2章	50	○	年々厚さ寒さがましているから外のスポーツも体育館でできるよう になったらいいなと思った。(サッカーはフットサルがあるけど野球は 外じゃないとできない)⇒最近できたジェイコムアリーナのような体 育館ができるといい。お金もたかくないとうれしいです。	新しくできたJ:COMアリーナ下関では、フットサルの他に、硬 式テニスについても屋内でご利用いただけます。また今後も各 スポーツ施設について、計画的に維持管理・更新を進めてまい ります。	C【今後の参考・ その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
59	2章	50	○	芸術・文化活動の推進・環境問題の整備の一つとして、下関市内に質の高いレコーディングスタジオをつくって頂きたいです。下関市内にはヒップホップをはじめとする音楽のシーン(文化)があまりないのかなと感じています。「下関市を代表するアーティスト」がいたらいいと思います。	本市では、市民会館などの芸術文化活動の拠点施設を整備し、市民の皆様にご利用いただいているところです。また、多様な音楽文化の振興は、市としても重要と考えておりますので今後の参考とさせていただきます。	C【今後の参考・その他】
60	2章	50	○	スポーツへの市民の参画という点では様々な取り組みがされていて良いと思います。対して、見て楽しむスポーツという点では、隣接している広島県、福岡県に大きなプロスポーツチームがある関係もあり、少し弱いのかなと感じました。	隣県のサッカー及び野球チームは、規模もトップレベルです。現在、本市でホームゲームを開催しているプロチームは、サッカーJ2リーグ所属1チーム、野球独立リーグ1球団、バスケットボールB3リーグ1チームとなっております。さらにサッカー社会人リーグ所属1チームがあり、将来的にこれらのチームがトッププロチームとなるよう市として可能な限り支援し、本市における「みるスポーツ」の推進を図ってまいります。	C【今後の参考・その他】
61	2章	51		主な取組に「中学校運動部活動の地域移行・連携の推進」がありますが、教員のなり手不足の主要な原因の一つとして部活動の負担による業務量の多さが複数の有識者から挙げられています。教員の負担を軽減し、授業や生徒指導に専念させるためにも部活動の地域移行は可及的速やかに進めて欲しいと考えます。	令和8年度末までに、休日の学校部活動を地域に移行することを目指すとともに、平日は、学校の実情に応じて、地域と連携した活動や地域移行に取り組むこととした方針を令和6年4月に示したところです。 今後、市観光スポーツ文化部と協力し、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の総合的なガイドライン」を策定し、令和9年度以降の平日の部活動の在り方を示すこととしています。	C【今後の参考・その他】
62	2章	51		■(1)芸術文化活動の推進及び環境の整備・充実 ③芸術文化活動の拠点施設等の整備と情報の発信 ※豊田町には、社会教育施設である豊田生涯学習センターや豊田図書館があるが、冷暖房は故障で直されないままである。適切な管理と早期の整備更新がされるべきである。当該施設は、全く箇所に掲載されていない。遺憾である。	今年度、下関市立図書館の維持管理の指針を明らかにするため「下関市立図書館個別施設計画」を策定いたしました。この計画に基づき、豊田図書館の空調改修工事につきましては、早期の更新が必要であると認識しております。 また、豊田生涯学習センターの整備については、第3章第4節における生涯学習拠点施設の機能強化に含まれており、個別施設計画に基づき、計画的に整備更新を進めてまいりますことから、原案の修正はいたしません。	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
63	2章	51		下関市が顕彰する先人は旧市内の人に限られていないだろうか。郡部にも優れた人がいる。結局市役所の担当者がきちんと地域を知らないからではないか。長府の博物館は冷房が効くが、豊北の旧滝部小学校を使った博物館は冷房がないなど、あからさまに地域によって待遇に差がある。スポーツに取り組むにも、学校を統廃合し、使える施設を少なくしているのが現状。市の体育館だけが立派になり、遠くに住む者には恩恵が全くない。	本市では、下関市近代先人顕彰館において、旧市の先人のみならず、旧4町の先人につきましても、顕彰を行ってまいります。また、本市のスポーツ施設については、長期的な視点で施設ごとに具体的な方針対応を定めた「個別施設計画」を策定しています。今後も市民の皆様が身近にスポーツに親しむことができるように、その計画で、市域におけるスポーツ施設数のバランスを考えながら、今後のあり方を検証し、改修・整備を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】
64	2章	51		下関市の芸術文化活動において特に不足しているのが音楽関係、特にクラシック音楽の催し物が不足していると思います。市民特に子供達への情報教育として本物のクラシック関係の催し物を実施してほしいと思います。	本市の公的施設での催しをクラシック音楽に限定いたしますと少なく感じるかもしれませんが、他のジャンルも含めると、一定の開催実績はございます。今後とも音楽を含めた優れた芸術文化の鑑賞機会の充実を図ってまいります。	C【今後の参考・その他】
65	2章	51	○	トップレベルのスポーツ大会等を積極的に招致するにあたって、トップレベルのチームを作って欲しいです。ホームスタジアムとかにしてもおもしろいと思います。	トップスポーツチームの拠点が市にあることで、集客による交流人口の拡大や地域の活性化、まちの一体感の醸成など、さまざまな効果が期待されます。一方、拠点化によりホームとなる施設の確保が必要となり、公式戦や練習での優先的な利用が市民の一般利用と競合するという課題を有しております。トップレベルのスポーツ大会等につきましては、引き続き誘致に取り組みたいと考えております。	C【今後の参考・その他】
66	2章	51	○	世代問わず、市民の誰もが参加できるスポーツ教室やイベントは、地域活性化に繋がり、良い政策だと思います。しかし、中学校運動部活動の移行に関して、中学生は中学生だけで構成されるコミュニティとして部活を行うのが良いと思います。	近年の少子化により、近い将来には、中学生だけの活動も縮小されていくことが想定されております。よって、本市においても単に中学校等の生徒のスポーツ機会を確保する観点だけでなく、地域住民にとっても、より良い地域スポーツ環境となるよう進めてまいりたいと考えております。	C【今後の参考・その他】
67	2章	51	○	スポーツを通じた共生社会とはどのようなものなのか	障害の有無や年齢、性別、国籍を問わず、全ての人が分け隔てなく、スポーツを気軽に楽しむことにより、誰もが支え合い、認め合える環境のことで。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
68	2章	51	○	中学校運動部活動の地域移行・連携の推進について教職員の負担を減らすという点においては進めていくべきだと思うが、子どもたちが部活動に参加するハードルが高くなってしまっているのではないかという不安な点もある。例えば、どのようにチームを組むのか、それによって集まるメンバーが毎回異なるのではないのか、場所によっては通いにくい子もいるのではないのか。	ご意見のとおり、子どもたちの環境によっては活動に参加するためには、活動場所への移動の問題や他校の生徒と一緒に活動することで、心理的な問題を課題と認識しております。それらの課題を解消できるよう検証して進めてまいります。	C【今後の参考・その他】
69	2章	51	○	P51の下から4行目、(誰もが参画できるスポーツの推進に向けた)主な取組に「既存公園施設の活用推進」を加えてほしいです。せっかく運動ができる公園があるにもかかわらず、雑草が生い茂っている、トイレが汚いなどの理由で十分活用されていない場所が多いように感じます。	ご意見の内容については、P121第5章第8節①公園の整備の主な取組に「インクルーシブ公園の整備」、「身近な街区公園等のリノベーション」として示しております。	B【反映済み・原案のまま】
70	2章	52	○	住民がスポーツに対して興味を持ってくれるような施設(パブリックビュー)を建設した方が良くと思いました。地元チームをさらに盛り上げていくために誰でも観戦できるような施設を建設することで地元で愛されるようなスポーツチームができるのではないかと考えました。	パブリックビューイングについてはスポーツを身近に感じてもらうために必要であると考えますが、専用施設の建設は非常にハードルが高いため、現在、既存施設を利用したパブリックビューイングは必要に応じて開催しています。	C【今後の参考・その他】
71	2章	52		「教室等を通じてジュニア世代がトップレベルの選手に触れる機会を創出します」とありますが、様々なスポーツの実業団やプロチームの合宿を誘致し、そのプログラムの中にジュニア世代へのスポーツ教室を盛り込んではどうかと考えます。ジュニア世代が実業団のトップアスリートから直接教えを受けられることでの競技レベル向上や競技人口の拡大だけではなく、市内の宿泊産業への経済効果も大きいと考えます。 また、「トップレベルの大会等を積極的に招致します」とありますが、近年日本勢の活躍が目覚ましく、競技・観戦人口が増えつつある競歩の全国レベルの大会を誘致してはどうかと提案いたします。	プロチームの合宿につきましては、ご意見のとおり、競技レベル向上や競技人口の拡大、交流人口の拡大による経済効果も期待されます。本市におきましても合宿宿泊補助金等の施策により合宿誘致を図っているところであります。プロチームによるスポーツ教室につきましては、合宿は伴いませんが、Vリーグチームによるバレーボール教室を毎年行っているところです。また、ご提案いただいた全国レベルの競歩大会につきましては、コース公認、市内で開催場所の選定等のクリアする課題はありますが、誘致の可能性について検討します。	C【今後の参考・その他】
72	2章	52	○	下関市総合体育館を使ったスポーツイベントの進めている政策があれば教えていただきたいです。	令和7年7月から8月にかけて、全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の卓球種目と新体操種目を総合体育館で開催予定です。その他については、総合体育館の指定管理者にもご提案をいただきながら、市民に広くお楽しみいただけるようなイベントを検討してまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
73	2章	52	○	Bリーグの開催	Bリーグにつきましては、B3リーグの山口パッツファイブが下関にて公式戦を開催しております。その他、J:COMアリーナ下関の供用開始に伴い、屋内トップスポーツの公式戦や興行などの誘致を進めるなかで、Bリーグにつきましても引き続き誘致に取り組みたいと考えております。	C【今後の参考・その他】
74	2章	52	○	今、下関に既存しているスポーツチームをより地域の人々に知ってもらうことは必要ではないのか	本市でホームゲームを開催しているプロチーム(サッカーJ2リーグ所属1チーム、野球独立リーグ1球団、バスケットボールB3リーグ1チーム)及びアマチーム(サッカー社会人リーグ所属1チーム)について、市広報媒体によるイベント等の告知や、チームの市内イベントへの参加により認知度の向上を図っておりますが、より一層の認知度の向上を図るため、チームと協同してのイベントの開催等を検討します。	C【今後の参考・その他】
75	2章	52		多様化するニーズに応えるスポーツ環境の構築について、ジュニア世代がトップレベルの選手に触れる機会を創出します。とあるがトップレベルの選手を育成するという観点を含めるべきではないか。	本市にゆかりのある選手が全国大会等で活躍することは、市民の皆さまのシビックプライドの醸成に繋がると認識しております。ご意見については、選手の活動を支援する視点により、方策を今後研究してまいります。	B【反映済み・原案のまま】
76	2章	52	○	P52の下から15行目、「魅力と安心を備えるスポーツ施設等の充実」とありますが、充実だと「増やす」ニュアンスに受け取れます。新規施設の建設予定がないのであれば、「充実」を「利用促進」に置き換えるべきだと思います。	今後、施設の新設を検討することのみならず、既存施設のハード面やソフト面も整備・拡充していくことが、利用促進を図る上で必要と考えており、「充実」という表現にしております。	B【反映済み・原案のまま】
77	2章	53		「観光客数/宿泊客数」の令和5年の比率が13.8%という完全に通過型観光となっていますが、その原因の究明が急務であると考えます。	日帰り型観光の増加は、交通手段の発展やコストの問題、ライフスタイルの変化など多くの要因が影響しています。宿泊を伴う旅行を促進するために、宿泊客に向けた特別な体験や利便性の向上、滞在の価値を感じさせる取り組みを検討しています。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
78	2章	53		<p>■(3)文化財の保護活動の推進 ②文化財の整備・活用の推進 ※整備・公開・活用の推進箇所としているいろいろな記載してありますが、豊田町には、貴重な文化財、天然記念物(神上寺、旧殿居郵便局、石柱溪、徳仙の滝など)があるが、全く無視されている。 ※本文に記載の箇所と同等以上の史跡、文化財である。記載すべき。 ※特に、貴重な文化財、天然記念物である石柱溪、神上寺は、今年の豪雨により多大な被害を受けており復旧の目処も示されていない。大変残念である。</p>	<p>総合計画では、特に文化財を順位付けしているものではありません。記載しているものは、市が所有する国指定の史跡名勝天然記念物の文化財で、現在事業として進めているものや個別計画が策定されているものです。 ご提示いただいた文化財は未指定(神上寺、徳仙の滝)であったり、市所有でないため、まずは関係者のご理解とご協力のもと、調査研究を進めてまいります。</p>	B【反映済み・原案のまま】
79	2章	53	○	<p>①歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり 下関で観光するとなると歴史的な建物があるので海外からの人へ向けて多様な言語での説明書きなどがあれば良いと思います。</p>	<p>外国人観光客向けに、英語、中国語、韓国語による、観光案内や乗物の利用方法等の動画を見ることができるQRコードを市内37箇所に設置しております。 また、観光ホームページも3か国語で用意しております。</p>	C【今後の参考・その他】
80	2章	53	○	<p>下関市にある諸文化財や資料館の入館料の導入を提案します。以前文化財や資料館に携わっている人と話をしている際、維持費の負担の大きさや、旧下関市に予算が集中し資料館が改良できないとの話を聞きました。そのため今後も文化財や資料館の維持・更新していくために入館料や寄付金を導入し、施設維持費を市の財政外でも収集してはどうかと考えました。 下関市の唐戸周辺の文化財や、入館料のない様々な施設の中には、管理がしっかりされていたり豊富に展示がされている施設もあり、料金が発生しても申し分ないと思います。料金が発生することで来場者は減少するかもしれませんが、観光客にとって少額の料金は心理的な負担が少ないと考えます。 現状として、屋上スペースに行けなくなった場所や展示を縮小している施設があり、今後更に展示等の縮小が行われるのは惜しいです。以上より下関市の既存施設を守るための取り組みを提案します。</p>	<p>各施設毎に設立した経緯や条件などが異なりますので、今後個別に検討いたします。 また、効率的な施設維持に努めつつ、今後とも、多くの皆様に可能な限り、少ないご負担で、施設を利用いただけるよう取り組んでまいります。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
81	2章	53.54		<p>P53(3)①歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり、及び、P54(1)①潜在する観光資源の活用とあります。</p> <p>下関市を訪れる観光客の多くは、下関と門司をセットで観光していると思われます。下関には、城下町長府があり、城はないものの、多くの神社仏閣と石畳の古江小路に代表される、土塀と日本家屋の街並みがあるのが、特にインバウンドの旅行者に対する強みであろうと考えます。門司には、城下町はなく、小倉城まで足を延ばしても、風情のある城下町は残ってはいません。長府以外での城下町となると、萩まで行かなければなりません、関門地区からは少々遠すぎます。</p> <p>しかし、その日本情緒あふれる長府も、土塀が再開発のため次々と取り壊されて行っています。広い敷地に建つ大きな日本家屋を維持するのは、大変なご苦労と資金が必要なことでしょうか。個人では賄いきれず売却され、小區画にして分譲するには、土塀がマイカーを通すために邪魔となり撤去されて行っているのではないのでしょうか。この2年の間にも壊された土塀は、ゆうに数百メートルはあり、日本家屋も取り壊されています。伝統的な町並みの保存は、急務であろうと考えます。</p> <p>以上の現状認識から、以下の提案を行いたいと思います。</p> <p>①風致地区を指定する市の条例を制定し、城下町長府としての保全を図る。</p> <p>②串崎城を再建し、観光名所とするとともに、防災拠点として津波等の災害における、長府東侍町、宮崎町、外浦町、そして豊浦高校生徒職員の避難所(生徒は、高齢者の避難に手を貸してくれることでしょうか)及び消防署の火の見やぐらとしての機能を併せ持たせる。(本アンケート第3部第7章安全安心共生協働において、関連意見を述べます。)</p> <p>③空き家の日本家屋を下関市が買い取り、市営の日本生活体験型宿泊所とする。</p> <p>④上記①～③を実行するため、人的資源、物質的資源、予算的資源を投入する。</p> <p>これら①～④を実現することにより、「歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり」「潜在する観光資源の活用」を図っていくというのは、いかがでしょうか。</p>	<p>①長府地区に存在する土塀(練塀)の幾つかは文化財指定されています。指定された土塀については、その所有者と協力し個別にその保護を図り、将来に残していくこととなります。</p> <p>②串崎城の文化財としての復元については、史料や発掘調査成果等の史実に基づく検証が不可欠であり、城郭施設全体の復元は容易ではありません。</p> <p>また、破却された城郭としての特徴も有しており、復元整備については、その手法について、慎重に検討する必要があると考えています。</p> <p>なお、串崎城跡がある関見台公園につきましては、既に緊急避難場所に指定しており、津波等の災害時には、緊急的な避難が可能となっております。なお、台風等の災害時には、長府公民館や長府小学校等の指定避難所を災害の種類に応じて順次開設いたしますので、それらの避難所をご活用いただきたいと考えております。</p> <p>③④ご提案いただいた内容につきましては、今後実施計画や予算段階にて対応を検討させていただきます。</p>	C【今後の参考・その他】
82	2章	54	○	<p>下関は山と海という自然がたくさんあるのに、それを使ったスポーツやアクティビティがない。(例)深坂の森にアスレチックを作してほしい</p>	<p>本市には豊浦町から豊北町にかけて、マリンアクティビティ事業者が複数いるほか、豊田湖畔公園には木製アスレチック遊具を設置しております。また、体験型観光を推進しており、食、文化、歴史のほか、山や海など自然を活用したコンテンツの開発支援などを行っております。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
83	2章	54	○	観光・レクリエーションの振興として、下関市～唐戸のエリアは非常に重要になってくる。その際交通の面では現状不十分であると感じる。バスの減便などにより、観光する上で非常に不便になっている。また、バスの終便の時間も早くなり、長い時間観光するのも難しい。そこで二次交通の充実がより一層求められると考え、グリーンスローモビリティの活用などは地球温暖化対策にもなり、これを一層推し進めるべきであると考え。	下関駅から唐戸までのエリアでは、グリーンスローモビリティ等の実証調査を行っています。その結果を踏まえ、新たな交通手段などの検討を官民連携により進めます。	C【今後の参考・その他】
84	2章	54		■(1) にぎわい観光都市づくり ①潜在する観光資源の活用 ※「三大祭り」とは、どんな祭りか。豊田の「ホタル祭り」は知っているが、三大祭という祭りは知らない。	三大祭りとは「しものせき海峡まつり」、「海峡花火大会」、「馬関まつり」の3つの祭りのことです。	C【今後の参考・その他】
85	2章	54	○	下関駅周辺には、くつろげる場所がなく、大阪「グラングリーン」のような公園を整備して欲しい。	ご指摘の「グラングリーン」より小規模ですが、下関駅近隣に所在するオーヴィジョン海峡ゆめ広場につきましては、芝生化整備を行い、令和6年7月より供用開始しております。引き続き、民間活力の導入についても検討を進めており、公園利用者の利便性向上や更なる賑わい創出を図り、本公園が、都市空間の中の貴重な緑のオープンスペースとして、市民の皆様にも有効に利活用されることを期待しております。	C【今後の参考・その他】
86	2章	54	○	DMOについて付け加えてもいいのではないかと	DMO(観光地域づくり法人)については、国が観光振興の一環として設立を推奨しており、重要性は認識しています。設立の機運醸成も必要であり、その際には観光事業者や地域住民等の調整をし、合意形成が図れるよう支援いたします。	B【反映済み・原案のまま】
87	2章	54	○	下関市ならではのツーリズムを推進するとあるが、他市との差別化、強みは何なのか。それを踏まえた具体的取組案が知りたい。	歴史探訪、関門海峡、グルメ、自然体験、文化・芸術など様々な資源を活かし、旅行形態の変化や、観光客のニーズに応じた対応が必要なため、実施計画や予算段階において、具体的な対応を検討させていただきます。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
88	2章	55	○	戦略的プロモーションの取組が「旅マエ、旅ナカ、旅アトにおけるデジタルツールを活用したプロモーション」の1つしかなく、他に実施予定の取組があれば入れていただきたい。	旅におけるすべての時間軸におけるプロモーションのあり方を全般的にお示しているものです。具体的な取組は実施計画や個別計画の中で検討してまいります。	B【反映済み・原案のまま】
89	2章	55		①「戦略的プロモーションの実施」とありますが、これまで下関市という魅力が多くある街のPRがなぜ上手くいかず滞在型観光につながれていなかったのか、原因究明と総括なくして新規政策の展開は不可能であると考えます。 ②「MICE等の誘致」とありますが、この分野の誘致・開催に長けたプリンスホテルといった首都圏の大手ホテルグループからアドバイザーを招聘するのが一つの有力な手段ではないかと考えます。	①本市には観光資源が多い一方で、「ターゲット層の明確化」「統一感あるプロモーション」「データ活用による効率的な戦略立案」「地元住民や企業と協力し、連携を図る」ことなどが不足していると考えられます。今後は、これらを解決しつつ、魅力的で効果的なプロモーションを進めてまいります。 ②本市では、下関観光コンベンション協会などの民間事業者とともにMICE(マイス)誘致に取り組み、令和元年に5,000人規模の「日本医療検査学会」や、10,000人規模の「日本薬剤師会学術大会」、本年7月には7,000人規模の「日本消化器外科学会」などの大型MICEのほか、大小さまざまなMICEを誘致・開催していることから、現時点で外部アドバイザーの招聘は考えておりません。	C【今後の参考・その他】
90	2章	55		観光資源と言え、火の山、関門海峡、長府といった地域的にも内容的にも限定されたことしか知らないのかと思う。せっかく地域が広く、潜在的な観光資源がたくさんあるのに、開発しようとしておらず、公共交通が不便で往来が難しいため下関市の観光のキャパシティを限定しているのが市の施策。まちづくり協議会が3年間にわたってスタンプラリーを開催し、地域の観光資源を掘り起こしたにもかかわらず、縦割り行政で全く生かされていない。よそから来た人だけでなく、下関市民が地域の良さを知り楽しむ機会をもっと増やすべき。	海響館をはじめ、長府庭園、毛利邸等、本市所管の観光施設においては、市民の方が参加できるイベントも多数実施しております。これらの施設の周知も含めて、原案の記載を修正します。	A【反映する】
91	2章	55	○	MICEの簡単な説明と具体的な施策例を挙げた方が分かりやすくなるのではないか。(MICEの重要性など)	MICE(マイス)の簡単な説明については、冊子化する際の用語解説部分にて説明いたします。	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
92	2章	55	○	②観光施設の整備について 唐戸市場は多くの観光客が訪れているわりに、お寿司を買ってから食べる飲食スペースが少なく感じる。特に雨の日は外で食べることができない為、イートインスペースを増やして欲しい。	いただいたご意見は、今後の検討の際に参考とさせていただきます。	C【今後の参考・その他】
93	2章	55	○	(2)①火の山の計画は良いと思った。今までにないもので、人がたくさん集まるといった。	ご感想をありがとうございます。実現に向けて、推進してまいります。	C【今後の参考・その他】
94	2章	55.56		■(2) 観光資源の充実 ①火の山地区と②観光施設の整備 ※中心市街地の熱の入れようと、旧4町への熱意のなさが顕著である。取組にギャップがある。 ※旧豊浦4町の取組を道の駅の改修だけの記述で観光・地域振興の拡充ですませるとはいかがか。	旧4町地域にも、魅力的な観光施設が多数ありますが、総合計画への記載としては、「地域資源を活かした観光振興・地域振興の拡充を図ります」とまとめて記載しております。個別の計画につきましても、実施計画等に反映してまいります。ご意見を踏まえ、原案の記載を一部修正いたします。	A【反映する】
95	2章	56	○	自動車ではない一次交通で訪れた観光客に焦点を当てられていたが、そういった観光客がどれくらいいるのかが気になった。私自身、イメージとして、下関は車で観光するイメージがある。そこに焦点を当てて、交通の状況が改善されるのかが気になる。	本市を観光する際、自動車の利用割合が非常に高いことは認識しています。しかしながら、市内の移動手段や移動のしやすさへの不満の声が高いとの調査結果もあります。公共交通が不便であり、タクシーやレンタカーの需要が高まるなか、観光需要に対応するため、新たな交通手段の検討は重要であると考えています。	C【今後の参考・その他】
96	2章	56	○	③二次交通の充実においては、観光地へ直接行けるバスを新幹線の到着時間に合わせて運行すると良いと思った。	観光客のニーズは公共交通の利用を求めています。運転手不足等により減便されている現状もあります。本市では、期間限定ではありますが、ニーズの高い絶景スポットや道の駅を巡るバスツアーや観光タクシーの運行を行っています。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
97	2章	56	○	観光事業の件について P54の③二次交通の充実は私も改善点として感じています。移動したい時でもバスがなく、あっても一時間等時間が空いて不便だと考えた時があります。新たな交通手段について不透明で解決の見込みがなさそうだと考えました。私は事業についても素人で特に解決策が出せるわけでもないので個人的な意見(感想)を述べさせて頂きました。 交通については正直下関にとっても強い魅力があるとはいえないから、利便性が落ちているのではないかと考えます。ボートレースや海響館(唐戸)などにはありますがとても有名なものとは思えません。マリンスポーツなどの遊ぶ場所を増やせば下関に滞在する人が増えお金も増えるのではないかと考えました。台風や噴火などの自然災害も少ないので良いと思います。	観光客のニーズは公共交通の利用を求めています。運転手不足等により減便されている現状もあります。 新たな交通手段につきましては、例えば、自動運転の技術革新は日進月歩で進んでいます。これらの活用も視野に入れていません。本市は広域であるため、観光客のニーズに応じた施策展開が必要と考えています。 また、マリンスポーツを始めとする体験型観光も推進しています。	C【今後の参考・その他】
98	2章	56		・外国人観光客の誘致 日本の習慣・ルールを守ることに伴いトラブル解消が大切	本市において作成したマナーリーフレットを引き続き活用するとともに、商談会等において、海外旅行会社を利用する外国人観光客へルール遵守を啓発するよう海外旅行会社担当者に依頼してまいります。	C【今後の参考・その他】
99	2章	56		「ライドシェアをはじめとした新たな交通手段などの検討を官民連携により進めます」とありますが、この整備に関しては「都会の論理」に徹底的に適応することが必要であると考えます。例えばタクシーに関してはQRコード決済に加えて全車両へのクレジットカード決済端末の整備、バスや鉄道に関してはICカードでだけでなく、先進事例である福岡市営地下鉄のようにクレジットカードのタッチ決済で乗車できるよう、都会の先進的な事例を研究し積極的に下関においても採り入れる必要があると考えます。	二次交通対策として、本市では公共交通が脆弱なため、大都市を中心に広がっているライドシェアや将来的には自動運転の技術革新など、運転手不足を解消できる新たな交通手段の検討は必須であると考えています。 本市では、交通事業者に対し、キャッシュレス決済システム導入の補助制度を設けており、キャッシュレス化促進による利便性向上に取り組んでおります。 バス・鉄道事業者においては、今後ICカード以外の決済システム導入についても検討している旨を聞いております。	A【反映する】
100	2章	56	○	二次交通の発達は観光客にとっても下関市にとっても良いことだが、どこでレンタカーが借りられてこのバスを使ってどこの観光地に行けるのかのマップなどを作成し、案内所などでくばると良いと考えた。	観光ガイドブックや、ドライブマップを作成し各観光施設や観光案内所にて配布しています。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
101	2章	56	○	第2節、観光・レクリエーションの振興の中「二次交通の充実」では区間・運行本数なども大事だがそれと同じくらい価格設定が重要であると思う。利用者を増やすためには価格をある程度低く抑えるべきだと思う。	二次交通対策の価格設定につきましては、競合他社や他の交通手段との比較を行い、最低限の収益を確保しつつ、適切な価格帯の設定が必要であると考えています。	C【今後の参考・その他】
102	2章	56	○	「外国人観光客に向けた～」の所で、どこの国かをある程度しぼった方がよいのではないかと。特に、港が直結な韓国が行き来しやすいので良いのではないかと。韓国にアンケートを取り、観光として、日本、下関に求めていることを知れば、準備をし満足度の高いものを届けられるのではないかと。	本市では地理的条件や過去の外国人宿泊者数を基に「韓国・中国・台湾・香港・タイ」を海外重点5市場としています。特に直通の関釜フェリーを有する韓国市場では、現地で行われる観光展に毎年出展しており、韓国の一般の人たちから下関に関する生の声を直接聞く機会としています。	C【今後の参考・その他】
103	2章	56	○	二次交通の充実について、下関市は観光地が離れているので、車がないと不便なので、レンタルできる自転車など、都会によくあるものを取り入れたらよいと思う。	レンタサイクルについては、ニーズが高い観光地においては、現在も取り入れています。	C【今後の参考・その他】
104	2章	56		外国人観光客の受入環境整備には、フリーWi-Fiのエリアを複数あるいは拡大する必要がある。	外国人旅行者が快適で利用しやすい無料公衆無線LAN環境の普及促進を図るため、山口県と民間公衆無線LANサービス提供事業者との協働により運用する「やまぐち Free Wi-Fi」と、本市が運用する「しものせき Free Wi-Fi」があります。拡大につきましては、需要に応じて検討してまいります。	C【今後の参考・その他】
105	2章	56	○	外国人に向けた体験コンテンツがあるが、その情報発信に力を入れるべきだ。せっかく良いコンテンツがあっても実らない。	海外旅行会社向けの商談会等において積極的に体験コンテンツに関する情報提供を行っていますが、今後はインターネットを活用した体験コンテンツの情報発信にも力を入れたいと考えています。	C【今後の参考・その他】
106	2章	56	○	下関で宿泊してもらう工夫が必要だと思います。新幹線、バス、ホテルでのパックを作るなど、お得に簡単に訪れて、滞在できる仕組みを作ることも良いと思います。	旅行会社等に本市への旅行プランの企画を促すため、商談会等に参加し、誘致・宣伝を行っているところです。	C【今後の参考・その他】
107	2章	56		小月駅は旧郡部の温泉地に向かう送迎バスや路線バスとの乗換地でもあります。観光地の駅(例、いわき市の湯本駅等)のように、スペースを確保し、観光客がリラックスできる空間の創出も必要と思います。	小月駅を中心としたにぎわい空間の再構築において、いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
108	2章	57	○	ボートレース事業で、ミッドナイトレースも開催すると書いているが、広域販売の拡充も含めて、あまり収入は見込めないのではないか。ナイターレースや集客に予算をさいていいのではないか。	ミッドナイトレースは、ボートレース下関が通常行っているナイターレースよりも更に遅い時間に行うレースです。グレードレースを除いた一般レースの中では、他場との競合もなく最も売り上げを見込めるレースのため、開催が可能な範囲で、今後も行ってまいります。	C【今後の参考・その他】
109	2章	57		お金は儲かっているかも知れないが、ボートレース事業のようなギャンブルを振興し、周辺地域を親子で楽しめる場所にと開発するのは、間違いだと思う。	今後も地域振興のため、引き続きボートレースパーク化を推進し、公営競技のイメージアップを図ってまいります。	C【今後の参考・その他】
110	2章	57	○	(3)外国人観光客の誘致 ③受け入れ環境の整備 主な取組「多言語化等を推進し」について ④本当に、全く1mmも必要を感じない。 国土交通省の観光庁「訪日外国人旅行者の受入環境に関する調査」より、旅行中の困った時の対応では、自動翻訳システムや翻訳アプリなどのツールを利用している。これらは10年前では考えられないほど非常に精度が高くなっている。必要なのはこれらが常に使用できる環境(市内どこにいても使える制限時間のない通信スピードの速いwi-fi)があれば、日本(特に下関)にくるような富裕層はいいデバイスがあることに加え、旅行し慣れているので全ての物事に対応できる状態にある。 そんな状況下でどうしても実施するのであれば英語のみで十分。日本語の記載あつてはテキスト化することぐらいで事足りる。(最近は画像の状態ですら翻訳できるので必要性も薄くなっているが・・・) どう考えても今後10年で取り組むことではないので考え直したほうが良い。	多言語化の推進につきまして、どの国からの観光客にも対応できるよう、英語化を前提としつつも、地理的条件等から本市外国人宿泊者数で上位を占める韓国人観光客・中国人観光客の存在は特に無視できないものと捉え、多言語化を推進したいと考えています。	B【反映済み・原案のまま】
111	2章	57	○	まだどうしてもボートレース事業に対して良いイメージがついておらず、気軽に行ったり関わったりできないので、サービスの充実とともに、イメージの向上も行っていただきたいです。	今後も地域振興のため、引き続きボートレースパーク化を推進し、公営競技のイメージアップを図ってまいります。	C【今後の参考・その他】
112	2章	57	○	ボートレースパーク化を推進するにはギャンブルのイメージを良くする必要があると思う。	今後も地域振興のため、引き続きボートレースパーク化を推進し、公営競技のイメージアップを図ってまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
113	2章	57		<p>(4)ボートレース事業の振興 「売り上げ確保」、「積極的な経営」、「地域への貢献」と書かれているが、公営ギャンブルは第1義的に、収益を一般財源に活用するという事だと思うので、地域への貢献では、ファンの方々に「基金として活用しています」という事を大々的にアナウンスをすることは重要だと思います。</p> <p>同時に、一般財源への繰り入れを、「こども基金」に特化し、併せて規模の拡大を図り、子ども・子育てに大きな寄与をすることを旨とするために、「(4)ボートレース事業の振興と収益の活用」に変更・修正を提案する。</p>	ボートレース事業の収益により行っている事業について、当初予算の記者発表時や事業を行う時など、様々な場面でPRしているところですが、今後もアナウンスを続けてまいります。今後もボートレース事業の収益金活用は不可欠となりますので、第8章第2節の「持続可能な行財政基盤の構築」において、取り組んでまいります。	B【反映済み・原案のまま】
114	2章	57	○	P57の1行目、「おもてなしインバウンドサービスの一環として、語学ボランティア等の人材育成に努める」とありますが、有償の「語学プロフェッショナル」の育成・雇用を検討してみてはどうでしょうか。	本市を訪れる外国人観光客に対する下関ならではの観光案内に係る知識を身に付け、より質の高いおもてなしを実現し、有償での業務を請け負うことができるようなインバウンドガイドを育成するため、令和3年度から令和4年度にかけて「地域に根ざした質の高いインバウンドガイド育成講座」を実施しました。英語コース22名、中国語コース16名の方が修了されています。	C【今後の参考・その他】
115	2章	59	○	<ul style="list-style-type: none"> ・世界一、日本一レベルのジェットコースターやイルミネーションなど特別なものがほしい。 ・家族や友人など誰とでも一緒にあそべる遊園地 ・水上アスレチック <p>私は日常的にショッピングなどもいいけどなにか特別な日とか、地方で旅行感覚になれるような物があっていいなと思いました。</p>	岬之町地区から唐戸地区においては、「日本を代表するウォータースタートフロント」を目指して、市民をはじめ来訪者が集うような開発に取り組んでまいります。ご意見としていただいた施設についても、民間事業者へのサウンディング調査などを通じて、実現可能性について研究してまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
116	2章	59		「岬之町地区から唐戸地区の関門海峡に臨むウォーターフロント」についてですが、ここから西は下関駅・豊前田エリア、東は城下町長府エリアへの観光客の回遊ルートが整備・PRされていないことが問題であると考えます。 また、「観光客にとって『一度は行ってみたい／住んでみたい憧れのまち』というイメージを確立」とありますが、いざその観光客が移住を決意し下関へと引っ越してきたときに、本市において依然として根深い封建的・排他的な風土に移住者が潰されないか、行政が主体となって積極的にケアしていくことが必要であると考えます。	観光客の回遊ルートについては観光促進策にとって重要な視点であり一層の取組が必要と認識しております。頂いたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。 また、移住定住の取組については、移住後のフォローアップも含め取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】
117	2章	59		下関市は非常に長い海岸線をもつが、計画の中で生かされるのはごく一部でしかない。あるかぼーと周辺は日陰もなく、駐車場から遠く、特に暑い時期には歩いて楽しむような雰囲気もない。また、埋め立て地であることから、南海トラフ地震に対する対策も十分にしていないと、来関者の命を守れない。	現在、あるかぼーと・唐戸エリアを「海峡を遊びこなす、朝から夜までめぐって楽しい、現代日本の港まち」をコンセプトに、市民等が楽しめる、みなとの賑わいを創出するエリアを目指して検討・整備を行っています。 また、高潮や津波に対しては、ハザードマップ等を活用することにより、誰もが安全に楽しめるエリアになるよう取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】
118	2章	59	○	あるかぼーと唐戸周辺には多くの人が集まるが、交通渋滞の問題にも触れてほしい。	ご指摘のとおり、唐戸周辺の渋滞については、3連休中日などの特異日において、市民生活に影響を与えていると認識しております。このことから、本市では、令和6年度より、唐戸市場横に臨時駐車場を設けるなど、渋滞対策を強化して取り組んでいるところです。 なお、P105第5章第1節(2)②で「中心市街地の渋滞対策」について記載しております。	B【反映済み・原案のまま】
119	2章	59	○	ウォーターフロントの詳しい説明とイメージが欲しい。	総合計画では、基本的な施策の方向性をお示しており、個々の事業の詳細については、個別計画である「あるかぼーと・唐戸エリアマスタープラン」等をご確認ください。 また、第2章第3節(1)①「あるかぼーと・唐戸エリアマスタープランの推進」にマスタープランのイメージ図を記載いたします。 (冊子化の時点)	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
120	2章	59	○	「日中から夜間まで、年中を通して」具体的にはどうするのか。日々下関ですごして感じるの、夏は馬関祭りや関門海峡花火大会などイベントが多いが、冬のイベントの代表が分からない。冬が楽しくない。唐戸市場もにぎわっているが朝だけで昼から夜が楽しめない。また下関駅への終バスが早く、夜まで残ることができない。以上が改善点だと感じた。	下関の歴史、文化、食の魅力を活かし、日中から夜間まで年中を通して、市民をはじめ来訪者が集うような開発に取り組んでまいります。具体的な取組としては、「カイキョーリボンプロジェクト社会実験」などにより、ご指摘の閑散期や滞在時間の延長についても検討を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】
121	2章	59	○	公共空間の利用を推進していくのはすごい良いと思った。公園や食事の場所が増えたら子供も嬉しいのかなと思う。	公共空間の利活用の推進は海峡エリアの価値を高める有効な手段であると考えことから、更なる検討を進めます。	C【今後の参考・その他】
122	2章	59	○	ウォーターフロント開発、あるかぼーと唐戸などの既存施設を利活用していくなど、今あるものの魅力を上げていく取組には好感がもてる。あとは、馬関祭などの祭りも地域活性化に活用する。私の地元では、コロナ以降、祭りがなくなり、復活する力もなく地域が衰退した。	岬之町地区から唐戸地区においては、「日本を代表するウォーターフロント」を目指して、市民をはじめ来訪者が集うような開発に取り組んでまいります。周囲の観光資源等や既存施設を活かしながら、にぎわいを創出できるよう努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
123	2章	59	○	下関市の主要な観光地である唐戸エリアを再開発し、魅力あるまちづくりを推進することも大切だが、その近隣にある唐戸商店街ではシャッター街化しているため、日本を代表するウォーターフロントエリアを目指すのであれば、唐戸、あるかぼーと、火の山、唐戸商店街を含めた仕掛けづくりが必要になると考える。	ウォーターフロントだけでなく、火の山、唐戸商店街、下関駅を繋ぐことで滞在時間を延ばすことが最も有効な手段であると考えます。頂いたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	C【今後の参考・その他】
124	2章	59		みなとのにぎわいの創出 下関市の賑わい創出に向けた取り組みとして、クルーザーやヨットを停泊できる港の整備を提案します。現在、クルーズ船への注力が見られますが、クルーズ船の乗客は人数こそ多いものの、一人当たりの消費額は比較的少ないと考えられます。それに対し、クルーザーやヨットを利用する富裕層は、高額な消費を伴うケースが多く、経済効果が大きく期待できます。この層を取り込むことで、下関市に上質な賑わいと経済的な発展が期待できます。	下関港ではみなとの賑わい創出のため、大型クルーズ客船の受入環境の整備を進めているところです。クルーザーやヨットの寄港にあたっては、岸壁など係留施設のスペックに関する問い合わせを稀にいただきますが、船舶の仕様と合致すれば寄港可能とご案内しているところです。今後も、他港での取組などにも注視しつつ検討してまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
125	2章	60	○	クルーズ客船受入が始まり出島にたくさん船がくるようになりました。しかし近くによらず、バスにのりすぐにどこかにいってしまうし、船がきてても遠くからみているだけです。長州出島は近隣住民は近づけないし、寂しい気持ちになります。毎日では難しいかもしれませんが出島に散歩でき、クルーズ客も周辺にきて交流できたらいいです。	現在、長州出島内は工事中の箇所が多数存在し、大型車両が往来するため、安全に配慮し、一般開放はしていませんが、将来的には一般開放するよう検討してまいります。 また、長州出島に親しんでいただける取組についても検討してまいります。	C【今後の参考・その他】
126	2章	60		「交流拠点間の人流動線の確立」や「下関駅からウォーターフロントエリア一体のにぎわいの創出を図ります。」とありますが、近年先進的な乗り物として富山市や宇都宮市などの成功事例で注目を浴びているLRT(次世代型路面電車)の整備がにぎわい創出に有効な政策ではないかと考えます。また、それに加えて、下関駅からウォーターフロントエリアに至る各地域の住民が主体となって地域の魅力向上に努力できるよう、行政がミニ集会などを通じて積極的な働きかけを行う必要性があると考えます。	下関駅や下関港国際ターミナルから唐戸地区への水際線においては、回遊性の向上方策を検討・実施してまいります。 なお、LRT(次世代型路面電車)は、専用レールでの運行のため、車の流れの影響を受けないため定時性が高く、バリアフリーや排気ガスや騒音などの環境面でも優れていると認識しております。導入には、運営主体の検討や、大規模な道路・交通改良が生じることが想定されますが、ご紹介いただいた先進事例を含め、本市の地域公共交通計画の策定に際し参考とさせていただきます。 なお、ご指摘いただいた通り、各地域の住民が主体となり集会を開催するなど、地域の魅力向上に向けた取組を積極的に支えていく必要があると考えております。	C【今後の参考・その他】
127	2章	60		下関港以外の港湾(県管理、下関漁港を含む)についても市としてのアプローチが必要と思われる。	下関市内には、日本海側に位置する山口県管理の港湾(油谷港、角島港や特牛港)や、沖合底引き網漁船の基地として、アンコウの水揚量日本一を誇る下関漁港があります。 これらの港湾についても、地域の特性を活かしてみなどが活性化していけるような取組をすすめてまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
128	2章	60	○	下関駅から唐戸の人流動線を確保する中で、遊歩道整備だけでなく、バスの分かりやすさを追求していくことも必要であると感じた。下関駅から唐戸へ向かうときにサンデンバスに乗る際、バス正面に表示してある行先に「唐戸」の文字がないため、観光客にとってはどのバスに乗れば良いか分かりづらいという問題がある。地元民の私でも分からなくなるときがある。そのため、例えば下関駅唐戸間のみを巡回するバスを導入するなど、唐戸へのアクセス方法を簡潔・明確にしていけばよいと感じた。	バスの行先の表示や循環バスの導入など、ご意見については、バス事業者に伝えてまいります。	C【今後の参考・その他】
129	2章	62		「都市間競争が厳しさを増す中で、本市が他都市と区別され『選ばれる都市』となるため、『都市のブランド化』の実現に向け、活気ある若者をはじめとした、市民が自ら住むまちへの『愛着や誇り』を高める取組を行います。」とありますが、現状では若い世代が「ブラックホール」とも評されるミニ東京となった福岡市、あるいはその福岡市にも近く雇用の多い北九州市へと多数移住しているのが現状です。市としてもそのことを認識していることを踏まえて、「愛着や誇り」といった抽象的、観念的な意識を高めるだけではなく、下関市から移住することなくとどまるだけの「実利」を提供できるような官民挙げての取組なしには若い世代の人口流出は止められないと考えます。	ご指摘のとおり「愛着や誇り」を持つだけではなく、「実利」を得られるような取り組みは急務だと認識しております。また、官民挙げての取組については、ご意見を参考に研究してまいります。	C【今後の参考・その他】
130	2章	64	○	移住促進の所でサテライトオフィスなどについての取組みについての内容も含めてほしい。	移住促進におけるサテライトオフィスについての取組みは、新しい働き方が増える中で非常に重要になると考えており、第1章第2節(3)企業の誘致において記載しております。	B【反映済み・原案のまま】
131	2章	65	○	地域ブランドと都市ブランドの関係について、もっと考慮した方がよいと思う。	都市全体のブランド力向上は、地域それぞれのブランド力を活かし結束することが重要であり、各々の価値による相乗効果を高めてブランド化を図ってまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
132	2章	65		「行政だけでなく市民・事業者・市民団体等の情報発信力を強化し、『オール下関体制』により、本市の優れた資源など様々な魅力を一体感を持って発信」とありますが、肝心の市民に依然として「お上任せ」の意識が強く、当事者意識が足りないと考えています。それはP13の市民アンケートの低い回収率からもいえるでしょう。したがって、下関に山積する様々な課題を自助・共助によって解決するという当事者意識の涵養が急務であると考えます。	地域課題解決を促進する啓発活動の強化や、市民参加型の政策提案を推進するため、第8章において、広報・広聴活動について、原案を修正し、「質の高い情報発信」及び「媒体や価値観の多様化に対応した広聴活動」を推進します。	A【反映する】
133	2章	65	○	若者が「挑戦でき活躍しやすい」と感じられるまちであることは大変重要で、その後の定住率にも繋がると思います。若者が生き生きと過ごせるよう、もっと工夫を重ねてほしいです。	できる限り若者の声を聴取し、ニーズに沿った施策を展開してまいります。	C【今後の参考・その他】
134	2章	67	○	新しくキーワードとなるような言葉を少し強調して書いた方が何が大事なのか分かりやすいと感じた。例えばヤングケアラーやひとり親などのキーワードを色を変えたり、太字にしたりする。	現時点の原案については本文のみとなっており、デザインなどは反映されておりませんが、いただいたご意見は、今後冊子作製にあたっての参考とさせていただきます。	C【今後の参考・その他】
135	2章	50-53	○	下関市にスポーツのプロクラブがあれば良いと思ったのですが、やはり現実的ではないのでしょうか。Jリーグの鹿島アントラーズというクラブは、茨城県鹿嶋市が本拠地なのですが、もともと工業で発展したまちで、活気があるとは言えないまちだったのですが、クラブができたことで人々がスタジアムに向かって、人々の交流が増え、まち全体が活性化しました。 このように、1つのチームやクラブを応援することで団結力や交流が生まれると思います。プロクラブまでは言わずとも下関市を本拠地とするチームやクラブとの合同イベントを積極的に行うことが良いと思います。(例)サッカー教室などをスポーツ施設で行う	トップスポーツチームの拠点が市にあることで、集客による交流人口の拡大や地域の活性化、まちの一体感の醸成など、さまざまな効果が期待されます。 一方、拠点化によりホームとなる施設の確保が必要となり、公式戦や練習での優先的な利用が市民の一般利用と競合するという課題を有しております。 本市でホームゲームを開催しているプロチーム(サッカーJ2リーグ所属1チーム、野球独立リーグ1球団、バスケットボールB3リーグ1チーム)と協同して、スポーツ教室等のイベント開催を検討いたします。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
136	2章	62-63	○	<p>「わが国や本市の歴史や文化を正しく理解した上で、国際的視野に立ち、諸外国の歴史や文化、言語を理解することができる、国際的なコミュニケーション能力等を持った人材の継続的な育成が必要とされています。」や(2)交流の促進 ②他地域との交流の促進について</p> <p>⑮現在の下関市での取り組みは対象が限られすぎている。(行政の人事交流、小中学生。いずれもごく一部のみ)可能な限り最大限の児童や生徒の交流を人数・回数ベースで挙げると将来、活躍の可能性がある人材育成への寄与がかなり期待できると思う。人生の早い時期に外を見て日本、下関を含めた自分を知ることの将来への影響、重要性を行政として再考すべき。</p> <p>⑯また、現在の行政が支援する該当者(行政の人事交流、小中学生。いずれもごく一部のみ)以外の市民に対する支援が非常に乏しい状況にある。外国から来た人に対する支援を厚くすることも重要ではあるが、下関市民に対する海外経験の可能性を広げる優先度の方が高く記載すべき。(個別具体例を挙げるとすればワーキングホリデーの周知、支援。留学支援等・・・/こちらはただのイメージ。伝わりやすくなればよいなど。)</p>	ご意見を踏まえ、海外派遣の対象者・回数ともに拡充することを目指し、記載を修正いたします。	A【反映する】
137	2章		○	駅から近いスポーツできる場所がほしい。	ご意見を踏まえ、今後のスポーツ施設の整備につきましては、市域全体のバランスを考えながら、長期的な視点で進めてまいります。	C【今後の参考・その他】
138	2章		○	僕は将来音楽に関わる仕事をしたいとっていて、普段の生活の中で音楽だけに関わらず様々な分野のサブカルチャーに触れる機会を増やしてほしいです。そうすることで自分の好みの文化的なものを見つけることができ、それが見つかれば人生を豊かにできると思います。	本市では、優れた芸術文化の鑑賞機会の充実を図るとともに、市民参加型のイベントの開催や、市民が身近に芸術文化に触れることができる機会を創出してまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
139	2章		○	シーモールの営業時間をのばしてほしいです。夜に散歩とか行って近寄ると暗くて寂しいからです！	ご意見については、シーモールの運営会社にお伝えします。	C【今後の参考・その他】
140	2章		○	①「ボートレース事業」に依存することはやめてほしい。あの周辺に子供の娯楽設備なども増えているが、ボートレースはギャンブルであり健全ではない。どんなに印象をよくしても、ギャンブルはギャンブル。そして、出自は【省略】ですよね。裏金問題などで世間がにぎわっていますが、こちらの団体は大丈夫ですか？税金があるからと言って、ここに依存するようになっては、民度低下・若者の社会減につながる。 ②「まちづくりと一体となったウォーターフロント開発」とするのであれば、唐戸周辺の土地利用について、さらに踏み込んだ取り組みが必要。企業のオフィスビルや住人の少ないマンションが増加しているが、明らかに観光地としてのポテンシャルを損ねている。多少、民間や地権者の利権を害してでも、将来的なビジョンをもって土地活用の在り方を重点的に制限するエリアがなければ利便性や魅力は向上できない。	①ボートレース事業につきましては、企業の経済性を発揮し、公共の福祉を増進することを経営の基本としており、近年では、収益金を財源に子ども医療費や第2子以降の保育料無償化、学校給食費の支援、市立大学の新学部建設、海響館の改修など、本市の子育て支援やまちづくりに大きく貢献しているところです。 今後につきましても、子育て支援やまちづくりをより一層推進していくためにも、ボートレース事業の収益金活用は不可欠となりますので、ご理解の程よろしくお願いたします。 ②まちづくりと一体となったウォーターフロント開発については、下関駅周辺から唐戸地区への水際線において、各交流拠点間の連続した人流動線を確立することで回遊性の向上を図り、周囲の歴史・文化・観光資源を活かし、市民や来訪者が集うような開発を目指しております。 ご意見にもございますとおり、唐戸周辺の土地利用のあり方については、将来的なビジョンをもって取り組む必要があるものと認識しております。	C【今後の参考・その他】
141	2章			交流にぎわい創出は、企画がボランティア並の予算でやっている。きちんと集客できるイベントには予算をつけて支援してほしい。	イベントの内容や規模等にもよりますが、市としても出来る限りの対応をさせていただきます。	C【今後の参考・その他】
142	2章		○	人道のカベに、源平合戦のストーリーがわかる絵巻物のようなものを描くのはどうでしょうか？関門出身のアーティストさんやマンガ家の方にイラストでわかるように描いてもらえたら外国人観光客にも見やすいと思います。	関門トンネル人道では、現在、魚等の装飾をシールで貼っているが寂しいという声があり、管理者と協議したことがあります。以前、絵を掲示した際には、排気ガス等により汚れてしまい、適切な管理が困難であったと聞いております。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
143	2章			交流・にぎわいを活性化させるためには、公共交通機関を増やすことが最重要課題である。 サンデン交通の実質的な独占により、私バス会社が建たない。 観光客は公共交通機関の不便さからレンタカーを借り、目的地にピンポイントで向かうため、通常、駅から観光場所までの通りの賑わいが起きない。例を上げると、太宰府、京都の清水寺、大阪ミナミの通天閣、浅草浅草寺の出店通りなどである。 昔、路面電車が走っていた頃の東駅など地名が残っていることを利用して、LRT Light Rail Transit(ライトレールトランジット)整備を進めると良いのではと考える。	他市の先進的事例については、本市の地域公共交通計画の参考として研究させていただきます。	C【今後の参考・その他】
144	2章		○	国際交流の場を増やしてほしい。子どもが英会話を習っているが、実際に外国の同世代の子たちと話せる機会があったらいいのにねとよく話している。	若年期からの国際交流の場の増加のため、学校での国際交流団の受入や、オンライン交流が促進されるよう努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
145	2章			年末の紅白歌合戦等で関門海峡をバックに歌を歌う歌手がいても良い。また、海外の番組やアーティストに来てもらうのも、認知度アップで良いと思う。他に、小串のコウモリをもっとアピールして良いと思います。(グッズ化等)	ご提案いただいた内容につきましては、実施計画や予算段階にて対応を検討させていただきます。	C【今後の参考・その他】
146	2章		○	外国人旅行者に対しての観光ボランティア(P62とP72も該当します) ・ハングル、中国、英語を実際に使いたい意欲がある学生、国際関係や下関について興味がある学生を対象とする ・下関の観光案内をする中で普段の学習で知ることの出来ないような言い回しを学ぶとともに、下関という土地について再度学び直す機会にする	本市ではクルーズ客船が入港した際に活動いただく、インバウンドサポーター(語学ボランティア)を随時募集しており、現在も多くの外国語学習意欲の高い学生にご登録いただいています。活動内容はクルーズ客船の乗客や乗員に対する観光案内や交通案内であるため、実際に外国人と外国語での会話を実践するとともに、下関の観光について学びを深める機会として活用していただいています。	C【今後の参考・その他】
147	3章	67	○	ひとり親家庭や経済的に厳しい家庭への支援として子ども食堂の充実・拡大を提案させていただきます。私自身、下関市内のとある子ども食堂の方に時々ボランティアとして参加させて頂いていますが、特定の学校の子のみ参加しているように感じています。他の地域にも子ども食堂を必要とする家庭はあると思いますので、よろしく願います。	ご提案の子ども食堂をはじめとする「こどもの居場所づくり」については、第3章第1節(2)③「地域での支援の推進」の主な取組として記載しています。	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
148	3章	67	○	子育て支援に関しては、公園の整備を含め住み良いまちづくりを推進していると思う。	今後ともこども・子育て支援のさらなる充実に取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】
149	3章	68		市内の一部でしか利用できないと思うので、病児保育は拡大してほしい。	第3章第1節(1)③多様な幼児教育・保育ニーズへの対応で記載のとおり一時預かりや病児保育の充実に取り組んでまいります。 なお、総合計画にあわせて、現在、関連個別計画にあたる「For Kids プラン2025」の策定をこども未来部を中心に進めています。 病児保育事業にかかるニーズへの対応、充実については、当該プランを策定していく中で具体的に検討してまいります。	C【今後の参考・その他】
150	3章	68	○	近隣都市と比較し、周りよりも〇%医療費・教育費を安くするなどというように具体的に数字で下関で子育てしようと思える環境をつくる。	下関市で子育てしようと思っただけの環境を整備するためには、医療費の助成などを含め、総合的な施策でこども・子育て支援を充実させることが重要と考えております。具体的な目標としては、「下関市は子育てがしやすいまちだと思える保護者の割合」をゴール目標として目標値を記載しております。	B【反映済み・原案のまま】
151	3章	68	○	男性の育休取得率を上げる政策が必要だと思えます。	男性の育児休業取得の促進については、国全体の問題として国・県との連携の中で、市の役割に応じた施策の展開を図ってまいります。	C【今後の参考・その他】
152	3章	68		多様な幼児教育・保育ニーズへの対応について専門職の配置や連携を含めるべきではないか。	第3章第1節(1)③「多様な幼児教育・保育ニーズへの対応」の主な取組「インクルーシブ保育の充実」を進めていくにあたっての具体的な施策・事業内容の事例として、ご意見いただいた「専門職の配置や連携」も含まれております。	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
153	3章	68.69	○	これからの計画だけではなく、既存の取組(例:市役所内の親子ふれあい広場やリピエ内のふくふくこども館など)も紹介しつつ将来の方向性を示す風にした方が、より下関市が子どもに対する政策を強く押し進めていることを伝えることができると思う。	現在、個別計画として「For Kids プラン2025」の策定をこども未来部を中心に進めています。当該プランの中で、施策に関するこれまでの評価やこれからの展開に関して記載してまいります。	B【反映済み・原案のまま】
154	3章	70		学力定着状況調査は、全国テストの準備に過ぎず、そのようなことに無駄に教員の力を使ってほしくない。ICTの活用は、教える側の教員の力不足(=行政からの支援不足)もある。ICTの活用がプラスになるかどうかはまだ検証されていない。道徳教育については、道徳教育を推進してきた政治家たちがそもそも道徳的でない上に、評価などによって教員の多忙化を招いているというのが現状である。ふるさと学習といいながら、市が作成している「ふるさと下関」は、取り上げた内容に偏りがあり、児童生徒が自分たちの住む地域について学ぶために役立つ教材とはなっていない。学校の統廃合により、この状況はいっそうひどくなっている。	山口県学力定着状況確認問題や、全国学力・学習状況調査は、児童生徒の学力の状況把握や教育の水準化を図るために実施しており、併せて、学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てております。ICTの活用については、市教委主催の集合研修や訪問研修を実施しています。引き続き、授業における効果的な活用に努めます。道徳教育における評価は、子供たちにとって、自らの成長を実感するために、必要なものであると考えています。本市では現在、社会科の副読本として主に小学校3、4年生が「わたしたちの下関」を活用しています。実際に、教員が編集し、より使いやすいものになるように、毎年改訂をしています。	C【今後の参考・その他】
155	3章	70	○	1人1台のタブレット導入をすることでどのくらい学力が向上しましたか？下関小学生の学力は全国平均より低いと聞きました。私の弟も家に学校から配られたパソコンを持って帰ってきますが、勉強以外も使えるパソコンだったので、1人1台のタブレット導入によりどのくらい向上したのか知りたいです。	文部科学省の報告書によると令和6年度全国学力学習状況調査における児童生徒質問調査の結果から、授業でPC・タブレットなどのICT機器を使用する頻度が多いほど平均正答率が高い結果が出ております。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
156	3章	70		〈現状と課題〉についてインクルーシブ教育の推進を含めるべきではないか。 長寿命化や大規模改修の継続的とあるが事業を加速させるべきではないか。	〈現状と課題〉の○(4段落目)に記載の「多様な教育ニーズに対応する中で、障害の有無にかかわらず、すべての子どもが価値ある存在として尊重される共生社会の実現に向けた教育の推進が必要です。」にインクルーシブ教育の推進も含んでいると捉えています。 施設整備に関しましては、中長期的な維持管理等にかかるコストの縮減及び平準化を図るとともに、学校施設に求められる機能・性能を確保することを目的に、下関市立学校施設長寿命化計画を策定しており、長期的な視点に立ち、工事を計画的に実施してまいります。	B【反映済み・原案のまま】
157	3章	70		子供たちが自ら課題を見つけ学び考え行動に移す力を育てるために、アントレプレナーシップ教育やIT教育の環境を整備が必要だと思います。現代の急速に変化する社会において単に指示を待つだけでなく好奇心を持ち自分自身で解決策を見つける力が必要不可欠です。こうした能力は、将来の社会で活躍できる人材を育てるための重要な要素です。 特に、世界で最もITが進んでいる国とされるエストニアの教育システムを参考にし、実際にエストニアとの連携を進めることで、教育環境を国際的な視点からも強化できると考えています。エストニアの成功事例から学び、その実践的なアプローチを導入することで、子供たちがデジタル技術を駆使し、将来的にイノベーションを創出できるような教育を目指せます。 https://www.city.uda.nara.jp/g-keiei/estonia/estonia-udaproject.html	市教育委員会として将来社会で活躍できる人材を育てるための教育の在り方や環境整備について、引き続き研究してまいります。	C【今後の参考・その他】
158	3章	71		「児童生徒一人ひとりの特性や学習進度等に応じた指導方法の工夫」とありますが、落ちこぼれに加え、いわゆる「浮きこぼれ」による優秀な人材の中学受験による市外流出を防ぐためにも、義務教育における習熟度別授業の導入が必要であると考えます。	現在学校では、教科における習熟度別授業や、朝学や昼学による個に応じた学習が、一人ひとりの特性や学習進度等に応じて実施されています。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
159	3章	71		子供達(特に小中学生)の情操教育において、芸術や音楽の催し物が不足しています。一流の芸術家や一流の音楽家の作品や演奏を体験させてあげたい。この部分に予算をかけて、子供達の将来に役立ててほしいと思います。	本市では、市内全小学校6年生を対象に毎年、文化・芸術事業「こころの劇場」劇団四季ミュージカルを開催しています。国や県の文化・芸術事業に申し込むことができるように学校には周知しており、子供たちが芸術に触れる機会を各学校の実情に応じて設けているところです。	C【今後の参考・その他】
160	3章	71		道徳教育において「人権」ナショナリズムに注視しつつ「日本人及び日本の歴史」を取り入れるべきと考える。	道徳科の授業では、国を愛する態度や国際理解等を視点として心を育む教育を行っております。なお、社会科の授業では、学習指導要領に沿って日本の歴史について学んでいます。	C【今後の参考・その他】
161	3章	72	○	ふるさと学習の推進の対象の人たちを知りたいです。小学～中学生なのか、高校生も含むのか、下関外の人もある大学生も含まれるのか。ふるさと学習はとても大切だと思っています。	ふるさと学習を推進していくことは年齢を問わず大切だと考えております。教育委員会では主に小・中学校を対象にしてふるさと学習を進めていますが、小・中学校で学んだことが将来に活かされるように、今後も推進してまいります。	C【今後の参考・その他】
162	3章	72		「道徳教育の推進」に関しては、人心が荒廃しつつある昨今の状況を踏まえ、評価するとともに重点的な推進を希望します。 「ふるさと学習の推進」に関して、「ふるさと下関」に対する誇りと愛情を育む教育の充実を図ります。」とありますが、人材の市外流出防止という観点カリキュラム策定において最も大切であると考えます。 「読書活動の推進」に関して、「学校司書の配置」とありますが、雇用対策と市内への定住人口を増やすためにも非常勤や会計年度任用職員ではなく常勤職員での採用を強く望みます。	学校では、子供や地域の実態等を踏まえ、道徳科の授業を中心に心の教育の充実に取り組んでおります。今後も、各校が計画に基づき、取組を推進することができるよう支援してまいります。 「ふるさと学習の推進」にあたっては、地域の担い手となる意識を醸成するという点も重視して進めております。 「読書活動の推進」に関しては、現在、市立小・中学校に20人の学校司書を兼務配置しております。今後も引き続き、現在の配置状況に対する成果や学校のニーズ等を把握しながら、よりよい学校図書館運営を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】
163	3章	72	○	不登校児童が社会から取り残されないような支援プログラムを整備するべき。	学校に登校できない児童生徒の学びの場として教育支援教室を設置するとともに、フリースクールとも連携を図っています。また、登校できる児童生徒には、校内教育支援教室(いわゆる「別室」)の整備をすすめるなど、一人ひとりの態様やニーズに合った支援や学びの場の提供ができるよう、学校、家庭、市教委、その他の関係機関とが連携しながら取り組んでいます。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
164	3章	72	○	ふるさと学習の推進。自分から学ぼうとする子どもは少ないし、将来地元の人や他県の人とコミュニケーションをとる時に知っておいた方が得なのでとても良いと思います。	今後も、「ふるさと下関」に対する誇りと愛着を育めるよう、ふるさと学習を推進してまいります。	C【今後の参考・その他】
165	3章	72	○	P72の下から5行目、「生涯にわたって運動やスポーツに親しむことができるよう、体力や技能、性別や障害の有無等にかかわらず」の部分ですが、「親の収入の多寡」を入れ、「生涯にわたって運動やスポーツに親しむことができるよう、体力や技能、性別や障害の有無、親の収入の多寡等にかかわらず」としてほしいです。親の収入が多い少ないかでこどもの体力育成が阻害されることはあってはならないと思うので。	全ての児童生徒を対象に、体育科学習や家庭、地域、学校が連携した運動習慣づくり等の取組を進めてまいります。	B【反映済み・原案のまま】
166	3章	73		子育ても重要であるが出生率向上その前に結婚が必要、この点の出会い対応 中学校運動部活動地域移行、人手不足と指導者の安定確保 困難が高い不登校生徒であっても部活動があるため頑張っている子もいると思う、そのため学校内で地域移行とは何を？	県が設置する、やまぐち結婚応援センターにおける出会いの取組に本市も参画しており、一体となって推進してまいります。 令和8年度末までに、休日の学校部活動を地域に移行することを目指すとともに、平日は、学校の実情に応じて、地域と連携した活動や地域移行に取り組むこととした方針を令和6年4月に示したところです。 今後、市観光スポーツ文化局と協力し、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の総合的なガイドライン」を策定し、令和9年度以降の平日の部活動の在り方を示すこととしています。	C【今後の参考・その他】
167	3章	73		新下関に建設した給食センターは様々な問題点を抱えている(メニューが限られる、アレルギー対応が不十分である、調理員が十分にいないなど)が、この施設の開業に合わせて、食育を行う栄養士や栄養教員を削減しているはずで、学校に食育を担当する人間がないのが現状。にもかかわらず、食育を推進するとは、いったい誰が責任をもって行うのか。市教委も専門家ではない。	R6年4月に稼働した新下関学校給食センターについては、市の統一献立により、アレルギー除去食含めて市内22の小中学校に学校給食を提供しており、またセンター内に市の室(新下関学校給食センター運営管理室)を設け、適切な学校給食の運営管理を行っているところです。食育を中心的に担う栄養教諭等については、4名を配置し、センターの対象の小中学校の食育を行っているところです。今後も健やかな体の育成のため、食育の推進につきましては、本市全体で偏りがないように進めていきたいと考えております。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
168	3章	75		<p>■(8)教育環境の整備</p> <p>①市立学校の適正規模・適正配置の推進</p> <p>※大きな課題であるが、P70の<現状と課題>にも係わらず一行も触れてない。</p> <p>※適正化の必要性和計画策定の趣旨を述べるべき。</p> <p>※なお、⑤の市立大学には記述がある。どちらが優先すべき課題であるのか教えて。</p>	<p>①P70の<現状と課題>9項目目に「様々な体験活動・・・すべての学校において質の高い教育環境が求められています。」と記載しており、適正規模・適正配置もその一つであると認識しています。</p>	B【反映済み・原案のまま】
169	3章	75		<p>家庭や地域の支えの上に成り立つ部分が多く、統廃合により地域から切り離された児童・生徒は、地域の支えを受けにくくなる。学校を統廃合すると、地域が急速に消滅し、結局は市全体が住みにくくなる。総合計画なのに、学校の統廃合は教育委員会に任せ、結果の責任を負わないのはおかしい。一方で少人数の児童は不利だと言いながら、大規模校は放置し、同じ状況でもある学校は統廃合し、ある学校は残し、ある学校は新設するというのは説明がつかない。</p>	<p>学校運営には保護者や地域の方々のご協力が必要と考えており、下関市立学校適正規模・適正配置基本計画は、学校規模のみでなく学校の配置も考慮し策定しておりますし、保護者や地域のご理解・ご協力のもと進めることとしております。</p> <p>なお、文部科学省の示しています31学級以上の過大規模校は本市にはありません。</p>	C【今後の参考・その他】
170	3章	75		<p>学校における働き方改革の推進について地域社会の理解を含めるべきではないか。</p>	<p>第3章第2節(6)①「学校運営協議会を中心とした地域との連携の推進」の中で、地域社会の理解を進めてまいります。</p> <p>なお、学校における働き方の推進については、市や各学校の取組を、各学校のHPに公表し、理解の促進に努めています。</p>	B【反映済み・原案のまま】
171	3章	76		<p>「下関市立大学への支援」とありますが、いくら人材を育成したところで、卒業後下関市に就職などで定住する者は例年10%未満です。ここを改善しない限り、運営交付金の投入などの対費用効果が低いままになると考えます。地元貢献する優秀な人材の養成に失敗している以上、そもそも下関市に市立大学を設置する意義があるのか、ゼロベースからの再検討が必要であると考えます。</p>	<p>令和7年度から始まる第4期中期目標(市が策定し、大学に指示する目標)において、「市内就職率の向上に向けた取組を行うこと」を掲げる予定であり、これを踏まえ、市立大学が策定する「中期計画」においても、具体的な数値目標を掲げることで調整しております。市と市立大学が協力し、市内就職率の向上に寄与できるよう努めて参ります。</p>	C【今後の参考・その他】
172	3章	76	○	<p>市からもう少し市大の設備、施設の向上をして欲しいです。</p>	<p>現在、市立大学において様々な施設や設備の整備・改修を行っております。今後も、市立大学が行う施設整備等に対し、必要に応じて財政支援を行っていきたいと考えております。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
173	3章	76	○	市が大学教員にあまり耳を傾けなかったため半数近くが退職したことが大きなニュースになった。若者を増やしたいのに、教員の意見をきかずに大学の悪評が広まってしまうのは理解しがたい。	テレビ番組等を見た方によって様々な捉え方・お考えがあるものと認識しております。 なお、退職した教員の個々の退職理由については、大学においても把握していないとのことであり、学生に不利益が生じないよう教員を確保し、充足している状況にあると聞いております。	C【今後の参考・その他】
174	3章	76	○	近年下関市立大学では、市が大学運営に大きく関わることで教員の半数が大学から離れてしまうという話を耳にします。このような問題は将来の下関の為人材を育てていくという点においては大きなマイナスになってしまう可能性があるのではないのでしょうか。	市が策定する大学の中期目標や、運営に係る財政措置という点においては、市による関与はあるものの、それ以外については、大学として自律性・自主性をもって運営されているものと認識しております。 なお、No.173の回答のとおり、退職した教員の個々の退職理由については、大学においても把握していないとのことです。	C【今後の参考・その他】
175	3章	76	○	下関市立大学内の食堂を増やし、きれいにしたほうが良いと思います。12:10～13:10の昼休みの時間は、席も足りず、椅子だけでご飯を食べている学生もいるので、解決するべきだと思います。きれいにし、食べれるスペースを増やし、市民の方も自由に食べれるようになれば地域と連携できるのではないのでしょうか。	昼休みの混雑を避けるため、また、食事の選択肢を広げるため、食堂を運営している大学生協が大学敷地内にカフェを整備いたしました(本年9月末オープン)。 なお、地域との連携という視点では、とても有益なご提案だと思いますが、カフェが整備された現時点においても、食堂・カフェの混雑を避ける必要があることから、市民の方の積極的なご利用は控えていただくことが望ましいと考えております(原則、生協組合員である教職員・学生の利用に限ります)。	C【今後の参考・その他】
176	3章	77	○	基準値について平均値だけでなく中央値についても知りたい	全国学力・学習状況調査の結果については、児童生徒、保護者に対し、平均正答率を示していることから、「目標指標」として、平均値を用いております。	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
177	3章	77	○	<p>①下関にある「5大学」を観点とした取り組みがまったくないのはいかがなものでしょうか。国公立私立など区分はあれど、市内進学を促進させる制度(下関市立大学の入学金免除以外で)が増えると地元進学を選択しやすくなると思います。</p> <p>②教育分野(学部・学科)の多様性・選択肢の確保と、各教育機関の学びの中での地域との連携、教育分野と就職先(進路)との連動がほしいです。学びたい分野が地元であり、地域の中で学びを深められ(積極的なPBL活動・大学の地域連携の促進)、それを活かして働ける職があることが理想であり、5大学を起点とした地域の教育サイクルを描いて示していただけると嬉しいです(既存学部・学科と産業の紐付け)。</p>	<p>①市内進学促進とは目的が異なりますが、市内5大学による連携(公開講座の共同開催)や市内3大学(市立大学、梅光学院大学、東亜大学)において、単位互換制度による連携を行っております。</p> <p>なお、市内進学を促進する制度として考えられる例としては、公立・私立を問わず、市内の高校生等が市内の大学に進学した際に、入学金や授業料を減額するといったものが挙げられます。ただし、そのような減額制度が進学先を決定する上で、どの程度効果があるかは定かではありませんし、市の財政負担が伴うこととなります。減額以外の効果的な制度の有無や大学間の連携の可能性については、今後、検討・検証が必要であると考えております。</p> <p>②市内各大学の学部・学科を見る限り、全体としては、多様な選択肢があるのではないかと考えております。各大学はそれらの学部の特性を活かした教育・研究活動を行い、その中でPBL活動(課題解決型学習)や地域・企業等との連携を図っているものと認識しております。</p> <p>なお、教育サイクルについては、各大学・学部の受け入れる人材像(アドミッション・ポリシー)や輩出する人材像(ディプロマ・ポリシー)が様々であることから、単純化し明示することは困難と考えております。</p>	C【今後の参考・その他】
178	3章	78	○	<p>教員側の支援が必要だと思う。子ども達の教育の質向上を目指す前に過労死基準を超えて、少ない残業代で働いている教育への金銭的支援や精神的支援が必要だと思った。</p>	<p>教員の働き方改革について、市や学校として取組を推進するとともに、定期的なストレスチェックや面談を行うなど精神的支援を行っています。</p> <p>また、教員に係る給料等につきましては、市として決定出来ませんので、国の動向を注視してまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
179	3章	79	○	<p>②地域のこどもを地域で育てる活動の促進について部活動を地域の大人に任せるといい案が良かった。実際、学校の大人より、もっとそのスポーツに特化した地域の大人の人が行くと、良い技術を子供たちに教えることができる。</p>	<p>令和8年度末までに、休日の学校部活動を学校部活動の地域移行については、生徒にとってよりよい活動となるよう、地域と連携・協力して推進してまいります。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
180	3章	79		■青少年健全育成の体制づくりについて青少年健全育成協議会の事業運営に対する支援を含めるべきではないか。	青少年健全育成協議会の活動の重要性は認識しており、地区育成協・町民会議が実施する講演会等については支援を行っています。今後も制度の継続に努めてまいります。	B【反映済み・原案のまま】
181	3章	80	○	移動図書館よりも、古い図書館(長府図書館など)の整備を検討していただきたい。→居場所があるのは大事。	下関市立図書館の整備につきましては、今年度策定した「下関市立図書館個別施設計画」に基づき、検討してまいります。	C【今後の参考・その他】
182	3章	80		「図書館サービスの充実と施設整備」とありますが、電子図書館に一般書だけではなく、専門系書籍の導入・充実を強く求めます。	電子図書館は、令和5年10月よりサービスを開始しましたが、まずは市民の皆様に気軽に読書を楽しんでいただくために趣味・娯楽の一般書や児童書を重点的に収集しました。今後は、より電子図書館を活用していただくため、調査・研究に資する専門系書籍の収集も検討してまいります。	C【今後の参考・その他】
183	3章	80		市立美術館に以前行ったときに、庭が草だらけで呆れたことがある。環境整備にも予算をとってほしい。長府周辺だけが歴史を作ったわけではないので、市内全体を俯瞰した計画を立ててほしい。	ご意見を受け止め、屋外の環境整備も含めて美術館運営を健全な環境で継続できるよう施設の整備・更新に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
184	3章	81	○	(3)美術・芸術活動の推進①美術館の充実について ⑰主な取組が理解不能。前段の話との温度差は何？やる気くない？住民の大半が納得できない。ちゃんとした計画と呼べるものを用意して欲しい。マジで。	美術館本来の目的である魅力的な展覧会の実施、優れた作品の収集・保存等、さらには芸術文化の普及、交流、創造の拠点としての機能強化については本文に記載しており、これを踏まえてしっかりと取り組んでまいります。なお、ご意見を踏まえ、美術館運営の軸となる展覧会について主な取組に追記することとします。	A【反映する】
185	3章	82		■(4)文化財保護・活用の推進 ①歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり ※大変よいことです。主な取組を積極的に進めてください。	引き続き、取組を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
186	3章	82		文化財の保護というなら、室津の鰻絵や、宇賀の菅公踊りなど、きちんと保護してほしい。消えてしまう前にと取り組んでいるのに、市の支援がない。	例示いただいた個別の文化財は未指定文化財であり、現状においては、文化財としての評価が定まっていません。これらを含め、その他市内に存在する文化財について、指定・未指定に関わらず、その分布や遺存状況、特徴などを総合的に把握した上で、個別に文化財としての価値づけを行い、適切な保存と活用について検討してまいります。	C【今後の参考・その他】
187	3章	82		文化財保護・活用の推進 「……、行政と市民が一体となって歴史文化を活かしたまちづくりに取り組みます。」とあるが、具体的な取り組みは実施計画で示されるのか。 一昨年の水害で華山神上寺の三所熊野権現の鳥居と六地藏は崩壊したまま放置されている。このまま放置されることは、歴史に背くことになる。市の考えを聞きたい。	具体的な取組につきましては、今後別に検討いたします。また、ご指摘の物件につきましては、未指定文化財である現状においては、基本的に、所有者により維持管理をしていただくこととなりますが、所有者からの相談があれば、文化財的価値について、調査研究を進め、必要な保護措置の在り方を検討してまいります。	C【今後の参考・その他】
188	3章	67-68	○	保育士不足について 子どもの人数に対して必要な保育士の人数が定められていると思うが、可能であればその基準を変えて、今より多めに保育士を各園で確保できれば良いと思う。知り合いに聞いた話で、定められた人数ギリギリなため、1時間の休憩や有休をとるのも調整が大変だという話もあった。十分な保育士の人数が確保できれば、保育の質も上がり、保育士の精神的な負担が軽減できるのではないかと考える	保育士の負担軽減を図る取組としては、令和6年度に保育士の配置基準を見直し、配置基準を超えて保育士を配置する施設等に対して支援を行っております。また、第3章第1節(1)①幼児教育・保育の質の向上において記載しておりますが、保育士不足の解消に向けて、新たに保育士・保育所支援センターを設置したところであり、引き続き保育士の確保、離職の防止に資する負担の軽減に取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】
189	3章	67-69	○	<取組の方向>の所で、以前までどのような取組を行っており、どのような結果だったのかという新たな取組の背景を知りたいと思った。	現在、個別計画として「For Kids プラン2025」の策定をこども未来部を中心に進めています。当該プランの中で、施策に関するこれまでの評価やこれからの展開に関して記載いたします。	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
190	3章	70-71	○	ICT環境の整備・充実、教育のデジタル化は重要なのは間違いない。ただ、他の市町村も同じようにデジタル化を進めている。下関で子どもを育てたいと思ってもらうには、もう少し特色を出してほしい。下関で学べば他とは違う圧倒的なデジタル人材に育つ。デジタルで地域・日本を担う人材を作るまちを目指してほしい。	現在、授業等においてICTの活用を日常的に行っており、生成AIの活用や、プログラミング教育の実証事業等も進めております。今後も、専門的な技術をもつ高等学校や民間企業等と連携し、子供たちの情報活用能力の育成に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
191	3章	71-76	○	教育振興の<取組の傾向>にて、それぞれ主な取組が掲げられているが、具体的にはどういったことをするのか。	総合計画は取り組むべき重要施策の方向性や体系及び各施策の目標を掲げたものです。具体的な内容は個別の計画をご参照ください。	C【今後の参考・その他】
192	3章		○	まず大学の支援を増やして欲しい。大学情報を聞ける場所や授業のことを聞きたい	ご意見の「支援」とは修学における経済的支援のことだと推察いたしますが、家庭の経済状況(世帯収入)等に応じて、入学金や授業料の減額・免除を受けることができる国の制度(高等教育の修学支援新制度)のほか、独自の支援制度を設けている大学もございます。 また、大学情報や授業についてですが、各大学のオープンキャンパスにおいて、模擬授業を受講したり、在学生や教員へ質問することもできますので、体験されてみることをお勧めいたします(大学によりオープンキャンパスの開催回数・内容は異なります)。	C【今後の参考・その他】
193	3章			子育ての第一責任者は親である。その為に親自身が子育てについて学ぶ機会が得られるといいと思う。何か起きた時に、親が誰かのせいにせず対応できるよう、もう少し余裕をもって子育てしていけたらと思う。 親も、社会の為、生活の為、自身のキャリアの為働くことも大切だと思うが、子育てという限られた時間をもっと親が関わって楽しめる社会になって欲しい。	教育、子育ての一義的責任が保護者にあることは、教育基本法や児童福祉法等に規定されている一方で、国、県、市がこどもを心身ともに健やかに育成する責任を負うことについても定められています。 行政、地域、企業等社会全体が子育て家庭を支え、こどもたちのよりよい成長につなげられるよう取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
194	3章		○	<p>①「○児童生徒への1人1台のタブレットの導入等のICT環境の整備により、新たな学び方が可能になるなど、学校教育の基盤的なツールとしてICTの活用が必要不可欠となってきました。」とあるが、これは見直すべき。ICTによって学力が向上するというエビデンスはない。むしろ逆であるとする研究が多い。多様な学びよりも、基本的な国語力・計算力の徹底が急務。</p> <p>②スマホ依存による学力低下が著しい現状に対して、もっと積極的に取り組んでほしい。また、本当は持たせたくないけど周りが持つから仕方なくという保護者も多い。中学生に対して危険性を啓発する機会を増やしてほしい。現状のように、スマホ教室で携帯会社の社員が説明するのは絶対にダメです。市内にスマホ利用について警鐘を鳴らす医師もいるので、彼らの話をよく聞いて政策に反映してほしい。</p> <p>③「確かな学力の育成」について、中身が精査されていない。確かな学力は、ICT・学力定着状況調査とは無関係。もっと本質的な読書活動や教員の質をどのように確保するかをきちんと議論してほしい。現状、子供たちはプレゼンテーションや調べ学習をするために、本来取り組むべき音読やドリルなどの時間を削られている。</p> <p>④食育は地産地消、地域への愛着形成、環境保全など様々な価値があるので、そうした教育機会として推進してほしい。</p> <p>⑤「学校運営協議会を中心とした地域との連携の推進」とあるが、メンバーが固定化・高齢化しており、やる気のない人が多いので何も話が進まない。どのように人選がなされているのか知りませんが、代謝や改善を促すための設計が必要。もちろん、善意で頑張っている人もいるのはわかるが、それなりに裁量があるのであれば、それに見合った設計が必要。</p> <p>⑥「安全な施設の整備、設備の充実」のなかで、GIGAスクールが挙げられています。あくまでこれは国策。下関市として、それをどのように活用するのかを現状を踏まえて議論すべき。算数のひっ算をiPadで頑張っている小学生がいますが、そもそも紙の方がよい場合も多い。また、中学生のサマーワークをタブレットで実施した中学校がありますが、内容が酷かった。後から復習もできない。現場任せにして利用率を向上するだけでは形骸化・むしろ教育の質を低下させることにつながる。</p> <p>⑦「教職員の指導力の向上」は、とにかく給料を上げてください。モニターペアレント対応専用スタッフを雇用してあげてください。</p> <p>⑧地域の図書館はぜひとも残してほしい。各地域に図書館を作ってほしい。</p>	<p>①学校では、日々の授業において基本的な知識・技能の定着を図っています。併せて、タブレットを有効活用し、自宅等で日常的に学習を行うなど、多様な学び方を身に付けることで、自立した学習者を育ててまいります。</p> <p>②各学校が取り組むスマホ教室だけでなく、研修会や学習教材の紹介等を通して、情報モラル教育の充実を図っています。</p> <p>③全国学力・学習状況調査の結果を分析し、児童生徒の学力の向上に努めております。併せて読書活動の推進や、下関市教職員研修(中核市研修)の充実を今後も図ってまいります。</p> <p>④ご意見のとおり、食育は成長期にあるこどもたちが生涯にわたって健やかに生きるための基礎を培うだけでなく、地元食材を知り、しものせき愛や誇りを持つことや、地球環境への関心にもつながるものと考えております。引き続き推進してまいります。</p> <p>⑤「学校運営協議会を中心とした地域との連携の推進」に関して、全小・中学校の担当者を対象とした研修機会を設けたり、好事例の共有を行ったりすることで、当事者意識や学校運営への主体的な参画意識を高めてまいります。</p> <p>⑥場面に応じたICTの活用を工夫してまいります。</p> <p>⑦教員に係る給料等につきましては、市として決定出来ませんので、国の動向を注視してまいります。</p> <p>⑧各図書館の整備方針につきましては、今年度策定した「下関市立図書館個別施設計画」に基づき、検討してまいります。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
195	3章			ゲームやネットフリックスなどに勝てる、子供が楽しいイベントを定期的を開催してほしい	子育て支援センターや児童館等では、季節ごとの楽しいイベントを実施しており、今後も魅力的な体験等の機会を提供できるよう取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】
196	3章			安岡小学校の児童数がふえているので校舎の建て替えを早く予算をつけてほしい。	安岡小学校の校舎の建て替えにつきましては、児童数の現況を見ながら、検討してまいります。	C【今後の参考・その他】
197	3章		○	専門的な資格を得られる教育の推進	ご意見のとおり、高校や大学生をはじめ、社会人においてはリカレント教育やリスキリングなど、幅広い年齢層において専門的な資格が得られる教育の推進をはかってまいります。	C【今後の参考・その他】
198	3章		○	親子で楽しみながら学べる場所がもっとほしい。博物館、プラネタリウム、室内遊具など。ふくふくこども館は大変すばらしいが、小学生には行くところがないように感じる。	市内の博物館では、各博物館の特色を活かした親子で楽しめる様々な体験学習等を展開しております。今後ともより魅力的なプログラムを増やし、いつでも、どこでも、だれもが楽しめる場所として博物館がこれまで以上に豊かな教育環境作りに寄与できる場所となるように努めて参りますので、親子で学べる場として楽しんでいただければと思います。引き続き、各博物館のホームページやSNS等で皆様が楽しめる情報の発信に努めてまいります。また、小学校児童も利用される児童館においては、今後も魅力的な体験等の機会を提供できるよう取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】
199	3章		○	大学の食堂を増やしてほしい。← 食べる場所少ない、並びすぎて授業間に合わない	市立大学の食堂については、この度、昼休みの混雑を避けるため、また、食事の選択肢を広げるため、食堂を運営している大学生協が大学敷地内にカフェを整備いたしましたので、学生の皆様は是非ご利用ください。(本年9月末オープン)	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
200	3章			<p>全体を通して教員が足りていない。教師は授業をこなすだけで手一杯な状態が続いている現状があるにも関わらず、教育委員会も行政も改善しようとしていない。</p> <p>打開案として、義務教育における各教科講師の採用を提案。クレームが教師一人に対して行われることがなくなり、離職率が下がる。</p> <p>専門の講師による指導により、生徒の能力向上につながる。塾を利用しなくても教養が行き渡るため、送迎の時間や生活費負担が減り、夜間子供を狙った犯罪率の低下にもつながる。</p>	<p>学校の教員不足は全国的な問題であり、本市においても教員不足は課題の一つですが、教員の採用・配置は県の対応となりますので、引き続き教職員の増員について県へ要望してまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
201	3章			<p>【小学校副担任導入】 子どもの少子化と言え、各クラスの担任の先生は各教科の授業に加え、教室外へ出て行く子の対応、提出物の採点等、子供達全体の見守りまで手が回らない状況。担任が体調不良等で休んだ場合の代わりは校長、教頭先生が動かなくてはならず全校の子供達のフォローに回れる先生が減ってしまう。定年を迎えた先生や、担任の補佐役のできる先生を各クラスに置いて頂きたい。</p> <p>【専門科目教諭導入】 プログラミングや英語、音楽、書道等、専門性を必要とされる科目の先生を配置し、担任の負担を軽減する。</p>	<p>小学校の副担任制・専門科目教諭導入については一定の効果が期待されますが、教員の採用・配置は県の対応となりますので、引き続き教職員の増員について県へ要望してまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
202	3章			<p>小学校において、講師を導入することを検討願いたい。音楽、美術、体育等を専任講師が担当することで、クラス担任の負担軽減や、部活動の活性化に繋がるのではないかと考える。</p>	<p>専任講師の導入については一定の効果が期待されますが、教員の採用・配置は県の対応となりますので、引き続き教職員の増員について県へ要望してまいります。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
203	3章		○	高校の無償化は第三子のみではなく一律に無償化を希望します。原案に組み込まれていたらありがとうございます。	高校の授業料無償化については、「高等学校等就学支援金制度」といい、国が国公立を問わず高校の授業料を支援する制度です。所得制限はありますが、第1子より対象になります。なお、令和7年度から国が開始予定の大学無償化制度においては「子どもが3人以上同時に扶養されている」ことが条件となっております。いずれにしましても、国の制度であることから、国の動向を注視してまいりたいと思います。	C【今後の参考・その他】
204	3章		○	①児童クラブの預かりを朝もしてほしい。両親共に朝早く出るので困る。 ②高校の授業料無償化を全員対象にしてほしい。	①個別計画として「ForKidsプラン2025」の策定をこども未来部を中心に進めています。具体的な施策、事業の検討にあたっては、いただいたご意見を参考とさせていただきます。 ②高等学校授業料無償化については、国の「高等学校等就学支援金の支給に関する法律」に基づき、申請いただき、一定の所得未満の世帯の高校生等を対象に、高等学校等就学支援金として国の助成制度がございます。高等学校等就学支援金につきましては、国が全国一律で保護者の負担軽減策を実施することが適切である事業だと考えています。引き続き、国の動向を注視してまいりたいと思います。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
205	3章			<p>河川等で水難事故があった場所は、掲示をしてくれたら、子連れで河川公園で遊ぶ際に、事故の予防になると思います。</p> <p>福岡県の遠賀川などでは実施しています。</p> <p>子供の数が減少しているが、片親世代は割合が増えている。困窮した子育て世帯を手厚く支援することで、子育てしやすい都市になる。また将来その子どもたちが下関が発展させてくれると思う。</p>	<p>河川等では、水難事故にかかわらず、小さな川や、たとえ河川公園であっても遊ぶ際には気を付けることが必要ですので、掲示の有無にかかわらず、平素から学校、保育園、幼稚園等を通じて注意を促してまいりたいと考えております。</p> <p>ひとり親家庭への支援は必要不可欠と認識しており、第3章第1節「現状と課題」に記載しております。また、(2)④「ひとり親家庭への支援」において、生活の安定と自立に向けた取組についてお示ししております。具体的な取組につきましては、個別計画である「For Kids プラン2025」で検討してまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
206	3章			<p>10年後の下関を見据えているなら、今の子供達をどう育てるかのビジョンが見えない。理想的な文言の割に具体策がない。校舎をきれいにしたり、遊具を整えたり。机や椅子を新しくしたり。少ない予算なら計画的に取り組み学校に説明する。学校にもっとお金が使えるようにするにはどうしたらいいか考える。</p> <p>不登校児にICTの多様な教育と書いてあるが、なぜホームスクーリングができないのか。コロナの時にやっていたのだからオンライン授業ができるはずなのにやってくれない。タブレットも宝の持ち腐れ。先生が無理なら、民間のオンライン教育校と連携すればできるはず。いつからできるようになるのですか。中学生の娘にはあと2年半しかありません。具体的な期限を作り、そこに向けて計画を作らなければ意味がない。</p>	<p>施設整備に関しましては、中長期的な維持管理等にかかるコストの縮減及び平準化を図るとともに、学校施設に求められる機能・性能を確保することを目的に、下関市立学校施設長寿命化計画を策定しており、長期的な視点に立ち、工事を計画的に実施しております。</p> <p>また、遊具につきましては、老朽化した遊具の撤去・修繕・更新のほか、新しい遊具の設置を行い、安全で楽しい遊びの場を提供しております。</p> <p>机や椅子につきましても、快適な学びの環境の確保のため計画的に整備してまいります。</p> <p>オンライン授業も含め不登校児童生徒の態様やニーズに応じた支援ができるよう努めていきます。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
207	3章			「すべての子どもが健やかに成長できるよう地域や社会が家庭に寄り添い、つながり、ともに子どもを育成できる環境を構築し、妊娠・出産期からの切れ目のない総合的な子ども・子育て支援」とあるが、その後の継続的な支援も必要だと感じる。結局、乳幼児から少年期まで一貫した支援がないのが、虐待されている子どもやケアラーが埋もれてしまっている原因なのではないかと思う。担当者が変更したり、管轄部署が変わったりということがあると思うが、もっと抜本的な改革が必要なのではないかと思う。	困難な問題を抱える家庭への分野を超えた継続的な支援につきましては、第3章第1節<取組の方向>(2)①包括的相談支援体制の充実・強化および第4章第6節<取組の方向>(1)①包括的相談支援体制の実施に記載しております。なお、「妊娠・出産期からの子ども・子育て支援」につきましては、子育て期までの支援を想定しており、少年期も含んでおります。今後は、関係機関との連携をより一層深め、すべての子どもや子育て家庭が必要な支援を受けることができるよう努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
208	3章		○	下関で活動している大人の方の存在を知る機会(ロールモデル)・学生が親近感を持つことができるような若者と呼ばれる世代の方に講演をしてもらう	各学校において、コミュニティ・スクールの仕組みを活用して、地域の方々から学ぶ場を設けています。また、職業講話や職場体験等を推進するなど、工夫した学習活動を展開しています。これらの学ぶ場や学習活動での講師等には、若者と呼ばれる世代も含まれており、児童・生徒がロールモデルの存在を知る機会となっております。	C【今後の参考・その他】
209	4章	84	○	2年程前に私が実感したことです。当時はまだ新型コロナについて世間は敏感でした。そのときに私は感染し、それから約1年間後遺症を患いました。後遺症外来を調べると近くでも小倉周辺にあり、下関には1つありませんでした。従って新しい病に対しても比較的対応の早い医療機関を整備して頂きたいです。	全国的かつ急速なまん延が想定される新たな感染症に対応するため、平時から、山口県と医療機関等が医療措置協定を締結することにより感染症流行早期から対応できるような体制づくりに努めております。市も山口県や医療機関等との連携を図ってまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
210	4章	84	○	①「ふくふく健康21」など、取り組み自体は良いものだと思いますがアプリ導入でそれが普及し促進されるとは考えにくいです。デザインなど工夫いただき、取り組みに賛同している、参画していることがかっこいいと思えるようなものにしていただき、多世代から注目されるものであってほしいです。 ②(どの分野にもいえることですが、プロモーション(チラシのデザインから、タイトルに至るまで)がもったいないことで、せっかくの良い取り組みが普及できていないケースを多々目にします。本当に惜しいです。)	①健康づくりへの参加が多世代から格好良いと思われる取組になるようにというご意見も踏まえ、企業や地域の団体の皆様と協働しながら、効果的な周知・啓発を行うことで、市民への参画を促してまいります。 ②ご意見を踏まえ、原案を修正いたします。第8章において、広報・広聴活動について、原案を修正し、「質の高い情報発信」及び「媒体や価値観の多様化に対応した広聴活動」を推進します。	A【反映する】
211	4章	85	○	保健事業に関して、自分が調べないと受けられる保健事業が分からないので、広く周知していただけると助かります。	健診等の情報は市報や市ホームページに掲載するほか、「健康診査のお知らせ」の配布、母子手帳交付時に資料配布をするなどにより周知を図っております。その他、必要に応じて個別通知、パネル展示、ちらし配布なども活用しております。様々な媒体を活用しながら、引き続き広く周知に努めて参ります。	C【今後の参考・その他】
212	4章	85	○	P85の下から10行目、「精神保健福祉については、精神障害者の保健・医療等に関する相談、訪問指導、家族教室等を実施し」とありますが、対象に「こころの健康に不安がある人」も加えてほしいです。障害者手帳を交付されていない人にも目を向けてほしいと願います。	ご指摘のとおり、精神障害者だけでなく、精神保健に課題を抱える方も支援の対象となっておりますので、記載に反映いたします。	A【反映する】
213	4章	87		■(3) 地域の医療体制の充実 ④病院・診療所の充実 ※豊田中央病院は、下関市北部地域の中核病院として地域包括ケアシステムを支える重要な要素である医療・介護サービスを提供する重要な役割を担っている。 ※このため、持続可能な地域医療体制を確保するため、今後もへき地医療体制等の充実を積極的に取り組んで下さい。	下関市立豊田中央病院は、へき地においても市民が等しく適切な医療を受けられるよう、在宅医療及び地域包括ケアを進めていくための重要な拠点と認識しております。今後も、人材育成のための環境整備など医療機能の充実に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
214	4章	87.93		後期高齢者の保険料負担。これに該当者は年金収入の人が多くなると思える。保険料が高く増額される。特に元気で病院にも行かず、保険料だけは増加では、しかも、地域奉仕活動では出費、物価高、心理的にもおもしろくない。	制度に対するご意見として承りました。	C【今後の参考・その他】
215	4章	89		「地域福祉活動の推進」に関して、「自らの力で主体的に生活課題の解決に取り組む「自助」を基本とし、地域の支え合いによる「互助」や制度化された相互扶助である「共助」により支援」とありますが、「自助」を基本とする点は大いに評価できます。しかしながら、「共助」の実現に当たっては、個人主義の行きすぎによる地域コミュニティの崩壊の危機を直視し、いかにその再興を図るかという視点からの政策立案が必要であると考えます。	「共助」は制度化された相互扶助のことで、介護保険や医療保険に代表される社会保障制度及びサービスなどがあります。また、地域の福祉活動のためには、自治会や民生委員・児童委員、市民活動団体、NPO団体等の地域で活動する団体の支えが「互助」には必要であるため、市民活動の輪づくりを推進してまいります。 <参考> ・地域コミュニティの核となる商店街づくり(第1章第2節) ・スポーツを通じた地域コミュニティづくり(第2章第1節) ・地域コミュニティ組織の育成支援(第7章第4節)	C【今後の参考・その他】
216	4章	89	○	ダブルケア、ヤングケアラーの問題についての具体的な施策案を1つでも挙げていけばもっと分かりやすいのではないかと感じた。(相談方法など)	ダブルケア、ヤングケアラー等の複雑化・複合化した課題は、ひとつの相談機関だけで解決することは難しいため、第4章第6節「包括的な支援体制づくり」に、「本人・世帯の属性に関わらず受け止め、抱える課題を把握し、必要な相談支援体制を整備する」として記載しています。	B【反映済み・原案のまま】
217	4章	91		「地域のつながりが希薄となり、地域の中で孤立し、在宅での生活が困難になったケースや、日常生活に不安や問題を抱える高齢者も増加」とありますが、これも前述のとおり個人主義の行き過ぎの弊害であり、共同体の再興によるケアが必要であると考えます。	地域での孤立や生活の不安を抱える高齢者が増加している現状については、地域社会のつながりを強化し、住民同士の支え合いや交流を促進する取り組みが必要であると認識しています。地域のつながりを活かした支援体制の構築や、高齢者が安心して住み続けられる環境づくりに取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
218	4章	91		高齢者が外に出る数少ない機会である敬老会の会場を減らしているのはなぜか。	市で主催する敬老の式典につきましては、一部の地域で複数会場で開催していたものを集約し、基準の統一化を図っております。会場が遠くなった方には、会場へのバス等の手配などの配慮もし、多くの高齢者が参加できるように努めてまいりますのでご理解をお願いいたします。	C【今後の参考・その他】
219	4章	91	○	包括的な支援体制の整備とありますが、近年では地域における人と人とのつながりは薄くなっている傾向にあると思います。そのため、地域ネットワークの弱体化も考えられます。そういった状況の中で、地域のつながりはこれからどのような形にしていけるのでしょうか。	地域のつながりが薄れ、ネットワークの弱体化が進む中、地域包括ケアシステムの深化が重要な課題となっています。個人のニーズに応じた多様な参加の場を広げるとともに、地域リーダーの育成や共助の仕組みづくりを進め、地域住民同士の支え合いを促進します。これにより、地域全体で支援体制を充実させ、持続可能な包括的支援が実現できるよう取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】
220	4章	92		「在宅生活の支援の充実」に関して、「高齢者を介護する家族の負担を軽減し、支えていくための取組」とありますが、とりわけ精神的な負担が多いため精神科医や公認心理士・臨床心理士などによる介護者の精神的なケアの充実を強く希望します。「介護離職を防止するための取組を推進」に関しては高く評価しております。	介護者が気軽に相談できる場の設置や、家族のストレス軽減を目的とした家族介護者教室でのプログラム導入など、精神的ケアの充実を図るとともに、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターとの連携を深め、介護者の負担軽減に取り組んでまいります。 また、働きながら介護を行う方の離職防止に向けて、介護保険制度や介護休業、家族休業制度の啓発を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】
221	4章	93		介護予防の教室等を開いているが、会場に限られ、離れた地域からは参加できない。長寿支援課から補助を受けていたが、小さい地域の会は高齢者の人数も限られるため、人数制限により解散せざるを得なかった。結局は郡部は切り捨てられていく。	高齢者の健康づくりに資すると認められる活動を自主的に行っておられる住民グループに対し、活動費用の一部を助成しております「高齢者健康づくり活動住民グループ助成事業」は、65歳以上の方10人以上で構成する団体に限っております。人口減の地域における高齢者の介護予防、健康づくりについては課題として認識していますが、何卒ご理解いただきますよう、お願いいたします。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
222	4章	93		自治会活動や地域ボランティアは高齢者が多くかかわっている。彼らに対するメリットシステム(金銭的あるいは表彰)を積極的に構築すべきである。	地域においてボランティア活動等を行っておられる高齢者に対するメリットのあり方については、検討を行ってまいりたいと考えております。 なお、自治会長やボランティア活動に関する表彰制度がありますので、周知に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
223	4章	95	○	障害のある人となない人がお互いに理解しあえる社会を作るために啓発活動はすごく良いと思った。	今後も啓発活動に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
224	4章	96	○	第4節の障害者福祉の充実 障害福祉サービスの充実ももちろん大切であると思いますが、大きな障害があり、受け入れ先が少なく待機している方もいると聞きました。そういった方への対応もしっかりしているのかサービスの内容がもう少し具体的に書かれてほしい。	個別のサービスに係る具体的な内容については、個別計画である「下関市障害者計画・下関市障害福祉計画・下関市障害児福祉計画」に掲載しています。	B【反映済み・原案のまま】
225	4章	96	○	福祉の現場でのICT技術の活用による職場環境の改善とは、具体的にはどのようなICT技術を使うのか？介護ロボットは理解できるが、ICT技術とだけ書かれていても、イメージがわからないし、本当にそんなので職場環境を改善できるのかと思う。	現時点においては、障害福祉の職場においてタブレット端末等を利用した事務負担の軽減やオンライン予約、利用者管理等を想定しています。総合計画は10年間の計画であるため、更に便利な技術やサービスが開発されると思われます。	C【今後の参考・その他】
226	4章	96		日常生活における支援の充実について強度行動障害のある人に加えて大人の発達障害及び高次脳機能障害にも力を入れていくべきではないか。 障がい者の権利擁護の推進について意思決定支援を含めるべきではないか。 障害福祉サービス提供体制の適正な運営と障害福祉サービスの充実について人材の定着・育成を含めるべきではないか。	ご意見を踏まえ、記載に反映します。 なお、意思決定支援は障害福祉サービスの提供に係ることから、P96「⑥障害福祉サービス提供体制の適正な運営と障害福祉サービスの充実」に追加記載します。	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
227	4章	97		相談支援体制の充実について相談支援専門員の確保・育成を含めるべきではないか。	ご意見を踏まえ、記載に反映します。 なお、P97「②相談支援体制の充実」は支援が必要なこどもの早期発見と早期療育を図るための記載であることから、P96「⑥障害福祉サービス提供体制の適正な運営と障害福祉サービスの充実」に追加記載します。	A【反映する】
228	4章	98	○	就労支援をより気軽に利用しやすくするために広報の仕方を工夫する。	様々な就労支援の広報については、関係機関と連携し、ホームページや広報誌のほか、民間の広告媒体なども活用しているところですが、より利用者に届く広報に向けた取組を検討してまいります。 また、お示しの第4章第5節「低所得者福祉の充実」においては、引き続き生活保護受給者の方の就労プログラムを担当者から積極的に周知してまいります。	C【今後の参考・その他】
229	4章	101		■(1) 包括的な支援体制の充実・強化 ③地域づくりに向けた支援 ※主な取組に「世代や属性を超えて交流できる場や居場所づくりの推進」とあるが、具体的にどのようなことか分からない。	具体的には、高齢者に対して実施している地域の自主的な介護予防活動の支援や、乳幼児やその保護者が相互の交流を行う場を設けての子育ての相談、情報提供、助言等の支援があります。 地域の関係機関・団体と連携し、市民同士が出会い、参加することのできる場や居場所づくり等を推進してまいります。	C【今後の参考・その他】
230	4章			障害者施設を減らし、遠距離への送り迎えが必要になった高齢の保護者もある。	障害福祉サービス提供体制については、P96に記載のように適正な運営とサービスの充実に努めてまいります。 また、高齢の介護者への移動支援や生活支援は課題として認識しており、体制整備を検討してまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
231	4章			【医療、介護施設の情報提供窓口】 介護を要する高齢者や急性期病棟に入院した患者が転院する際の情報がなかなか得られず、調べる時間もないため、一括して相談できる窓口があれば助かる。各病院単位でなく、役所等にソーシャルワーカーを配置する等、困ったときの窓口があってほしい。	入院患者の転院の相談については、患者の状態、症状を踏まえた適切なアドバイスをするには、各医療機関で相談対応することが望ましいと考えます。 ご家族の介護をされている方が困った時の相談窓口としては、地域包括支援センターをはじめ、本庁舎では介護保険課、長寿支援課に専門職を配置し対応しております。	C【今後の参考・その他】
232	4章		○	医療ケア児の保育に関して下関市は手薄だと感じます。医療的ケアが必要な子を持つ親が就労を希望していても子の預け先(保育園など)が決まらず復職が叶わないかもしれないという話を耳にしました。現在は民間の保育園は看護師が常勤でない、また施設自体も受け入れる様になっていないから難しいとお断りされるようです。 どうかこの辺りに力を注いでいただけないでしょうか。	保育所等での医療的ケア児の受入にあたっては、保護者や主治医、関係機関の意見・協議を参考に入所時期等を判断、決定するとともに、受入施設で安全・安心に集団保育を受けていただけるよう、看護師の配置や保育士等の研修、環境の整備等を行っております。現在、公立園で複数の医療的ケア児を受け入れておりますが、今後も医療的ケア児の利用希望の増加が見込まれるため、第3章第1節(1)③に記載のとおり、公立園、私立園に関わらず保育環境を提供できるよう、インクルーシブ保育の充実を図ってまいります。	C【今後の参考・その他】
233	4章		○	・この度早産で超低出生体重児を出産した。幸いにも胃管のみの退院となったが、1歳になった際に預ける保育園が医療ケア児の受け入れがほとんど無く、仕事復帰したいがとても困っている。また、保育園を検討していく際も保健師、保育課、保育園等に色々なところに相談したが、あっちに行ってみて、こっちに行ってみてと相談する度に促されてとても大変な思いをした。医療、福祉、保育の連携をもっとしてもらわないと、今回私は偶然にも医療児支援センターに繋がったが、場合によっては途方にくれる人も出てくると思う。	医療ケア児につきましては、医療、福祉、教育などの関係機関で構成する下関市医療的ケア児支援地域連携会議を設置し、情報交換を行っています。この度のご苦労された話については事例として情報共有させていただきます。引き続き今後も関係機関の連携に努めてまいります。 医療的ケア児の保育園等への入所希望については、保護者からの直接相談のほか、関係機関や下関市医療的ケア児支援地域連携会議での情報交換を通じて把握に努めているところです。 医療的ケア児への支援については、第3章第1節(1)③に記載のとおり、公立園、私立園に関わらず保育環境を提供できるよう、インクルーシブ保育の充実を図って行くこととしており、関係者への情報提供についても強化してまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
234	4章			認知症のお年寄りが行方不明になった際に、身元がすぐにわかるように、GPSを携帯させたり、防犯カメラを町中に設置しても良いのではと思います。	現在、GPSなど高齢者の見守り支援のための機器の購入やレンタルに必要な費用の一部を助成しています。今後も、認知症高齢者やそのご家族の不安や負担を軽減するための方策を検討してまいります。	C【今後の参考・その他】
235	5章	102		まちづくりと連携した鉄道、バス等の公共交通の利便性を向上とあるが、魅力ある鉄道、バスにする(外装、内装、社内イベントなど)などの工夫が必要と思う。バスは料金が高すぎると思う。市内周遊バス、旧豊浦郡周遊バス(町外にも)を運行し、料金を一定区間100円にするなど他	本市の公共交通は、利用者の減少が公共交通を担う事業者の収益低下を招いており、廃止や減便が進むことで利便性が低下し、さらに利用者の減少を招くという悪循環に陥っています。また、運転手不足が利便性低下に拍車をかけている状況です。本市としては、都市機能の効率的な配置や集中と併せて、公共交通の合理化と利便性の向上が急務と考えており、交通事業者とともに、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。頂いたご意見については、バス事業者へも共有いたします。	C【今後の参考・その他】
236	5章	104		居住誘導とあるが、これはP39の農村の有する多面的機能の維持と矛盾するのではないか。	農業従事者などその土地に関わりのある方については居住誘導を促すことは想定しておりません。人口減少社会にあっても、持続可能な都市を目指し、既存市街地の再編、既存施設のリニューアルなど、未来の都市に相応しい都市機能の集積を進め、また、都市部から農山漁村部までに至る多様な地域特性をもっている本市だからこそ、各地域においても、生活利便施設などを誘導し、居住環境の向上を図るとともに、自然環境をはじめとした、豊富な地域資源を活かした、地域再生にも取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
237	5章	104	○	下関駅周辺はにぎわっているのに、新幹線が通っている新下関駅周辺が不便すぎます。この点の改善を求めます。	新下関駅周辺では、これまで区画整理や道路などの都市基盤の整備を進めてまいりました。幹線道路の沿道では、商業施設や飲食店などが建ち並んでおり、また、東亜大学といった教育施設が立地する等、市街地が形成されています。これは、長年行ってきた都市基盤の整備が実を結び、民間投資が進んだものと認識しております。一方で、区画整理後、半世紀近くたち、駅や駅前施設が老朽化している状況もございます。それらを踏まえ、新幹線駅という他都市との接点であり、広域交通の玄関口としてふさわしいまちづくりについて、関係する皆様のお話も伺いながら、検討が必要と考えております。	C【今後の参考・その他】
238	5章	104	○	下関市は高低差が激しく、交通の不便さは他市と比べても大きい。電動自転車のシェアリングなどがあれば移動が便利になる。	plan☆do下関駅北サイクルポート(下関駅北自転車駐車場)では、電動自転車を貸し出す民間サービスがございます。サイクリングサービスの充実については、関係事業者と連携しながらさらなる検討を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】
239	5章	104	○	自然減、社会減となり厳しい状況にあるなかでも、公共交通の利便性は最低限確保できていると思う。	人口減少や運転手不足など、公共交通を取り巻く環境は大変厳しいものがありますが、今後も、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】
240	5章	105		「市街地の活性化」に関してですが、郊外から中心市街地の職場への自動車通勤が中心市街地の活性化を抑制している一つの原因ではないかと考えます。旧市内エリアへのロードプライシング導入や鉄道・バスの定期券購入に対する補助金、市内の公共交通機関の全線無料デーの設定といったこれまでとは異なる大胆な政策の導入により中心市街地への自動車通勤の利用を抑制することで、公共交通機関利用への転移を進めることが駅を中心とした中心市街地の街づくりに必要であると考えます。	本市としては、まちづくりと連動した公共交通体系の構築、公共交通の利用促進と市民意識の醸成は重要と考えており、ご提案の内容を含め、本市の地域公共交通計画の策定に際し参考とさせていただきます。今後も、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
241	5章	105		「都市拠点」のうち「中心市街地」しか取り上げられていないが、「新下関駅周辺」「運動拠点」についても取り上げ、施策を示していただきたい。	新下関駅周辺では、これまで区画整理や道路などの都市基盤の整備を進めてまいりました。幹線道路の沿道では、商業施設や飲食店などが建ち並んでおり、また、東亜大学といった教育施設が立地する等、市街地が形成されています。これは、長年行ってきた都市基盤の整備が実を結び、民間投資が進んだものと認識しております。一方で、区画整理後半世紀近くたち、駅や、駅前施設が老朽化している状況もございます。それらを踏まえ、新幹線駅という他都市との接点であり、広域交通の玄関口としてふさわしいまちづくりについて、関係する皆様のお話も伺いながら、検討が必要と考えております。運動拠点については、令和6年度8月にJ:COMアリーナ下関が完成しており、引き続き、歩道整備や、駐車場整備を進めてまいります。	B【反映済み・原案のまま】
242	5章	105	○	駅を中心としたまちづくりの推進とあるが、中心に適した駅がないように感じる。新下関も下関駅もよその徳山駅とかきれいな駅と比べたら汚いし、しせつも見たいも充実していないように感じる。	人口減少下にあっても、一定の人口密度を保ち、生活サービスやコミュニティが持続され、持続可能な都市を目指す必要があります。その実現のため、立地適正化計画を策定し、安全で交通利便性の高い地域への居住や、生活サービスといった都市機能の誘導・集約に取り組んでおります。駅周辺のまちの魅力を高めると同時に、駅自体の更新についても、関係機関との協議など進める必要があると考えております。なお、第5章第4節(2)①「鉄道利用者の利便性向上」において鉄道駅の環境整備について記載しております。	C【今後の参考・その他】
243	5章	105	○	②居心地が良く快適で安全・安心な市街地の形成 都会すぎず。田舎過ぎない町でとても居心地が良い町に感じました。	本市に実際にお住まいになられた上での感想ありがとうございます。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
244	5章	107		良好な景観を形成するためには、予算がいる。景観賞の設定など意義は感じるが、もっと活動を支える予算が欲しい。幹線道路における花壇の美化活動は、一部地域に限らず、全市でも順番でもよいから広げてほしい。	市民や企業のボランティアによる活動を通じ、良好な景観を形成するよう取り組んでおります。今後、活動区間の拡充等の要望があった際には、花壇の美化活動を担っていく団体や道路管理者等と協議し、検討して参りたいと考えております。	C【今後の参考・その他】
245	5章	108		■(1) 景観形成の推進 ④夜間景観形成の推進 ※ガイドラインは、下関市内の一部の箇所を対象としたもので、施設の整備費・維持費から考えると市民が必要とあるものとは思われない。こんなもの必要なの。	本市では市全域を対象とし夜間景観形成基本方針を策定し、昼間の景観だけでは気づけないまちの魅力を再発見し、新たな魅力を創出させることで、さらにまちの魅力を高めることを目的とした夜間景観形成を進めております。 ご指摘のガイドラインは、この方針を踏まえ唐戸から下関駅のエリアを対象にして策定しておりますので、原案の記載を修正いたします。	A【反映する】
246	5章	108		観光地のライトアップは、かけたお金ほどの効果が上がらないと思う。電力のムダ。各地域に必要な街灯は住民がだすのだから、ライトアップを願う地域の費用はその地域で。	本市では夜間景観形成基本方針を策定し、昼間の景観だけでは気づけないまちの魅力を再発見し、新たな魅力を創出させ、まちの魅力を高めることを目的として夜間景観形成を進めております。 なお、施設のライトアップに伴う電気代等の費用は基本的に各施設管理者が負担しております。	C【今後の参考・その他】
247	5章	108	○	花よりも、樹木を増やしていった方が景観が一気に良くなるし、長期的に良い景観を保てると思います。	貴重なご意見として参考とさせていただきます。	C【今後の参考・その他】
248	5章	108	○	④ライトアップは若者からみても、魅力的だと感じた。しかしながら、新たに何かを設置することよりも、既存の老朽化の進んだ建物の再建の方が急がれると考えた。	ご意見のとおり、老朽化施設の改修等を進めるとともに、あわせて歴史的建造物等の魅力を活かすため、ライトアップ整備等も行っております。	C【今後の参考・その他】
249	5章	110		■(2) 安全・安心な住環境の整備 ①空き家の活用、適切な管理の推進 ※「空き家情報のデータベース化、適切な管理・活用の推進」は、速やかに行ってください。	空き家対策につきましては、「空家等対策の推進に関する特別措置法」の施行に伴い策定した「下関市空家等対策計画」に基づき、空き家の発生防止から活用、解体、更新に至るまで、空き家の状況に応じた様々な支援策を実施しているところであり、ご意見を踏まえて取り組んで参ります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
250	5章	110		公営住宅を郡部を含む市内にきちんと分けて作れば、人口を適正に配分することができ、学校の統廃合も進めるし、県外からの移住者も呼び込みやすくなる。	公営住宅の整備につきましては、「下関市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化が進んだ住宅の用途廃止や集約建替を計画的に進め、適切な管理戸数となるよう計画しております。	C【今後の参考・その他】
251	5章	110	○	空き家の活用や管理の部分では、行政だけの力で解決するのは難しいと思う。特に、豊北地域では空き家は増加が見られると聞いたことがある。一方で空き家対策を実践している地域プレイヤーとの連携が必要だと思う。	公民連携のもと、空き家等の遊休不動産のリノベーションを通じて、コミュニティの再生につなげるまちづくりにも引き続き取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】
252	5章	110		公営住宅等の整備について目的外使用も含めた有効活用を含めるべきではないか。	公営住宅の整備につきましては、「下関市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化が進んだ住宅の用途廃止や集約建替を計画的に進め、適切な管理戸数となるよう計画しております。なお、既存の公営住宅の空室につきましては、本来入居対象者への供給に支障が生じない範囲において、目的外使用を行っておりますが、さらなる有効活用の方法につきまして引き続き検討してまいります。	B【反映済み・原案のまま】
253	5章	110	○	住環境の整備の文脈で、若者が住みたいと思える物件の拡充、または若い世代に対する住宅リノベーションの支援を望みます。駅前空洞化やドーナツ化減少が著しい下関市において、本庁管内エリアに住むことができる物件は少なく(物件はあっても家主不明の空き家や、再建不可など条件付きの物件ばかりです)、中心市街地はたとえ住みたくても住めないという状況が現実ではないかと思えます。不動産業者など民間と連携を図るなどして、下関駅周辺の若手向け居住地を確保いただけると有り難いです。(親との同居、実家へのUターンを前提とせずとも、一人暮らしに有効な物件(家賃、部屋の綺麗さなど)が充実してくれば、進学後の就職で下関に戻りたいと思う若者も増えるのではないかと？という仮説です。)	ご意見を踏まえて、今後の施策を検討してまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
254	5章	111		空き家バンクは使い勝手が悪すぎる。萩などの細やかなやり方をとりいれてほしい。	空き家バンク制度のリニューアルにつきましては、ご意見を踏まえて検討して参ります。	C【今後の参考・その他】
255	5章	111		空き家バンクの物件紹介が地域別に見られるようにすべき。例えば、17協議会別にして、協議会のHPからアクセスできるようにするなど。	空き家バンク制度のリニューアルにつきましては、ご意見を踏まえて検討して参ります。	C【今後の参考・その他】
256	5章	112	○	下関のバス関係の会社が少ないせいで、お金がたかくなっているからもっとバス会社をふやしてやすくしてほしい。	本市の公共交通は、利用者の減少が公共交通を担う事業者の収益低下を招いており、廃止や減便が進むことで利便性が低下し、さらに利用者の減少を招くという悪循環に陥っています。また、運転手不足が利便性低下に拍車をかけている状況です。運賃につきましては、全国的な人件費や物価高騰のなかでも、これまでなんとか据え置いてきた状況と、事業者より聞いております。本市としては、都市機能の効率的な配置や集中と併せて、公共交通の合理化と利便性の向上が急務と考えており、交通事業者とともに、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】
257	5章	112	○	バスの本数を増やしてほしいなと思っています。本数が増えるとバスが満員になってのれなくなることもないし、自分がのりたい時間にのれたいなと思いました。	本市の公共交通は、利用者の減少が公共交通を担う事業者の収益低下を招いており、廃止や減便が進むことで利便性が低下し、さらに利用者の減少を招くという悪循環に陥っています。また、運転手不足が利便性低下に拍車をかけている状況です。本市としては、都市機能の効率的な配置や集中と併せて、公共交通の合理化と利便性の向上が急務と考えており、交通事業者とともに、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。頂いたご意見については、バス事業者へも共有いたします。	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
258	5章	112	○	<p>私たちは、大人とちがい、車の免許が取れないので遊びに行くときの行動範囲に限られます。少し遠くの所に行くのでもバスや電車の時間がないので外に出る気も薄れるし、出かけるにしても市外で福岡や小倉の方にも出かけるが増えます。</p> <p>車で行った下関や山口の良い所や魅力はたくさん知ってるので、私たち学生や車を持ってない方たちの行動範囲などを広げるためにも少しでも実現に繋げて頂ければとても嬉しいです！お願いします。</p>	<p>本市の公共交通は、利用者の減少が公共交通を担う事業者の収益低下を招いており、廃止や減便が進むことで利便性が低下し、さらに利用者の減少を招くという悪循環に陥っています。また、運転手不足が利便性低下に拍車をかけている状況です。</p> <p>本市としては、都市機能の効率的な配置や集中と併せて、公共交通の合理化と利便性の向上が急務と考えており、交通事業者とともに、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。</p> <p>頂いたご意見については、バス事業者へも共有いたします。</p>	A【反映する】
259	5章	112	○	<p>バスの交通機関の本数をもっと増やしてほしいです。終バスが9時台で早いのと、1時間おきにしか来ないバスが多いので改善してほしいです。また、バス料金が高いので20円くらい安くしてほしいです。</p>	<p>本市の公共交通は、利用者の減少が公共交通を担う事業者の収益低下を招いており、廃止や減便が進むことで利便性が低下し、さらに利用者の減少を招くという悪循環に陥っています。また、運転手不足が利便性低下に拍車をかけている状況です。</p> <p>運賃につきましては、全国的な人件費や物価高騰のなかでも、これまでなんとか据え置いてきた状況と、事業者より聞いております。</p> <p>本市としては、都市機能の効率的な配置や集中と併せて、公共交通の合理化と利便性の向上が急務と考えており、交通事業者とともに、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。</p> <p>頂いたご意見については、バス事業者へも共有いたします。</p>	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
260	5章	112	○	<p>バスの交通費が少し安くなったらいいなと思っています。そして交通量が増えたら嬉しいです。よくバスに乗りますが、あまり乗りたい時に交通量が少なすぎて乗れません。だからもっとバスに乗りたいので、安く移動できたらいいです。</p> <p>いつも私達のために、過ごしやすい下関を作ってくださいありがとうございます。意見を少しでも取り入れてくれたら嬉しいです。お願いします。</p>	<p>本市の公共交通は、利用者の減少が公共交通を担う事業者の収益低下を招いており、廃止や減便が進むことで利便性が低下し、さらに利用者の減少を招くという悪循環に陥っています。また、運転手不足が利便性低下に拍車をかけている状況です。運賃につきましては、全国的な人件費や物価高騰のなかでも、これまでなんとか据え置いてきた状況と、事業者より聞いております。</p> <p>本市としては、都市機能の効率的な配置や集中と併せて、公共交通の合理化と利便性の向上が急務と考えており、交通事業者とともに、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。</p> <p>頂いたご意見については、バス事業者へも共有いたします。</p>	A【反映する】
261	5章	112	○	<p>バスをよくつかうので、交通費用が少しさがることによって利用しやすいと思います。</p>	<p>本市の公共交通は、利用者の減少が公共交通を担う事業者の収益低下を招いており、廃止や減便が進むことで利便性が低下し、さらに利用者の減少を招くという悪循環に陥っています。また、運転手不足が利便性低下に拍車をかけている状況です。運賃につきましては、全国的な人件費や物価高騰のなかでも、これまでなんとか据え置いてきた状況と、事業者より聞いております。</p> <p>本市としては、都市機能の効率的な配置や集中と併せて、公共交通の合理化と利便性の向上が急務と考えており、交通事業者とともに、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。</p> <p>頂いたご意見については、バス事業者へも共有いたします。</p>	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
262	5章	112		<p>「JR山陰本線の小串から山陰方面は特に利用者の少ない状況にあります。広域交通ネットワークとして、持続可能性の確保が必要です」とありますが、輸送密度の低さおよび並行道路が既に整備されていることを考えると、鉄道の最大の長所である大量高速輸送という特性を全く生かせていない状況です。</p> <p>鉄道の存続に拘るのではなく、JR西日本とあらゆる可能性を排除しない前提での交渉に臨み、JRの資金負担によるバス、とりわけ可能であればBRT(バス高速輸送システム)への転換など、夕張市や日田彦山線沿線自治体の事例を参考に「攻めの廃線」も含めて検討する必要があります。</p> <p>「バス交通等の対策」についてですが、パーク＆ライドの推進のために、複数の路線が乗り入れる乗換拠点の主要バス停を中心に公共駐車場・駐輪場の整備を検討することを強く望みます。</p> <p>「MaaS(マース)やライドシェア、自動運転など、新たな技術やしくみの導入も視野に入れ、合理化と利便性の向上を目指します」とありますが、これに関しては日進月歩の世界であり、大学教員やIT企業の実務家など、先進事例を熟知した外部の有識者をアドバイザーとして招聘しないと不可能ではないかと考えます。</p>	<p>JR山陰本線については、令和5年より、沿線自治体やJR西日本を含む関係機関と「利用促進協議会」を設置し、令和6年度は、団体利用補助や、サイクルトレインの実証に取り組むこととしております。また今後は、駅を中心としたまちづくりを進めることが、鉄道需要の創出につながるものと考えております。</p> <p>パーク＆ライドについては、複数のバス路線が集中する鉄道駅等の交通結節点における環境整備の一環として、取組を検討してまいります。</p> <p>新たな技術やしくみの導入については、国の規制緩和や、県の実証実験の動向などを注視し、必要に応じて交通を専門とする外部有識者などの意見もお聞きしながら、交通体系の合理化と利便性の向上に取り組んでまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
263	5章	112		<p>■(1) バス交通等 ※地域住民が主体となるコミュニティ交通とは、何か。分からない。教えて。 ※「地域の輸送資源を総動員し」とは、どのようなことか。 ※どう総動員するのか分からないが、速やかに行ってください。</p>	<p>「地域住民が主体となるコミュニティ交通」とは、自治会などが運営主体となり、地域内にバスなどを運行させる交通形態のことです。運行経費は運営主体である自治会などで負担する必要があります。過去に、豊北町粟野地区で運行されていた事例があります。</p> <p>「地域の輸送資源を総動員」とは、公共交通以外の、介護サービス事業所等の送迎車両やスクールバスなど他分野の輸送資源と連携し、本来の用途を妨げない範囲で地域住民等の利用や空き時間の車両の活用を可能にする取組です。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
264	5章	112		公共交通は、特に豊北町や豊浦町の生徒が通学に利用する区間はもっと増やしてほしい。豊北高校の存続は地域の存続にかかわる。駅から学校までのバスをだすことで高齢者の通院や買い物の利便にもつながり、世代間交流も図れると思う。	豊北地区では、路線バスの運行がない地域において、地域のニーズを伺いながら、市が生活バスを運行しております。また、下関北高校の学生の通学手段については、スクールバスなどの手段も含め教育機関と連携を図り、地域公共交通の在り方を検討してまいります。 なお、現在、JR山陰本線が一部不通となっている区間については、下関北高校を経由する臨時バスを運行しており、地域住民や学生に利用していただいています。	C【今後の参考・その他】
265	5章	112	○	下関から北九州へ移動する際、交通系ICを使えるようにしてほしいです。	JR西日本に対しては、ICOCA(JR西日本管内)・SUGOCA(JR九州管内)エリアの双方にまたがる利用が可能となるよう改善を要望しており、2023年4月より、山陽線の下関駅から徳山駅間のICOCAエリア拡大と、ICOCA・SUGOCAエリアの双方にまたがる定期券のサービスが開始されています。 一方で、JR西日本からは、「定期機能のないICカードでのまたがり利用については、技術的な課題があり、現時点では対応が困難」と回答されております。 引き続き、本市としても、関門地域の移動の円滑化の観点から、JR西日本への要望を継続してまいります。	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
266	5章	112	○	利用者が減る悪循環に対してどのような対応を取っているか具体例を聞きたい。	公共交通を取り巻く構造的な問題(悪循環)に対し、近年新たなものとして以下に取り組んでいます。 ・運転手不足対策として、令和6年度より第二種運転免許取得費用の補助制度を創設 ・物価高騰の影響を受ける生活への支援と公共交通の利用促進を図る施策として、令和5年、令和6年におでかけクーポン券を全世帯へ配布 問題の構造を改善していくためには、運転手不足対策や、公共交通利用促進・市民意識の醸成に、今後一層取り組むことに加えて、中長期的には、まちづくりと連動した公共交通ネットワークの構築や、駅を中心としたまちづくりを進めていくことが、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することにつながると考えております。	A【反映する】
267	5章	112	○	下関市は、坂が多いため歩いて移動をする時足への負担が大きくなる。自転車の貸し出しはあるがその自転車が電動自転車の貸し出しになると、もっと楽な移動手段ができると思う。	plan☆do下関駅北サイクルポート(下関駅北自転車駐車場)では、電動自転車を貸し出す民間サービスがございます。サイクリングサービスの充実については、関係事業者と連携しながらさらなる検討を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】
268	5章	112	○	バスの本数を増やしたり、時間がかたまらないようにしたり(1時間に3本で、3本目が30分などにならないように)遅延しすぎないようにしたりすると利用しやすくなって助かります。	本市の公共交通は、利用者の減少が公共交通を担う事業者の収益低下を招いており、廃止や減便が進むことで利便性が低下し、さらに利用者の減少を招くという悪循環に陥っています。また、運転手不足が利便性低下に拍車をかけている状況です。本市としては、都市機能の効率的な配置や集中と併せて、公共交通の合理化と利便性の向上が急務と考えており、交通事業者とともに、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。頂いたご意見については、バス事業者へも共有いたします。	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
269	5章	112	○	公共交通はよく利用させていただいています。その中で、バスをよく利用するのですが、バスが時間通りに来ないことが少し多いかなと思いました。様々な問題があると思いますが、改善していただきたいです。	本市では、路線バスの遅延軽減・定時性確保などを目的として、令和3年に市内長距離路線の一部の分割を実施しております。その他の遅延要因として、3連休中日などの特異日において、唐戸周辺の渋滞が路線バスのダイヤに影響を与えていると認識しております。 このことから、本市では、令和6年度より、唐戸市場横に臨時駐車場を設けるなど、渋滞対策を強化して取り組んでいるところです。 また、バスレーンやバス停周辺の路面標示等により、路線バスが渋滞の影響を受けづらくする工夫についても、検討中の地域公共交通計画に位置づけ、バス事業者や道路管理者など関係機関と連携して取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】
270	5章	112		バス交通等の対策について介護サービス事業所・障害福祉サービス事業所の送迎業務、福祉有償運送と地域交通との連携について含めるべきではないか。	P112第5章第4節(1)①で「公共交通サービスでカバーできない部分については、タクシーや地域住民が主体となるコミュニティ交通の導入、福祉サービス等様々な地域の輸送資源を総動員」することを記載しております。	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
271	5章	112	○	<p>①バスの便数の激減による朝の通勤・通学時間帯の混雑や夜のダイヤ繰り上げ(下関駅発の終バスが21:30頃)が、バスにマイナスのイメージを与え、ますます利用しにくくなっていると感じます。特に今年度から終バスが早まったことに関しては、飲食店の利用など夜の外出を諦めたり、また雇用する側・働く側も移動手段を失うことでより一層の人手不足に陥ったりと悪循環を生んでいます。</p> <p>②六連島・蓋井島に関する記述が、交通(航路)の維持整備以外の箇所で見受けられなかったのですが、なにか具体的に必要と感じる分野、取り組みはありますか？ 高齢化による産業の担い手不足や人口減少、空き家問題などあると思いますが、地域おこし協力隊制度に限らず、若い世代の移住を積極誘致するような国内型のワーキングホリデーのような仕組みを実施すれば面白いのではないかと思います。島根県隠岐などでは、「大人の島留学」などの取り組みがあり、現地の産業(農業・漁業)の担い手となって就労しながら、島の空き家等をリノベーションしてシェアハウスにして居住できるよう整え、多数若者が島に渡っています。下関の離島はどちらも比較的アクセスが良く、本土との行き来や近年のデジタル化で暮らしやすく、仕事もしやすくなっていると思うので、若い世代が着目して移住・島起こしができるようになるといいなと思います。</p>	<p>①本市の公共交通は、利用者の減少が公共交通を担う事業者の収益低下を招いており、廃止や減便が進むことで利便性が低下し、さらに利用者の減少を招くという悪循環に陥っています。また、運転手不足が利便性低下に拍車をかけている状況です。本市としては、都市機能の効率的な配置や集中と併せて、公共交通の合理化と利便性の向上が急務と考えており、交通事業者とともに、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。頂いたご意見については、バス事業者へも共有いたします。</p> <p>②いただいたご意見を参考に、他市の事例も含め研究してまいります。</p>	A【反映する】
272	5章	113	○	彦島、小倉間の海上に橋をかけてほしい。八幡方面に行く場合、門司を通るのは時間がかかる。	<p>現在、彦島から小倉方面への道路計画として、下関北九州道路の都市計画決定に向けた手続きを進めております。今後も引き継ぎ、下関北九州道路の早期実現に向け、関係機関と連携しながら、国の調査に協力するなど精力的に取り組む、早期実現に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、下関北九州道路については、第5章第5節(1)①「高規格幹線道路の整備」に記載しております。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
273	5章	113		どんなすばらしい基本計画を立てても、交通手段がなければ効果は半減。 その理由、バス、鉄道、タクシーにしても運転者不足、この状況下で難しさ(予算化も含む)も十分判ります。これを打開、解決策をこのテーマだけで多くの意見を聞いてやることを望みます。	本市では、交通事業者の運転手不足対策として、令和6年度より、二種免許取得費用の補助制度を設けたところです。 また、県内全体の取組として、学識経験者、交通事業者、行政機関で構成される「バス・タクシー運転士確保対策連携協議会」を設置しており、他種業界から人材を確保する取組や、バス業界に特化した求人サイトに県内事業者の特集ページを開設しています。 今後も、公共交通の運転手不足に対し、事業者や県とも連携しながら、更なる取組を検討してまいります。	A【反映する】
274	5章	113	○	下関と北九州に電車で行くのにICが使えないのが不便です。	JR西日本に対しては、ICOCA(JR西日本管内)・SUGOCA(JR九州管内)エリアの双方にまたがる利用が可能となるよう改善を要望しており、2023年4月より、山陽線の下関駅から徳山駅間のICOCAエリア拡大と、ICOCA・SUGOCAエリアの双方にまたがる定期券のサービスが開始されています。 一方で、JR西日本からは、「定期機能のないICカードでのまたがり利用については、技術的な課題があり、現時点では対応が困難」と回答されております。 引き続き、本市としても、関門地域の移動の円滑化の観点から、JR西日本への要望を継続してまいります。	A【反映する】
275	5章	113	○	鉄道駅のバリアフリー化とあるが、幡生駅では上下線ともにエレベーターが無く、高齢者の方々にとって非常に使い辛いものとなっている。	幡生駅は、JR西日本とバリアフリー化に向けた整備手法等の協議を進めております。	C【今後の参考・その他】
276	5章	113	○	幡生駅の整備 最低でもトイレをきれいにしてほしい。	幡生駅は、JR西日本とバリアフリー化に向けた整備手法等の協議を進めており、トイレを含む周辺施設の整備についても、合わせて検討を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
277	5章	113	○	運転手さん(バス、タクシー等)の給料を上げ、人を確保することが必要だと思います。バスの本数や街のタクシーの数が増えることにつながると思います。	本市においては、交通事業者の運転手不足の解消につながるように、二種免許取得費用の補助制度を設けているところです。運転手不足の問題など、引き続き対策を講じてまいります。	A【反映する】
278	5章	113	○	自分は北九州に住んで学校には通ってるけど、JRの時間や本数を微妙だなと思うことがあるので、利用促進はありがたいと思う学生も多いと思う。	本市では、山口県西部と北九州の両地域を結ぶ鉄道の頻繁運行などを実現するため、平成8年より、北九州市、及び関係機関とともに「期成同盟会」を設置しており、JRに対して、下関駅と小倉駅間の運行本数増便等の要望や、鉄道利用促進の一環としてPR時刻表の作製・配布を行っております。今後も利用促進や利便性向上が図られるよう取り組んでまいります。	A【反映する】
279	5章	113	○	既に計画などされているかもしれないが、もっと幡生駅の設備を整えるべきだと思う。駐車場もせまいし、エレベーター、エスカレーターもないから不便。	幡生駅は、JR西日本とバリアフリー化に向けた整備手法等の協議を進めており、周辺施設の整備についても、合わせて検討を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】
280	5章	114	○	大通りには明るい所がたくさんあるけど細い道には全く明るい所がないので、街灯を細い道にもっとほしいです。	道路管理者が設置する「道路照明」につきましては、交通量の多い交差点部や横断歩道など特に交通安全上必要な箇所に設置することとしております。今後も道路の利用状況などを鑑み、歩行者等の交通の安全かつ円滑な移動に資するよう努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
281	5章	114		下関の衰退の一因が過剰な道路建設にあると思う。九州下関道路ができれば、一層旧市街はさびれるし、山陰道が出来れば、一層寂れる区域が増えるだけ。新しい道路を作るより、今ある道路をもっと整備してほしい。白線も薄くなっており、危険。	現在使われている道路の整備や維持管理も適切に行ってまいります。	C【今後の参考・その他】
282	5章	114	○	下関市内の街灯が少ない印象があるので、安全のためにも設置していただきたいです。	道路管理者が設置する「道路照明」につきましては、交通量の多い交差点部や横断歩道など特に交通安全上必要な箇所に設置することとしております。今後も道路の利用状況などを鑑み、歩行者等の交通の安全かつ円滑な移動に資するよう努めてまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
283	5章	114	○	道路の整備には直接関係ないかもしれませんが、自転車の乗り捨て、サイクリングサービスの充実が必要だと考えています。下関駅付近、グリーンモールあたりから火の山のふもとあたりまで行き来、観光するのにバスだと待ち時間があたり小回りがききづらいからです。数年後に星野リゾートが出来て観光客も増え、脱炭素のための取組としても是非検討をお願いします。	ご指摘のレンタサイクル乗り捨ては、現在、plan☆do下関駅北サイクルポート(下関駅北自転車駐車場)で借りて唐戸(旧英国領事館)で返却する民間サービスがございます。サイクリングサービスの充実については、関係事業者と連携しながらさらなる検討を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】
284	5章	114	○	関門トンネルについての意見があります。交通渋滞の影響について、P114にもありますが、関門トンネルは片側一車線しかなく、整備や事故車対応時は待たないといけないため、混雑します。利用者が多いからこそ、平日、休日関係なく片側のみだと混み、行列渋滞してしまうため、対策を考えていただきたいです。車線を増やすことは難しいとは思いますが、何か対策があるかだけでもお聞きしたいです。	現在、彦島から小倉方面への道路計画として、下関北九州道路の都市計画決定に向けた手続きを進めております。下関北九州道路が実現すれば、関門トンネルの渋滞も緩和されると思われれます。今後も引き継ぎ、下関北九州道路の早期実現に向け、関係機関と連携しながら、国の調査に協力するなど精力的に取り組み、早期実現に努めてまいりたいと考えております。	C【今後の参考・その他】
285	5章	115		<p>■(3) 生活道路の整備</p> <p>①市道等の整備</p> <p>※主な取組項目は、何年も要望しているが未だに取り組みされていないので、早急に対応をお願いします。</p> <p>(市道の整備・改良、交通安全施設等の整備・改良、市道の防災対策)</p> <p>※私道の整備に対する助成は、市内全域で、どこでも助成があると考えてよいのか。</p>	市道の防災対策や整備、交通安全施設等の改良については、安全性や緊急性を踏まえ、計画的に行ってまいります。また、私道の整備に対する助成の対象は、市内全域となりますが、詳細は道路河川管理課へお問合せください。	C【今後の参考・その他】
286	5章	115		・道路の整備 現在の道路のセンターライン、停止線、進路区分、消えて見えない道路が多い早急に要望する	道路の路面標示については、下関警察署と連携し、適切な維持管理に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
287	5章	115	○	最近よく対応されていると思うが、長府トンネルあたりが毎度混むので新たなルートを作してほしい	現在、国において、印内地区交差点改良が進められており、このうち印内交差点から中土居交差点間については、令和6年2月に完成しました。残る区間についても、用地取得、道路設計を実施されているところで、課題の解消に対する期待が大いに高まっております。 また、長府トンネルは、令和5年12月には、国の検討委員会が開催され、北側に、新たなトンネルを設け、2車線道路を整備する対応方針が示されたところです。引き続き長府トンネル付近の早期事業化実現に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
288	5章	115	○	主な取組以外の道の整備について	生活道路の整備については、「渋滞の緩和や市民の買い物等日常生活の安全性、快適性の確保を図るため……市道の整備を推進します」と記載しております。主な取組以外の道の整備にも同様に取り組んでまいります。	B【反映済み・原案のまま】
289	5章	115	○	道路のアスファルトの地割れ(タイヤが巻き込まれやすい)、道沿いの雑草が道路にはみ出している状況などは、左端を走るバイクにとって非常に危険です。市内各地で見られるため、早急な改修を望みます。(道路の異常ダイヤル#9910に言っても良いのですが、雑草など、どこの部署に言うのが適切かよくわかりません。)	アスファルトの地割れや除草など道路の不具合については、適宜現地の状況を確認した上で、必要な対応を行っております。道路の異状に関する通報は、管轄が分からない場合、#9910のほか、しもまちアプリを活用した通報システムなどがございますので、ご利用いただければと思います。いずれの場合も各管理者に連絡が届くようになっております。なお、市道であれば、直接、道路河川管理課に電話で通報いただくことも可能です。	C【今後の参考・その他】
290	5章	116	○	「安全で便利な道路機能が構築されていると感じる市民の割合」が38.2%で低く、どこの道路でそう思っているのか分かる必要がある。	この指標は、アンケートにより市民が日常利用するエリアの道路について、安全で便利と感じている割合を示したものであり、どこの道路かを具体的に特定することは想定していません。なお、道路異状の通報連絡手段として、電話、メール、また、しもまちアプリを活用した通報システムなどがございますので、ご利用いただければと思います。引き続き、安全で安心して利用できる道路空間の提供に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
291	5章	117		維持管理は勿論であるが、補修・更新は現状復帰時には改良も含むことを検討実施してはどうでしょうか？	道路及び道路附属物については、予防保全の観点から老朽化等による施設の健全度を正確に把握し、補修、改良、更新など適宜、必要な対応を検討することとしています。	C【今後の参考・その他】
292	5章	119		<p>■(1) 河川環境の整備</p> <p>①河川環境の整備</p> <p>※「木屋川ダム再開発事業における……協議会に対し、業務支援を行うとともに、実施に向け関係機関との調整・連携を図ります。」では、市の取組の熱意が不十分である。</p> <p>※再開発する目的、意義、取組の熱意を明確にすべき。例えば下記を参考に記載すべきである。</p> <p><参考です></p> <p>※木屋川下流の洪水被害の軽減と下関市の水道水源等の安定化に寄与する「木屋川ダム再開発事業」で著しい影響を受ける豊田地域(三豊地区)の生活環境及び産業基盤等を整備するため、水源地域整備計画を国、県及び関係機関と連携し策定するとともに、整備計画事業の推進を図ります。</p>	本事業につきましては山口県が事業主体であり、現在付替え道路の検討を地元三豊地区自治会にお示ししているところです。ご意見の中にあります「水源地域整備計画」につきましては、山口県及び地元自治会を中心とした協議会と意見を交換しており、今後の事業の進捗を見ながら県と市で計画を策定していくものと考えておりますので、現段階での記載につきましてはご理解を頂ければと思います。	B【反映済み・原案のまま】
293	5章	120		浸水被害をなくす。特に再々浸水する家については早急に対応出来る体制。例え一軒家であっても	都市化の進展や近年の災害の激甚化・頻発化する中、浸水箇所において、河川氾濫の防止や浸水被害の軽減を図るため、河川や水路など整備に取り組んでおります。また、この整備には長期間を要することから、洪水ハザードマップなどソフト対策にも取り組んでおり、今後も効率的かつ効果的な浸水対策に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
294	5章	120		<p>■主な取組</p> <p>○三豊地区木屋川ダム嵩上げ対策協議会への支援<主旨不明></p> <p>※「木屋川ダム再開発事業にかかる水源地域整(豊田町三豊地区)の整備計画の推進を図る。」ではないか。</p>	本事業につきましては山口県が事業主体であり、現在付替え道路の検討を地元三豊地区自治会にお示ししているところです。ご意見の中にあります「水源地域整備計画」につきましては、山口県及び地元自治会を中心とした協議会と意見を交換しており、今後の事業の進捗を見ながら県と市で計画を策定していくものと考えておりますので、現段階での記載につきましてはご理解を頂ければと思います。	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
295	5章	121		<p>■(1) 公園の整備・保全・利活用</p> <p>①公園の整備 ※市内の公園の整備ばかりで、旧4町は都市に入らないと決めつけており全く記載がない。 ※これでは、さみしい。</p>	<p>旧4町地域には、リフレッシュパーク豊浦、豊洋運動公園、夢ヶ丘公園の3つの都市公園があります。現在、リフレッシュパーク豊浦の野外ステージの整備やトイレの更新、夢ヶ丘公園芝生広場の防球ネット改修などを計画しており、主な取組の「身近な街区公園等のリノベーション」において、旧4町の都市公園についても、利用者の利便性向上に努めてまいります。 計画に旧4町地域を含むことを明確にするため、原案を修正します。</p>	A【反映する】
296	5章	121		公園の整備についてトイレの洋式化を含めるべきではないか	<p>本市では、約8割の公園が供用開始後25年以上を経過しており、また、初期に設置された公園には50年を経過するものもあり、施設の老朽化が著しい状況にあります。主な取組の「身近な街区公園等のリノベーション」において、これらの公園施設を、計画的に更新することとしており、トイレにつきましても、洋式化することとしています。</p>	B【反映済み・原案のまま】
297	5章	121	○	<p>火の山公園において、公園整備後のブランディングをしっかりと意識していただきたいです。下関の観光地はどこも、ロゴやデザイン(リーフレット・HP、グッズ等)において十分といえるものが少ないと感じます(海響館ぐらいでしょうか。)アウトドア人気も加味し、アウトドアメーカーとコラボしたグッズ展開や、火の山ブランドが市民に馴染むものとなるような仕掛けが必要ではないでしょうか。PFI でカフェなどが参画したとしても、ロゴなどで世界観、統一感を醸し、市外の知名度もしっかりと伸ばしていけるような工夫を望みます。六甲山の事例(一体のデザインや、毎年実施されるアートイベントなどの取り組み)が参考になると思います。</p>	<p>火の山公園の再整備にあたり、令和5年12月にブランドコンセプトを定め、今年度、ロゴマーク等の制作及びブランドガイドラインの作成に着手しております。これにより、今後の民間事業者の参画やグッズの展開などにおいても、クオリティと統一感を担保し、火の山及び関門地域のブランド力向上に寄与することを期待しております。 先進事例をご紹介いただきありがとうございます。火の山が市民に根差したものとなり、かつ、市外へも訴求力のある、魅力ある場所となるよう、公園整備とブランディングを進めてまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
298	5章	122		<p>■(2) 都市緑化の推進</p> <p>①都市緑化の推進・保全 ※自然環境の保全の記載は若干あるが、主な取組には項目も上がっていない。何故か。</p>	<p>主な取組における「緑の基本計画」の中で、自然環境の保全を含んだ基本方針を掲げております。市街地の緑の保全や歴史を伝える緑の保全などの施策に取り組みすることとしております。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
299	5章	123	○	都市空間における行為許可件数の増加が目標に掲げてありますが、既存の「下関市公共空間活用ガイドライン」にある屋外公共空間、またそれらの場所以外を含む活用ガイドライン、活用事例集のようなものを今後作成いただきたいです。利活用促進と言っても、使えること自体が知られておらず、レギュレーションも非常にわかりにくいですし、使い勝手(貸出に関する問合せ、電源有無、照明の充実等)も決して良いとは言えません。	記載しております目標指標は、「都市公園における行為許可件数」でして、都市公園におきましては、キッチンカーや露店の出店、イベントの開催、商業撮影などが可能です。 現在、本市では、公園の賑わい創出に民間活力を取り込むため、指定管理者制度の導入や、Park-PFI導入の検討などに取り組んでいます。 なお、「下関市公共空間活用ガイドライン」は、中心市街地における主要な屋外公共空間の利活用促進を目的に、活用者の声、公共空間の概要、申請までの流れ等を体系化し、整理したものに なります。都市公園含め、ガイドラインに掲載していない屋外公共空間につきましても、活用のために必要な情報が一元化できるように、今後必要に応じて、ガイドラインの見直しを検討してまいります。	C【今後の参考・その他】
300	5章	130		「国際拠点港湾である下関港は、東アジアに近い地理的優位性を活かしたスピーディーかつ定時性の高い国際複合一貫輸送サービスを最大のセールスポイントとして、アジアとわが国の人・物の交流を支えるゲートウェイとして重要な役割を果たしています。」とありますが、次段においても記述がある通り、「アジアの玄関口」としての地位を固めている博多港にシェアを奪われているという現実を直視した上で、の差別化戦略が必要であると考えます。	ご指摘のとおり、博多港など近隣他港の状況を分析しつつ、他港との差別化を図りながら、下関港の強みであるスピーディーかつ定時性の高い国際複合一貫輸送サービスを活かしたセールスを展開していくことが重要であると考えております。 具体的には、即日通関・即日発送できるスピーディーなCIQ(税関・入管・検疫)体制と、様々な荷姿に対応した高品質な荷役体制など、他港にはないサービスをしっかりPRし、引き続き半導体製造装置など高付加価値の貨物や生鮮品等の急ぐ貨物などの集貨に重点的に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
301	5章	132		「鉄道貨物ターミナルを活用したシーアンドレールの推進」に関してはカーボンニュートラル社会の実現という目標実現の施策として大いに評価できるものであり、下関市には海運業者やJR貨物の間の仲介役として諸政策の立案・提案を強く希望します。	カーボンニュートラルレポートの形成推進のため、港湾における脱炭素化推進計画を作成し、シーアンドレールの推進等に努めます。 JR下関貨物駅を利用する際のインセンティブとなるモーダルシフト利用促進補助制度など、引き続きJR貨物駅と連携しながら、諸政策について検討を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
302	5章	132		近隣港湾として山口県の重要港湾との連携、役割分担等も検討してみればと考える。	下関港は、即日通関・即日発送できるスピーディーなCIQ(税関・入管・検疫)体制や、様々な荷姿に対応した高品質な荷役体制の確立に向けて、みなとの振興を図ってまいりました。一方で、山口県が管理する港湾は、瀬戸内海工業地帯の一翼を担う工業港として、古くから、背後に立地する臨海企業のニーズに応える形で港の整備を進めており、各港の特性や機能面での役割分担はできていると思われます。連携面に関しては、大規模災害発生時には、港湾相互の広域連携により、港湾機能継続に向けた体制づくりは必要と認識しております。	C【今後の参考・その他】
303	5章	134		「下関市立大学のデータサイエンス学部との連携を強化し、こども達や若者層を中心に、デジタル技術への興味・関心やデジタル社会への適応力を高め、将来、本市のデジタル関連産業の一翼を担う次世代人材となるよう、教育・育成を推進します。」とありますが、仮に人材を育成したとしても現状のままでは東京や福岡の大手・ベンチャーIT企業に流出していただけとなることは火を見るよりも明らかであると考えます。この状況を防ぐためにも、下関市内でのデジタル関連産業の企業の推進、そしてデジタル関連産業の企業誘致をセットで取り組む必要があると考えます。	市内でのデジタル関連産業の活性化、そしてデジタル関連産業の誘致をセットで取り組む必要があるとのご意見については大変重要であると考えており、関係部局と一体となり、しっかり取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
304	5章	134		スマートシティの推進が本当に地域のプラスになるのか。安易な発想ではないか。しもまちアプリのダウンロードは5万程度と聞いている。使い勝手が悪く、全然使っていない。	<p>少子高齢化による人口減少下において、市民が住みたい・住み続けたいまちの実現を図るためには、市民の生活に関わる様々な分野における施策を総動員して推進していくことが重要であると考えております。そのような中で、デジタル技術やデータを活用して地域課題を解決し、市民の利便性や生活の質の向上を図るスマートシティの取組も、その重要な要素の一つと捉えていることから、新たな取組として盛り込んだところです。</p> <p>「デジタル技術を活用した生活の利便性の向上を図るサービスづくり」と位置づけ、市民ニーズに沿った付加価値の高いサービスづくりに取り組んでまいりますが、ご指摘のしもまちアプリなど既に提供済みのサービスにつきましても、利用者がより使いやすく便利なサービスとなるよう、機能の充実等を図ってまいります。</p> <p>ご指摘の、しもまちアプリにつきましては、アクセス集中時の接続不良など、市民の皆様にご不便をおかけしている状況は認識しております。市民の皆様の声にしっかり耳を傾け、アプリを快適にご利用いただけるよう、サービスの拡充や見直し、機能向上に努めてまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
305	5章	134	○	スマートシティに関しては特にどの市町村でも注目されている分野の1つだと思うため、もう少しデータなどが一目で分かるような工夫が必要であると感じる。	<p>現在、行政データについては、オープンデータ化を進めておりますが、今後につきましても民間事業者のデータも含め、さらなるオープンデータ化の推進を図ってまいります。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
306	5章	134	○	スマートシティの推進について デジタル社会への適応力の向上に取り組む中で、高齢者等に対するサポート体制の強化を図るとありました。市の目指す形としては、デジタルデバイスを活用すると便利になるまちを通して、将来的にはデジタルデバイスの利用を前提としたまちづくりを行うことになるのでしょうか。	少子高齢化による人口減少下において、市民が住みたい・住み続けたいまちの実現を図るためには、市民の生活に関わる様々な分野における施策を総動員して推進していくことが重要であると考えております。そのような中で、デジタル技術やデータを活用して地域課題を解決し、市民の利便性や生活の質の向上を図るスマートシティの取組も、その重要な要素の一つと捉えていることから、新たな取組として盛り込んだところです。「デジタル技術を活用した生活の利便性の向上を図るサービスづくり」と位置づけ、市民ニーズに沿った付加価値の高いサービスづくりに取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】
307	5章	134	○	市の目指すスマートシティの形について 市はデジタルデバイスを使うと便利になるまちを目指しているのか、生活の中で自然にデジタルデバイスを用いることになるまちを目指しているのかという点を疑問に思いました。デジタルデバイスを用いることで生活が便利になる反面、それが発達しすぎると外から入ってきた人が下関で生活することに慣れるまでしばらくかかるようになるのではないかと考えました。	少子高齢化による人口減少が加速する中において、行政や民間事業者等が持つ、様々なデータやサービス、AI等を活用して、市民生活における様々な課題を解決していくデジタル化の動きは、今後ますます進展していくものと考えています。本市へ転入してくる方につきましては、速やかに順応できるよう、しっかりとサポートを行うとともに、国や他の自治体と連携し、できる限り多くの自治体で使用できる共通仕様のサービスの提供を目指してまいります。	C【今後の参考・その他】
308	5章	104-109		■第1節 市街地の整備、第2節 良好な景観の形成 ※下関市街地に必要と思われることで、下関市民として皆が必要であるとは思わない。	本市では市の全域を景観計画区域に指定し、下関景観計画による景観形成を推進しております。市街地だけでなく、美しい海岸や農山漁村等、地域特性に応じた景観誘導を図っております。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
309	5章	112-113	○	下関市では市民のバスの利用率が山口市等に比べて高く、一定数バスが必要不可欠な交通手段となっている市民がいると考える。一方でバスの利用料金が高いことが、バスの利用率を上げる目標の妨げになっているように感じる。	本市の公共交通は、利用者の減少が公共交通を担う事業者の収益低下を招いており、廃止や減便が進むことで利便性が低下し、さらに利用者の減少を招くという悪循環に陥っています。また、運転手不足が利便性低下に拍車をかけている状況です。運賃につきましては、全国的な人件費や物価高騰のなかでも、これまでなんとか据え置いてきた状況と、事業者より聞いております。 本市としては、都市機能の効率的な配置や集中と併せて、公共交通の合理化と利便性の向上が急務と考えており、交通事業者とともに、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。 頂いたご意見については、バス事業者へも共有いたします。	A【反映する】
310	5章	114-117	○	道路について 私は出身が下関ではないのですが、下関に通うようになり、道路の凹凸が気になります。自転車にのることも、自動車に乗ることもありますが、もう少し凹凸の少ない道路にしていきたいと思うことがよくあります。「タイヤがパンクしないか？」と不安になることが多いです。	市道等の不具合については、現地調査を行った上で、必要に応じて計画的に対応してまいります。	C【今後の参考・その他】
311	5章	121-123	○	個人的な意見ですが、公園にお店があると、お店に行くのが理由となり公園に行く気がします。そのような公園が増えるといいなと思っています。また、下関駅～唐戸区間はシェアチャリもあるとより移動がしやすい気がします。	本市では、民間事業者において、飲食店や売店などの店舗が公園に設置され、公園に新たな賑わい創出が図られるなど、公園利用者の利便性向上を目的に、現在、Park-PFIの導入を検討しております。 また、自転車につきましては、現在、下関駅で借りて唐戸・旧英国領事館で返却する、レンタサイクル乗り捨ての民間サービスがございますので、ぜひご利用ください。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
312	5章			<p>「まちの誇りと自然の恵みを未来へ」とのキャッチフレーズを掲げ、輝く海峡都市を基本理念とするのなら、まず外観からと思うのであります。</p> <p>国道、県道、市町道は、山口県内の先人の代表等の骨折りに手美しく、整備されていると私は思うのであります。</p> <p>しかし、最近の道路沿い事情を見分するに、住人不在の民家をはじめ、古い空き家が目立つようになり、また、その周囲も雑木や雑草が生え、風化されているのが散見されます。</p> <p>言うまでもなく、少子高齢化の果て、農水産の継承も少なくなった事によるものです。</p> <p>ある地域では、農業の継承もなく、東京方面で稼働の子どもたちも退職しても、まったく変えることなく、市役所に行き、家も田んぼも「どうにかして欲しい」旨の相談も増加していることも聞いています。</p> <p>このような事態はこれからますます増加傾向にあることから懸念されます。</p> <p>そこで現在の空き家が各地にて散見されますが、まちづくりの将来を掲げるためにも、道沿いの空き家につき持ち主と協議の上、早急に撤去し、台風の激風により走行中の車両等に与える被害防止、また美化運動にも繋がることと思います。この件もどうぞご検討くださいますようお願いしたいと思います。</p>	<p>空き家対策につきましては、「空家等対策の推進に関する特別措置法」の施行に伴い策定した「下関市空家等対策計画」に基づき、空き家の発生防止から活用、解体、更新に至るまで、空き家の状況に応じた様々な支援策を実施しているところであり、ご意見を踏まえて取り組んで参ります。</p>	C【今後の参考・その他】
313	5章		○	<p>街灯が少ないので暗くて夜道を歩くのが不安って人が多いと思うので街灯がもう少しあった方が私たちも安心して歩けると思うので考えてもらえたらありがたいです。</p>	<p>道路管理者が設置する「道路照明」につきましては、交通量の多い交差点部や横断歩道など特に交通安全上必要な箇所に設置することとしております。今後も道路の利用状況などを鑑み、歩行者等の交通の安全かつ円滑な移動に資するよう努めてまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
314	5章		○	<p>ライフルホーム・シンクタンクの「遊びからの地方創生」をよく読んでほしい。その共通認識がない限り議論が空中分解して失敗する。</p>	<p>本市で実施した若者向けアンケートにおいても、にぎわい・レジャーなどを求める声が多くございました。ご意見いただいた、地方創生の推進にあたり「遊び」の重要性については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
315	5章		○	<p>①公共交通機関を充実して自家用車不要の街を実現してほしい。そうすることで高齢者の交通事故防止、家計の可処分所得の増加、環境負荷の低減につながる。</p> <p>②御船手海岸などで本当に必要なものか疑われるような護岸工事・堤防建設が進んでいます。あれは地域の合意を経ているのでしょうか。</p> <p>③「デジタル関連産業の集積による仕事づくり 官民で構成するスマートシティ推進協議会と下関市立大学のデータサイエンス学部が連携し、市民が利用する様々なサービスから得られたデータを市民の許諾のもと、分析し、新たな政策の展開やサービスの開発につなげます。」 これは実現可能でしょうか？下関市立大学のブランド・教育力不足が露呈する中で、本当に能力の高い学生を集めることができていない。中期募集などで倍率を水増ししても、実質倍率は…データサイエンス学部とは言っても、所詮は中流の大学生です。教育機会の提供という意味で実践するのであればよいと思いますが、こうした議論や取り組みの中で政策・サービス開発を目的として行うのは不適切です。実績作りにはなるかもしれませんが、実際に役に立つものができる可能性は高くない。特に「政策への展開」の部分は削除する方向で検討してほしい。</p>	<p>①本市の公共交通は、利用者の減少が公共交通を担う事業者の収益低下を招いており、廃止や減便が進むことで利便性が低下し、さらに利用者の減少を招くという悪循環に陥っています。また、運転手不足が利便性低下に拍車をかけている状況です。 本市としては、都市機能の効率的な配置や集中と併せて、公共交通の合理化と利便性の向上が急務と考えており、交通事業者とともに、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。</p> <p>②平成11年台風第18号により、下関港の沿岸部が高潮被害を受けたことから、海岸保全施設の整備促進を図ることを目的として、下関港海岸整備促進協議会が発足され、平成20年度から国土交通省において、海岸整備事業が開始されました。 御船手海岸については、海岸保全区域に指定しておらず、護岸工事・堤防建設は行っていませんが、御船手海岸から宮崎船溜まりにかけて、護岸工事・堤防建設を行っています。当該工事に現地着手する際には、地元説明会を開催していることから、地域の合意を得ているものと認識しています。</p> <p>③行政や民間事業者等が持つ、健康・福祉・医療・交通・物流・防災・エネルギー・観光・金融など、様々な分野のサービスや調査等を通じて得られたデータを、市民の許諾のもと、分析することによって、諸課題の解決に向けた新たな施策の展開やサービスの開発につなげていくEBPM(証拠に基づく政策立案)を推進し、経験や直感のみに頼るのではなく、データや合理的根拠をもとに政策の立案を図ってまいります。 また、令和6年4月に開設された下関市立大学データサイエンス学部において、今後、得られたデータ等を有能な教授などスタッフのもと、学生の人材育成をはかりながら分析し、その結果を市にフィードバックの上、政策の立案やサービス開発に活用してまいりたいと考えております。</p>	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
316	5章		○	①街灯を増やし、夜でも安全に通行できるようにしてほしい。 ②ほとんどの公共交通機関でICカードを使用して市外に行けるようにしてほしい。	①道路管理者が設置する「道路照明」につきましては、交通量の多い交差点部や横断歩道など特に交通安全上必要な箇所に設置することとしております。今後も道路の利用状況などを鑑み、歩行者等の交通の安全かつ円滑な移動に資するよう努めてまいります。 ②交通系ICカードについては、市内の路線バスを担うサンデン交通において、令和3年3月より利用可能となり、JR西日本においては、令和5年4月より、山陽本線の下関駅から徳山駅間に利用可能範囲が拡大しています。 一方で、山陰本線ではICカードシステムが導入されていないことや、下関と北九州(ICOCA・SUGOCAエリアの双方)へまたがる場合は、定期券を除き、利用ができない状況であることから、これらについては、JR西日本に対し、改善要望を継続してまいります。	A【反映する】
317	5章		○	街灯がない通りや雑草で半分くらい埋まってしまっている歩道をよく目にするので、もし範囲内であれば対応してもらえるとより住みやすくなると思います。	道路管理者が設置する「道路照明」につきましては、交通量の多い交差点部や横断歩道など特に交通安全上必要な箇所に設置することとしております。今後も道路の利用状況などを鑑み、歩行者等の交通の安全かつ円滑な移動に資するよう努めてまいります。 また、道路上の繁茂により、通行の支障となっている場合は、道路河川管理課へお問合せください。現地確認の上、必要な対応を行ってまいります。	C【今後の参考・その他】
318	5章		○	坂が多い。自転車で移動することすらむずかしい。駅が遠い。幡生一 下関、新下関のあいだにもう1つあってもいいのでは？	新駅の整備につきましては、建設費の全て、または大半を地元自治体等の要望者が負担する請願駅となります。 また、駅舎やホーム、跨線橋などの駅施設や、駅前広場やアクセス道路などの建設経費、そして将来にわたる駅の維持管理費や運営経費など、地元自治体の負担についても考慮する必要があると考えております。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
319	5章			子供が遊べる公園はあるが、木陰や屋根付きベンチ等の日除けが少ない。 屋内でも遊べる施設があるとよい。 アスレチックなど子供だけではなく大人も一緒に遊べると体力向上につながる。	木陰や屋根付きベンチ等の日除けは、公園利用にとって重要なものと認識しております。各公園の利用状況を勘察し、老朽化対策と並行し、適正配置に努めてまいります。 また、火の山公園整備において、自然と景観を活かしたアスレチックを整備する計画としておりますので、大人も子どもと一緒に楽しめる公園となるものと考えています。	C【今後の参考・その他】
320	5章			公共交通機関の便が急激に減り、不便を感じるとともに、バス・タクシー運転手の質の低下が懸念される。バスやタクシーに乗ると不快な思いをすることが多く、これは観光客を取り込みたい下関市にとって、大きなデメリットとなる可能性が高いように思う。少なくともリピーターにはつながらないのではないかと。市と公共交通機関を経営する企業が連携を強くする必要はないかと思う。	本市の公共交通は、利用者の減少が公共交通を担う事業者の収益低下を招いており、廃止や減便が進むことで利便性が低下し、さらに利用者の減少を招くという悪循環に陥っています。また、運転手不足が利便性低下に拍車をかけている状況です。 本市としては、都市機能の効率的な配置や集中と併せて、公共交通の合理化と利便性の向上が急務と考えており、交通事業者とともに、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。 なお、市と関係機関の連携については、本市では、バス・タクシー事業者や有識者(大学教授)、行政関係機関、連合会長等からなる「地域公共交通協議会」を設置しております。協議会では、市民生活に必要なバス等の旅客運送の確保し、利用者の利便が増進するための施策や地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項などを協議しております。 頂いたご意見については、公共交通協議会へも共有いたします。	A【反映する】
321	5章			「筋川歩道橋」が老朽化により朽ちています。基盤がどんどん浸食されていて、とても危険な状態のように思いますが、何か対策や点検はされているのでしょうか。	ご指摘の歩道橋は国土交通省の管理となりますので、ご意見をお伝えいたします。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
322	5章			<p>現状のデメリット 公園など子供を連れて遊びに行くべき場所に野良犬がいると、安心して利用できない状況が発生しています。住民の安全が脅かされ、特に小さな子供を持つ家庭にとって不安要素が大きいです。</p> <p>改善後のメリット 野良犬の減少により、住民にとって安全で安心な環境が整い、家族が安心して公共施設を利用できる街が形成されます。これにより、下関市全体の住環境が向上し、住民満足度も向上するでしょう。</p>	<p>本市におきましては、野良犬の出現の御連絡をいただいた場合、直ちに捕獲の対応を行っており、第7章第2節(2)①に「野犬の捕獲」について記載しております。公園等に野良犬がいる場合は、具体的な場所等を動物愛護管理センターに御連絡いただければ、直ちに捕獲に向けての対応をいたします。</p>	C【今後の参考・その他】
323	5章		○	<p>近くに住宅地がある公園を綺麗に整備してほしいです。草が生えて、遊具も古い公園が多く、もったいなく感じます。子どもたちが元気に、安心して遊べる公園を、インクルーシブ公園一箇所だけではなく、それぞれの地域に整備してもらいたいです。その方が、今ある資源を活かして、より多くの子どもたちが育つ場所を提供出来ると思います。</p> <p>特に、ブリヂストンのタイヤを飾ってある、下関市運動公園は、近くに子育て世代が住んでいるのにも関わらず、ほとんどの遊具が使用禁止になっていて、残念に感じます。至急、整備をして頂きと思います。</p>	<p>令和5年度より、こどもの公園事業として、街中の比較的小さな街区公園にも、幼児も楽しむことができるよう、簡易的な駐車場とあわせインクルーシブ遊具の設置に取り組んでいます。令和5年度は、彦島の仮屋ヶ迫公園、令和6年度は、小月公園、石原有富公園で、インクルーシブ遊具の設置や駐車場の整備などを行います。今後は、これらの公園の利用状況や効果を検証し、市民に身近な街区公園の整備のあり方を引き続き検討してまいります。</p> <p>下関運動公園をはじめとした公園にある遊具の老朽化対策は喫緊の課題と認識しております。公園利用状況と遊具の老朽化状況を考慮の上、計画的な遊具の更新を図るなど、今後も老朽化対策に取り組んでまいります。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
324	5章			<p>第8節 公園・緑地の整備(2)都市緑化の推進、保全（都市緑化の推進、保全）</p> <p>都市の章で国立公園等自然公園に関する記述は土地利用基本計画の観点から違和感がある。自然公園に関することは第6章第1節にそのまま記述すべきである。都市公園と自然公園は同じ「公園」の名称を用いているが、それぞれ「公園」の性質・成り立ち・根拠法等が異なるものであり、中核市がこの違いを理解できていないことは恥ずかしいのでは？</p> <p>※都市公園⇒営造物公園、ニューヨークのセントラルパークやロンドンのハイドパークなどを参考としているもの 国立公園(自然公園)⇒地域制緑地、アメリカのイエローストーンやヨセミテなどのナショナルパークを参考としているもの</p>	<p>ご指摘のとおり、自然公園は、優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的として、自然公園法に基づき指定された公園であり、都市公園法で規定する公園とは性格が異なります。</p> <p>一方で、主な取組の「緑の基本計画」では、自然環境の保全を含んだ基本方針を掲げており、都市部だけでなく、その周辺に存在する緑地等を保全することも計画策定の目的としていることから、第5章8節に掲載することといたしました。どうかご理解いただければ幸いです。</p>	B【反映済み・原案のまま】
325	5章			<p>(1)公営住宅等の整備（公営住宅等の整備）</p> <p>公共施設等総合管理計画によると、中核市の中で突出している市民一人当たりの公共施設面積を市営住宅が押し上げている。住宅供給は民間でも可能であるため大胆に集約もしくは廃止すべきと思う。特に下関駅周辺の老朽化した市営住宅は、市が建替え集約するのではなく、廃止したうえで、高額所得者を対象としたマンションを建設する意向のある業者へ用地を払い下げる、若しくは無償で貸与してはどうか。高層高級マンションが建設されれば都市のイメージが向上し、その居住人口が増加すれば、駅周辺商業施設の売上げ増につながるなどの経済効果が期待できるのでは。中心市街地の活性化に寄与するような大胆な政策転換をすべきと思う。</p>	<p>公営住宅の整備につきましては、「下関市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化が進んだ住宅の用途廃止や集約建替を計画的に進め、適切な管理戸数となるよう計画しております。</p> <p>なお、下関駅周辺の集約建替に伴い生じた市営住宅の跡地利用につきましては、地域の活性化や賑わいの創出を目的にした、民間主導による土地利用への誘導を進めてまいりたいと考えております。</p>	C【今後の参考・その他】
326	6章	138	○	<p>大気・水質に対する環境基準達成率の目標指数が記載されているが、R11年・16年共に100%というのは、実現可能性があるのか。</p>	<p>大気汚染につきましては、市内での大気汚染物質の排出のほか、地球規模での大気循環による物質の移流、複雑な大気汚染の発生機構などが関連し、現時点では効果的な対応策はなく、達成の見通しは厳しいものと考えておりますが、環境基準達成の向上に努めてまいります。</p>	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
327	6章	139		「環境に配慮した消費行動の推進」の主な取組として「・公共交通や自転車の利用など環境にやさしい移動手段への転換」とありますが、空き家を買取りその土地を市営駐輪場あるいはシェアサイクルの拠点にすることがその一つの手段として可能性があるのではないかと考えます。	今後、実施計画等におきまして具体的な手法等を検討する上でのご貴重なご意見とさせていただきます。	C【今後の参考・その他】
328	6章	139		CO2を吸収するためのグリーンインフラやブルーカーボンについても述べることも検討されたい。	今後、実施計画等におきまして具体的な手法等を検討する上でのご貴重なご意見とさせていただきます。	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
329	6章	139		<p>エネルギーと自然との調和 ①再生可能エネルギーの活用 「主な取組」に洋上風力の推進を追加してもらいたい。漁業関係者として、豊浦沖洋上風力発電事業との共存、漁業活性化を現在、検討しています。</p> <p>漁業として、この事業による漁業活動への影響は建設作業時に限定される。それ以外の場合は漁業活動への弊害は少ないと思われる。風車建設による、海底構築物の広範囲な漁礁利用が予測され漁獲増の可能性も考えられる。また事業に並行して同海域の種々の漁業活性化活動にも、事業者の各種協力を得られると考える。</p> <p>また、洋上風力発電は、事業規模が大きく、地元への税収等の経済効果も大きい。付随するメンテナンス作業やその他関連施設などでの多数の新規雇用の発生、更に技術者の養成、その他の経済波及効果等で若い世代を地元への引き留める効果も期待できることから、過疎化対策としても一定の効果が期待できる。また観光事業の活性化としても一定の効果が見込まれる。</p> <p>太陽光発電、陸上風力発電のような自然破壊もなく、洋上風力発電の場合は発電規模も大きく、再生エネルギー事業創出も期待できる。下関市は脱炭素の先行的な取り組みを行う国の「脱炭素先行地域」に9月27日付で選定されました。「あるかぼーと唐戸エリア」が対象となっていますが、先日開催された豊浦町での説明会において、将来的にはエリアの拡大も検討しているとの解答がありました。</p> <p>下関市は「ゼロカーボンシティしものせき」を宣言し、令和32年(2050年)までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標を掲げています。今回の国からの選定地域については「電力供給源として、豊浦町や豊田町などに太陽光発電設備を関門海峡に潮流発電設備を新設する」と発表されています。2030年以降の計画において、豊浦沖洋上風力発電事業も検討してもらいたい。</p>	<p>再生可能エネルギー発電の推進には、地域住民の理解が必要であると考えています。</p> <p>ご提案の趣旨につきましては、第6章第2節(2)①「再生可能エネルギーの活用」の記載に包含されるものと認識しており、貴重なご意見とさせていただきます。</p>	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
330	6章	139	○	自分は今日まで、下関がゼロカーボンシティになっていることを知らなかったの、それを多くの人に知ってもらう活動はとても良いと思う。	ゼロカーボンシティを多くの人に知ってもらう取組の一つとして、令和6年度にシンボルマーク(ゼロたんチャレンジ)を作成いたしました。 今後もシンボルマークを旗印として、2050年脱炭素社会の実現に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
331	6章	139		再生可能エネルギーで可能性があるものは下記があります。 ①栗野川、川棚川、木屋川、田部川の河川沿いで小水力発電。(災害時の大規模停電時でも、地域に電力供給が可能にすればよりベター) ②市北部の山林の間伐材の活用したバイオマス発電(小野田で竹を利用したケース有)	ご提案の趣旨につきましては、第6章第2節(2)①「再生可能エネルギーの活用」の記載に包含のされるものと認識しており、今後、実施計画等におきまして貴重なご意見とさせていただきます。	C【今後の参考・その他】
332	6章	140		■(2) 生産環境と自然との調和 ②エネルギーの地産地消の推進 ※主な取組にある3項目は、どのようなことか。	本市は令和6年9月に国の脱炭素先行地域に選定され、その計画の実施及び2050年脱炭素社会の実現に向けた施策として必要な事項となります。	C【今後の参考・その他】
333	6章	140	○	熱中症対策とは具体的に何か。未然に防ぐための呼びかけか、アラートの強化か対策の仕方のレクチャーなのかなどの具体例がほしい。	一例ではありますが、クーリングシeltersの指定や周知などに努めてまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
334	6章	141		<p>①ゴミの分別の仕方が本当に現実的なのかが疑問。缶とビンが一緒？ ビニールって、一緒に燃やしても大丈夫な炉を作る方が、分別に迷って捨てられない高齢者には役に立つのでは？そもそもきちんとリサイクルできているのか？また、ゴミ処理を担当しているのは低賃金で働いている障害のある方々ではないのか？宇部や北九州のように、リサイクルセンターで紙や缶が出せるようにした方がよいのでは？また、不用品の引き受けも、環境未来館まで行かないとできないなら、旧郡部にとっては、ないのと同じ。他の市町が行っていることを調べて、実効性のある施策を打ち出してほしい。</p> <p>②環境を考えるのであれば、豊浦沖の風力発電については、ぜひやめてほしい。観光資源としての価値も大いに下がってしまう。</p>	<p>①缶とびんは、機械で分別可能であることから、同じ袋で回収しております。また、プラマークのあるビニールについては、プラスチック製容器包装として収集することにより、パレットや建築用資材などにリサイクルされています。なお、施設搬入時の分別状況は仕分作業には支障あるものではありません。ごみ処理作業の一部に障がいのある方も従事していただいております。現在、リサイクルプラザでは、ご指摘のとおり紙や缶の受入れをしていません、また、環境みらい館のみでの不用品の受入れでご不便をおかけしております。今回のご意見を参考にさせていただき、下関市のリサイクルが推進していくよう努めて参ります。</p> <p>②風力発電を含む再生可能エネルギー発電の推進には地域住民の理解が必要であると考えています。ご提案の趣旨につきましては、第6章第2節(2)①「再生可能エネルギーの活用」の記載に包含のされるものと認識しており、貴重なご意見とさせていただきます。</p>	C【今後の参考・その他】
335	6章	141	○	「リサイクル」に関する内容が少ないように感じる。3Rの充実が循環型社会の核となるだろう。	リサイクルの推進を図るため循環型社会の進展を目指しており、取組内容を含めた詳細につきましては、個別計画である「一般廃棄物処理基本計画」で定めています。	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
336	6章	142	○	プラスチックごみの削減やリサイクル率の向上についての項目があると良い。	リサイクルの推進を図るため循環型社会の進展を目指しており、取組内容を含めた詳細につきましては、個別計画である「一般廃棄物処理基本計画」で定めています。	B【反映済み・原案のまま】
337	6章	139-140	○	脱炭素先行地域に選ばれたということで、国からのお金をどんなことに使っていくのか知りたい。	あるかぼーと・唐戸エリアを中心として、民生部門(家庭や事務所)の電力消費に伴う二酸化炭素排出実質ゼロ達成を実現するために活用いたします。 再エネ設備の導入に加え、再エネ利用最大化のための基盤インフラ設備(蓄電池等)や省CO2等設備の導入、これらと一体となってその効果を高めるために効果促進事業を実施する予定としています。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
338	6章	139-140		<p>第6章 第2節 自然と調和した脱炭素社会の構築<現状と課題> 令和32年(2050)までに「ゼロカーボンシティしものせき」を宣言。令和12年(2030)までに、平成25年(2013)比で、46%削減を目標。この46%という数値は電力量に換算してどの程度なのか。</p> <p>また、太陽光発電、陸上・洋上風力発電、バイオマス発電等の比率を勘案して、それぞれ何kwの規模に相当するのか教示願いたい。また可能な範囲で本文中に記載してもらいたい。</p> <p>さらに、「地域脱炭素は、地域の成長戦略であり、市民・事業者・行政など関係者が主役となって～」と記されているが、特に、行政の役割を明記してもらいたい。更に、 *エネルギーの地産地消を図ることは、地域の環境保全と経済活性化の同時達成の鍵となります</p> <p>*地域で消費するエネルギーを太陽光、風力など、再生可能エネルギーの最大限の活用を進めていきます *地域と共生した再生可能エネルギー発電の推進 *②エネルギーの地産地消の推進 *主な取り組み ・地域新電力事業の促進 ・再生可能エネルギーの地産地消 ・脱炭素の取り組みを通じた地域経済の活性化</p> <p>以上は、P139～140に記載された文言であるが、これらは、平成30年に制定された「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に関わる海域の利用の促進に関する法律(再エネ海域利用法)」に基づき、既に、全国で展開されつつある大規模な洋上風力発電事業を、下関市域の海域で事業化を検討し、実施する中で、実現が可能な課題であるように思う。</p> <p>またこの事業化には地域及び事業者の連携が重要であることは言うまでもないが、まずは、「再エネ海域利用法」の趣旨、組み立てからすれば、下関市及び山口県の行政の役割が最も重要である。</p> <p>既に事業者が提案しているような、30万～40万kwの洋上風力発電であれば、その発電量は25万人の市民生活、及び、市内の企業の消費電力を賄うことができ、正に、エネルギーの地産地消を図ることは、地域の環境保全と経済活性化の同時達成の鍵となります。という言葉通りの役割を果たすことを期待できるように思う。</p> <p>再生可能エネルギーの最大限の活用による脱炭素と、その整備事業及び運用事業による経済効果は、未だ、本市では無かった規模を期待できるのではないのでしょうか。</p> <p>更に、主要な地域産業である漁業、観光業にも波及することが期待できる。いうまでもなく、整備事業・日々の運用を担う建設業等の雇用の機会の拡大も期待できる</p> <p>ご承知のように、「再エネ海域利用法」では、経産大臣、国交大臣による促進区域の指定の後、事業の公募があり、そこからのアセス、整備建設事業の後、運転開始に至るが、その区域指定は段階があり、まず最初に◆一定の準備段階に進んでいる区域に指定され、次に◆有望な区域指定となり、次に促進区域という段階を踏むようになっているため、かなりの時間を要することと、各段階は当該等自治体及び県の役割が大きく、経産省及び国交省への協議・申請は行政の役割になっている。</p> <p>以上の事を踏まえ、第6章環境 第2節自然と調和した脱炭素社会の構築の項に、今後の10年間、さらに2050年までを見通した、脱炭素社会の構築と経済活性化の課題を担う「再エネ海域利用法」に基く、大規模な洋上風力発電の整備について、何らかの記述をすることを要望する。</p>	<p>中間目標として令和12年度までに温室効果ガス排出量を平成25年度比で、46%削減することを目指していますが、その取組は再生可能エネルギー発電の普及促進のほか、省エネ、廃棄物の削減などもあり、必ずしも電力量へ換算されるものではないと認識しております。</p> <p>また、再生可能エネルギー発電の推進には地域住民の理解が必要であると考えています。</p> <p>ご提案の趣旨につきましては、第6章第2節(2)①「再生可能エネルギーの活用」の記載に包含されるものと認識しており、実施計画等におきまして貴重なご意見とさせていただきます。</p>	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
339	6章		○	<p>①たばこの違反などの罰金を1万円以上にしてほしい。また、交通違反なども含め、監視カメラ・スマホなどで通報して後日罰金が請求できるようにしてほしい。シンガポールくらい綺麗な街にしましょう。</p> <p>②「地域循環型経済の推進」は是非とも進めてほしい。これが一番効果ある。これを最初に持ってくるべき。クレジットカード利用廃止、極力不必要なデジタル化、フランチャイズビジネスを避けることで、地域で循環するお金の量が増える。すべての決済に手数料・デジタル出費が伴うようになると、その分のコストが下関市から流出する。その金額は試算できるはずです。</p> <p>③太陽光発電のために山林を開拓するのはやめてほしい。金目当てで参入して維持管理もろくにしない業者を締め出すための仕組みを作してほしい。</p> <p>④バイオマス発電が完成しましたが、燃料を輸入するという時点で全然エコではない。単なるグリーンウォッシュである。総合計画に入れる以上、これも形骸化することなく市内・県内・国内の林業を含めた活用を十分に検討してほしい。</p>	<p>①ご提案の趣旨につきましては、貴重なご意見とさせていただきます。</p> <p>②「地域循環型経済の推進」については、本市の農林水産物や鉱工業製品、生産技術、観光資源等の地域資源を活用した商品の売上を伸ばしていくことで、地域内の仕入れを促進し、製造事業者のみならず地域資源の生産者にまで利益を還元して、地域経済に良い循環を作ってまいります。</p> <p>③本市として地域と共生した再生可能エネルギー発電を進めていく上で、発電事業者は、地元の理解を得ながら事業を進めていくべきだと考えております。ご提案の趣旨につきましては、取組の方向(2)エネルギーと自然との調和①再生可能エネルギーの活用の記載に包含のされるものと認識しており、実施計画におきましては貴重なご意見とさせていただきます。</p> <p>④今後の具体的な取組の参考とさせていただきます。</p>	C【今後の参考・その他】
340	6章			<p>飲食店が設置しているグリストラップの清掃を厳しくするべきである。 設置だけして掃除している店舗が少なすぎるため、アブラなどの汚水が下水に流され生活環境にも悪影響を与えている。 毎月とは言わないが定期的に見回りをしてもらい、掃除するよう促すか、それ専門の雇用を創出するのが良いと思う。</p>	<p>公共水域に排出される汚水につきましては、水質汚濁防止法等に基づき適切に管理するよう指導してまいります。 また、事業活動に伴う悪臭などにつきましては適宜指導してまいります。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
341	7章	23		相次ぐ大規模な自然災害により、安全・安心への関心が高まっており、これらの備えを充実・強化することが急務とあるが、豊浦町の防災訓練をみている、ダンボールベッドの一部組み立てを1人の人だけさせるなど、(体験させるなら参加者全員)あまり意味がない。豊浦町は5地区(川棚、室津、宇賀、黒井、小串)あるが、毎年1ヶ所の地区でしか防災訓練しておらず5年に1回しか防災訓練していないのは防災意識向上につながらない。せめて各地区ごとに1年に1回は防災訓練をするようにしてほしい。総合支所職員の防災意識を高めるために宇部市など視察に行き勉強してほしいと思う。	豊浦総合支所が実施しております防災救急訓練につきましては、各地域住民の皆様が中心となり自主的に防災訓練等を実施していただくための動機作りを目的の1つとしております。職員の研修につきましても、防災危機管理課や防災士会等と協議しながら防災意識の向上に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
342	7章	135		自治会を市行政の下請け団体として利用することは厳につつむべきである。	自治会は地域の任意団体であり、行政の下請け団体とは考えておりませんが、行政の事業の周知や、各種委員等の人選等、ご協力をお願いすることは多いと認識しておりますので、負担の軽減に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
343	7章	143	○	近年話題の南海トラフに関する項目があってもいいのではないかと感じた	南海トラフ地震に対する防災対策につきましては、個別計画である「下関市地域防災計画」に詳しく掲載しております。	B【反映済み・原案のまま】
344	7章	144		「現状と課題」に関して、「本市では古い建築物が数多く存在するため、一旦大きな災害に見舞われると建築物の倒壊等による被害が懸念されます。」とありますが、特に旧市内においては木造建築が密集しているため、地震など大規模災害により火災が発生した場合、火災旋風などにより多数の犠牲者が発生することを懸念しています。空き家対策と同時並行で、区画整理や再開発などの対策が必要であると考えます。 「地域は自分達の手で守るという意識」とありますが、今の市民に最も欠落している意識がこの「当事者意識」であると考えます。その意識の涵養を行政が積極的に行うことが必要であると考えます。	ご指摘の通り、本市においても空き家の密集した既成市街地における、区画整理や再開発などの事業は、まちを再生する手法として効果的であると考えております。 一方、本市中心市街地は、戦後より発展してきた経緯から、権利関係等も複雑になっており、事業遂行には市外在住者も含め非常に多くの方々の協議・調整が必要となります。また、まちの再生には、地元住民の意見を踏まえたまちの将来像を描くことが重要であり、ワークショップ等を通じてしっかり話し合い、共有していくことで、機運を醸成しながら事業を進めていく必要もあると考えております。 以上のことから、区画整理事業や再開発事業には、多くの時間を要することも想定されますが、いただいたご意見を参考にしながら引き続き丁寧な地元対応のもと事業進捗を図って参ります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
345	7章	144		<p>P144(1)①消防・防災体制の強化とあります。 (本アンケート 第3部第2章 交流・にぎわいにおいて、関連意見を述べています。)</p> <p>長府外浦町の串崎城跡に観光資源として串崎城を再建する。その串崎城に、防災拠点として津波等の災害時における、長府東侍町、宮崎町、外浦町、そして豊浦高校生徒職員の避難所(生徒は、高齢者の避難に手を貸してくれることでしょうか)及び消防署の火の見やぐらとしての機能を併せ持たせることを提案します。</p> <p>また、岬之町にある下関市消防局は、標高の低いところに建てられています。南海トラフ地震などが発生した際、津波の被害を受けないとは限りません。</p> <p>よって、再建する串崎城に、消防局の代替機能を持たせ、避難所・火の見やぐらとしての役割も持たせることによって「消防・防災体制の強化」を図るようにしてはいかがでしょうか。</p> <p>副次的な効果として、他に類を見ない城になるため、マスコミに取り上げられ、下関のPRになる可能性があると考えます。</p>	<p>まず、串崎城跡がある関見台公園につきましては、既に緊急避難場所に指定しており、津波等の災害時には、緊急的な避難が可能となっております。なお、台風等の災害時には、長府公民館や長府小学校等の指定避難所を災害の種類に応じて順次開設いたしますので、それらの避難所をご活用いただきたいと考えております。</p> <p>また、岬之町の消防局庁舎は海拔2.7メートルの敷地に、さらに0.5メートルかさ上げして建築しておりGL(地面の高さ)は3.2メートルです。予想される高潮は2.4メートルであり、安全を保っています。非常事態となれば高さ1.1メートルの防潮板が庁舎周囲に張り巡らせる安全設計となっております。</p> <p>なお、南海トラフ地震が発生した場合、本市でも相当の被害が想定されており、全ての車両は災害に出動します。さらに、下関港(岬之町)では津波到達時間は地震発生後の4時間11分後となっており、全ての消防車両は市内全域の災害対応や市民の避難誘導に出動するものと思料します。消防の要である119番を受報する指令センターは消防局3階に配置し、床は免震構造であるとともに非常用発電設備により停電時でも機能を維持しますので、代替機能は不要と考えます。</p> <p>火の見やぐらの機能につきましては、現在、霊鷲山(標高290メートル)の頂上に高所カメラを設置しており、今後、海峡ゆめタワー(高さ153メートル)にも高所カメラを追加設置し、市内の監視を強化する計画としています。</p>	C【今後の参考・その他】
346	7章	145	○	一人暮らしして、災害についての不安があります。交通手段が公共交通機関のみなので、遠くへは行けないし、ホームページでも一番近くの避難所の探し方が分かりませんでした。	災害に関する出前講座等を通じて、災害への備えや心構えについて周知を図ってまいります。また、ホームページにつきましても、どなたでも分かりやすく活用できるように工夫してまいります。	C【今後の参考・その他】
347	7章	145		防災担当の職員は、エキスパートである必要があるので、きちんと固定してほしい。(総合支所も同様)。防災資機材や備蓄品は増やしてほしいし、市民の意識を高めてほしい。	担当職員は、山口県主催の研修等の各種機会を通じて、防災に関する見識を深めております。また、備蓄品については、計画的に配備しており、加えて、防災資機材の交付事業等を通じて市民の防災意識の啓発にも努めております。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
348	7章	146	○	防犯カメラを街灯がつけられない所につけてほしい。	防犯カメラの設置は、防犯のために一定の効果を見込むことができる有効な手段であると認識しており、ご意見は今後の参考とさせていただきます。	C【今後の参考・その他】
349	7章	146		防犯対策として、特に性暴力を防ぐための手立てをとってほしい。担当者がころころ替わっては、相談体制もできない。	市民相談所内に女性相談支援員を配置するなど、各種相談に対応できるように努めております。また、一般市民や学生を対象に男女間の暴力防止など、性別に起因する暴力を防止するための講座や啓発を行ってまいります。	C【今後の参考・その他】
350	7章	149	○	2節、公衆衛生の充実(2)動物愛護及び管理の推進 下関市動物愛護管理センターにおける特殊機械設備等の適切な維持管理に努めます。 ↑利用するつもりでいるのに殺処分頭数の目標値がR11年、R16年0頭である。 ⇒変更をもとめます 下関市動物愛護管理センターにおける特殊機械設備等の未使用に努めます(を実現します) ※広島県「殺処分0宣言」 全国ワーストだった広島県の施設が2016年に殺処分ゼロを実現したのは強い意思表示があったから。原案のようなぬるい表記では殺処分0は達成できないと思う。	特殊機械設備等とは、殺処分に係る機械設備のみをいうものではなく、また使用・未使用に関わらず、定期的にメンテナンスを実施する必要があることから、適切な維持管理に努めることといたしております。	B【反映済み・原案のまま】
351	7章	149	○	犬猫の譲渡からお知らせを聞いたことがないためもっと多くの人に譲渡会の開催を知らせるべきだと思う。例(学校にチラシを配るなど)	犬猫の譲渡につきましては、本市のホームページや市報等でお知らせしておりますが、今後も効果的な広報活動に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
352	7章	149		「いわゆる『餌やり』への指導等」の表現は、「餌やり＝悪」との誤解を与えかねない。いわゆる「餌やりさん」は、TNRや「地域猫」の推進において、重要な役割を果たせる可能性があり、また「悪いのは餌やりトイレの用意をセットで行わないことである」という考え方が一般的になりつつある。表現を見直していただきたい。	いただいたご意見を踏まえ、記載を改めます。	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
353	7章	151		男女共同参画については、萩市では市の職員が研修を受け、専門性をもって小中学校での指導に当たっていると聞く。下関市は、担当が替わるため、そのような対応ができない。講師は外部頼みで、市独自のアクションを取ろうという気概が感じられない。関連書籍のにおいてある場所も限られており、結局市役所から遠い住民には役に立たない。	男女共同参画の意識啓発のため、本市でも専門知識を持つ職員が出前講座を行っています。また、一般市民対象に外部の専門家による講座を企画し、好評を博しています。また、市のホームページ上では関連書籍の紹介も行っておりますので、ぜひ最寄りの図書館を通じて書籍の取り寄せなどご利用いただければと存じます。	C【今後の参考・その他】
354	7章	153		「多文化共生による地域づくりの推進」に関して、主な取組として「外国人住民とのコミュニケーション促進」がありますが、日本人側はもちろん、外国人住民側も積極的に地域コミュニティに溶け込む努力をするよう外国人や外国人コミュニティへの指導を希望します。	日本人と外国人住民の相互理解を深めるため「顔の見える関係づくり」を目指し、交流イベントや情報交換の場に関する情報提供を積極的に行ってまいります。	C【今後の参考・その他】
355	7章	153	○	近ごろSNSでジェンダーレスを尊重しすぎて女性側が怖い思いをすることが増えたことをよく目にします。性的マイノリティに対する理解も大事だけど、それに便乗して本当は心も男性なのに女性のふりをするような人が出てこないようにしてほしい。	「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」の施行後も、厚生労働省は各自治体に、公衆浴場や旅館業の施設の共同浴室について、利用者の性自認ではなく身体的な特徴に基づいて取り扱うよう通知するなど対策も講じられています。今後も、本市では性の多様性を尊重し、全市民が安心して暮らせる環境づくりを推進してまいります。	C【今後の参考・その他】
356	7章	153	○	多文化共生の促進。高齢者も若者も理由は違うけれど外国人とコミュニケーションをとることがあまり無いと思うので支援するのは良いと思います。	国際交流団体の支援等を通じて、さらに多様な住民間の相互交流が進むよう取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】
357	7章	154		「地域活動の担い手が不足し、後継者等の育成が課題」とありますが、自治会がその基盤となると考えます。しかしながら、自治会加入率が年々低下していることが大きな問題点であり、自治会と市との共同での解決が必要であると考えます。	地域活動の担い手や後継者を確保するためには、まず担い手の負担そのものをできるだけ少なくすることも必要です。既存の地域活動を見直し、スリム化することで、担い手の負担を軽減する取組を推進したいと考えます。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
358	7章	155		自治会活動をするにも自治会役員を受けの人がいない。いつまでも同じ人が続いている。高齢者が多い、若い人がまちづくりのリーダーが理想。公務員(市、県、学校職員)の方、積極的になってほしい。(知識も経験があり期待出来ると思う)	地域活動の担い手や後継者を確保するためには、まず担い手の負担そのものをできるだけ少なくすることも必要です。既存の地域活動を見直しスリム化することで、担い手の負担を軽減する取組を推進したいと考えます。 公務員も、各居住地においては一住民であり、それぞれの考えや立場に応じて、住民としての役割を果たすよう期待するものです。	C【今後の参考・その他】
359	7章	155		■(2) 地域コミュニティ組織の育成支援 ①まちづくり協議会への支援 ※「自主財源確保の推進」は、唐突に、また内容の説明もなく記載されているが、どのようなことか。	「第2次下関市住民自治によるまちづくり推進計画」において、まちづくり協議会への財政支援として、自主財源確保の推進について記載しており、上位計画にあたる総合計画に明記したものです。 今後、まちづくり協議会の活動の拡大、充実が期待される中で、効果的なまちづくり活動を継続していくため、まちづくり交付金のみを財源とするのではなく、自主財源の確保を視野に入れる必要があると考えています。新たな収益事業に取り組むには、専門知識や行政による多面的な支援が必要であり、自主財源確保のための取組を推進しようとするものです。	C【今後の参考・その他】
360	7章	155		まちづくり協議会の話し合いでは電子回覧板等についての話が出ているが、ここでは全く出ていない。市全体の動きはどうなっているのか。市民活動センターの機能強化より、分散化してほしいと、何度も訴えているが、聞き入れられない。豊北町の奥からでは、車で一時間半もかかるのに一か所しかないのはおかしい。	電子回覧板につきましては、連合自治会とまちづくり協議会を通じて、これから具体的な取組を進めたいと考えております。 市民活動センターの機能の分散化につきましては、施設や人員の配置に係る費用の面もあり、遠方からご利用の皆様にはご不便をおかけしております。センターとしましては、市内のすべての関係の皆様へ電子媒体などを活用した情報提供を行うとともに、地域別のイベントを開催するなど、センター内に限らない支援に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
361	7章	156	○	市民活動団体とボランティアギルド登録者のマッチング件数の目標に対しての取組があまりないと感じる。ボランティアギルドの登録者を増やすために、教育機関に案内する、など。	主な取組「しものせき市民活動センターの中間支援機能の強化」の中で、ボランティアギルドのマッチング件数を増やすため、SNSの活用による効率化や制度活用の周知活動に取り組んでまいります。 また、市内の高校や大学を通じて、引き続き学生を対象にボランティアギルドの周知を図ります。	C【今後の参考・その他】
362	7章			豊浦町、菊川町は菊川活断層の上であり、断層がSランクに上がり、県内でもかなり危険な断層であるにも関わらず、総合支所は危機感をもっていない。今年9月の防災訓練で防災士より自主防災組織の話を各自治会長等に話をしたが、1ヶ月経っても自分の自治会で自主防災組織を作ろうという話が出ていない。市主体で各自治会長に自主防災組織を作ることすすめてほしい。	本市では、自主防災組織の設立を支援するため、コミュニティ助成事業や防災資機材交付事業を行っております。なお、これらの支援事業については、下関市連合自治会発行の「自治会のしおり」にも掲載されており、また、本市のホームページにはおいても「自主防災組織をつくりましょう」という設立に関する手引きを掲載しております。 災害時に重要となる「共助」を強化するため、様々な機会を捉えて引き続き周知を図ってまいります。	C【今後の参考・その他】
363	7章		○	図書館に外国語書籍を増やし、下関に居住する外国語使用者が読書する機会を増やして欲しい。	「第2次下関市立図書館基本計画」の中で、外国語資料の充実に努めるとしており、外国語使用者だけでなく、異文化に触れ、多文化理解に役立つ資料としても活用するため、外国語資料の収集に努めてまいります。	C【今後の参考・その他】
364	7章			困窮した人の駆け込み寺のような施設を作っても良いと思います。 (新宿歌舞伎町の「きみまも」のような施設)	本市においてご提案のような施設は設置していませんが、社会福祉協議会内に「生活サポートセンター下関」を設置しており、生活に困りごとや不安を抱えている方に対して、専門の支援員が寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行っております。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
365	7章			<p>下関市における犬や猫などの動物に対する予算と、市独自の条例の改定について提案します。現在、法律上では犬や猫などの動物は所有物と見なされ、その命に対する価値が十分に認識されていません。そのため、飼育放棄や虐待に遭遇しても、その命を守るための具体的な手立てが不足しています。また、劣悪な環境で飼育されているブリーダーのもとにいる動物を助けることも困難な状況です。</p> <p>実際に、豊田町の華山には北九州から来た業者が犬を捨てに来ており、このような行為に対する取り締まりが不十分であるため、業者の行動が後を絶ちません。これらの状況に対して、市条例の見直しと予算の再配分が必要だと考えます。</p>	<p>今後とも動物の愛護及び管理に関する法律の規定に基づき、適切に対処してまいります。また、法改正等の動向を注視してまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
366	7章			<p>・市条例の改善 劣悪な環境にあると判断された動物は、第三者の介入によって飼い主から取り上げることができるように、市の条例を改善する必要があります。動物虐待や放棄が発覚した場合、直ちに適切な措置が取れるようにすることが重要です。</p> <p>・飼い主への罰則強化 不適切な環境での飼育が認められた場合、飼い主から動物を取り上げることができるよう、市の条例を強化し、適切な罰則を設けることが必要です。</p> <p>・愛護センターの拡大 市内にいる野良猫や野良犬を市が保護し、新たな飼い主を見つけるための愛護センターの機能拡充を提案します。動物愛護の観点から、市としての支援体制を強化し、より多くの動物を保護できる施設を整えることが重要です。</p>	<p>今後とも動物の愛護及び管理に関する法律の規定に基づき、適切に対処してまいります。また、法改正等の動向を注視してまいります。</p> <p>なお、動物愛護管理センターの機能につきましては、効率的・機動的な運営に努めてまいります。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
367	7章			<p>現状のデメリット 放置された野良犬や野良猫の増加は、衛生面での問題を引き起こし、周南市のように野良犬が急増した場合、観光業にも悪影響を与える可能性があります。特に観光客が不快な思いをすることにより、下関市のイメージが損なわれるリスクがあります。</p> <p>改善後のメリット 野良犬や野良猫が減少することで、市民の生活環境が改善され、さらに「動物に優しい街」としてのイメージが全国的に広がり、下関市の宣伝にもつながるでしょう。これにより、観光客にとっても魅力的な都市として認識される可能性があります。</p>	<p>第7章第2節(2)①「動物の愛護及び管理の推進」において、野良犬の増加防止や増えすぎた野良猫による周辺環境悪化防止の観点で、野犬の捕獲や適正飼養などについて記載しております。</p> <p>なお、本市におきましては、野良犬の出現の御連絡をいただいた場合、直ちに捕獲の対応を行っており、野良猫対策としては、TNR(野良猫の不妊手術)に対する助成制度を設けております。</p>	C【今後の参考・その他】
368	8章	158		<p>「広報活動の充実」に関して、下関市長の公式SNSアカウントを開設し、市長の市政に対する考え方や思いが市民に直接届く機会を提供して欲しいです。そしてこのアカウントは市が所有する公的なものとし、市長の交代時にはアカウントごと後任の市長へ引き継ぐことで一貫性の確保が必要であると考えます。</p>	<p>市政の方針等につきましては、各担当部局より市報、市のホームページ、各メディアに対する報道発表等で適切に発信しているところですので、現状で市長のアカウントを開設する予定はありません。</p>	C【今後の参考・その他】
369	8章	158		<p>広報しものせきは、紙面が変わってから見づらくなった。情報格差を生まないためには、せめて総合支所で専用テレビやラジオ、ホームページが簡単に視聴、閲覧できるようにしてほしいし、市議会は確実に放映してほしい。議員の質問や市の答えなど、リアルタイムで視聴することが重要。開かれた議会なのだから。</p>	<p>市報しものせきにつきましては、市民の皆様より様々なご意見をいただいております。今後もよりよくなるような紙面の見直しを検討いたします。総合支所において各種情報が視聴できるようにすることについての予定は現在のところありません。</p> <p>また、市議会においては多くの方に傍聴いただけるようインターネットライブ中継に加え、リアルタイムでの字幕表示をすでに導入しておりますことから、総合支所へのモニター等の設置は予定しておりません。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
370	8章	158	○	<p>第1節 行政機能の充実〈現状と課題〉について</p> <p>⑧(1)①の「わかりやすい広報」の捉え方を読み解くと情報の発信が足りていないような書き方になっているという認識。実状はいろいろな媒体で内容だけでいうとはわかりやすい説明がされていると思う。それはただの説明で広報にはなっていない。今足りていないのは、情報の正確性、数ではないという認識を全職員がまずは持つべき。</p> <p>市民は受け取る情報の数が莫大になっている時代で、住民から情報を得ようとするメディアでないため。</p> <p>時代にあった情報発信の質を上げる。 (興味が湧く?興味深さにかける。見やすい、わかりやすいデザイン) 紙媒体だって有効に使えるがこの認識がないと、記載の課題のまま10年が無駄にすぎるだけ。</p> <p>記述に入れるべき。</p> <p>⑨もしそのような認識を行政として持つことができるのであれば、組織全体の認識として浸透させていく旨の文言を記載すべき。それが将来を見通した計画であると考えが如何か?</p> <p>(個別具体例を挙げるとすればデザイン都市宣言、行政内での組織設置、デザインをロジカルに使った広報等。あくまで例)</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、原案の記載を修正いたします。第8章において、広報・広聴活動について、原案を修正し、「質の高い情報発信」及び「媒体や価値観の多様化に対応した広聴活動」を推進します。</p>	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
371	8章	158	○	<p>行政のDX化に関して、実際に直面した事例を紹介します。とある課にロゴデータの使用を希望しデータ送付を求めたところ、印刷されたロゴをスキャンしたような画像をCD-Rに焼いたものが提供されました。いつの時代なんだ、と思い正直呆れてしまいました。データ管理・共有の手段に、セキュリティ観点からの民間との差異があることは理解していますが、業務の効率化や、利便性、公民連携を考えたとき、地域のDXを推進する立場にある行政が、時代に取り残された状況であるのは、非常に勿体なく、真っ先に改善いただきたいことのひとつです。</p> <p>市の事業、デザイン・市政に係る情報発信(広報・プロモーション)関係を取りまとめるデザイナーズチームの参画、監修を望みます。地域の個性、分野・部署ごとの個性もあるとは思いますが、下関市全体としての発信の一体感、また市職員・市民ともに意欲を高めるワクワクするデザインが、現状足りていないように思います。</p> <p>市報、毎月拝読しています。せっかくの紙面をより多くに届けるために、特集ページをSNSでも発信してはどうでしょうか。まずは記事を画像化するだけでも十分だと思います。</p>	<p>デザインの重要性は認識しており、全部局が共通の認識のもとで一体となり、市民誰もがわかりやすく興味関心が高まるデザイン化をはかるなど、情報発信の質の向上を進めてまいりたいと考えており、第8章の原案を修正いたします。</p> <p>ご指摘のデザイナーズチームの設置についても、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>また、市報をSNSで発信することにつきましては、LINEの市の公式アカウントやしもまちアプリにおいて、すでに実施しているところです。</p>	A【反映する】
372	8章	158	○	<p>P158の下から10行目に「(下関市の)広報紙・ホームページ・SNS等のパブリシティの充実」とありますが、市のSNSで最も使用が多いと思われるLINEについては、発信情報により興味を持ってもらうため、「中の人」の人となりを伝えて身近に感じさせる、市各地区バージョンにカスタマイズできるようにするなどの工夫を凝らしてほしいです。</p>	<p>SNSの活用につきましては、発信方法や内容の充実に向けて、今後の参考にさせていただきます。</p>	C【今後の参考・その他】
373	8章	159		<p>パブリックコメントの推進はよいが、とかく説明に終わっている感じがする。その前にワークショップを徹底化し、原因追及した対策を立てパブリックコメントを出すべきと思うが間違いかも？</p>	<p>市民参画の方法として、パブリックコメントに限らず、説明会の開催、ワークショップやアンケートの実施等、パブリックコメントの実施対象により適切な方法で市民参画を進めるよう、改めて徹底してまいります。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
374	8章	159		<p>公民連携による事業が失敗したときのリスクヘッジができる人材が数、質ともに下関市にいるのか。やったけれど業者が廃業しました、サービスを停止しますということにならないのか。</p> <p>税金の使い方が、きちんとした議論に基かない、場当たりのなものが多い気がする。長府苑しかり、火の山公園計画しかり、あるかぼーとしかり。首長の考えてころころ変わるような総合計画は立てる意味があるのか、大いに疑問。</p>	<p>本市の官民連携手法による施設運営については、運営事業者を指定管理者に指定し、収支の状況や事業者自体の経営状況のモニタリングを行い、公共施設の運営が適切に行い得るか確認しており、市民サービスの提供が滞ることのないよう指導してまいります。</p> <p>総合計画は今後10年間のまちづくりの方向性をお示しするものであり、具体的な事業については、実施計画や予算化された中で取り組むものとなります。</p>	C【今後の参考・その他】
375	8章	159	○	<p>グーグルフォームなどデジタル化を進めてほしい。海峡マラソンの申し込みなど、グーグルフォームでできたらいいなと思っていた。紙で提出となるとなかなか出しにくい。</p>	<p>申請手続等のデジタル化につきましては、いただいたご意見を、今後の検討の際に参考とさせていただきます。</p>	C【今後の参考・その他】
376	8章	161		<p>■(1)行財政改革の推進 ②公共施設マネジメントの推進 ○未利用財産の処分及び利活用の推進には、廃校する・した小中学校等の利活用を積極的に表すべき ※市立学校の適正規模・適正配置の推進で廃校となる、また廃校となった「こども園、小学校、中学校」の校舎、校庭は適切な維持管理がされず放置され荒廃するばかりで、害獣(シシ、シカ)などの住処と化している。また、周辺環境の悪化にもなっている。 ※小中学校等を統廃合する場合には、事前に廃校となる施設の利活用方法を定めて行うこと。また、既に廃校となっている施設については、速やかに利活用方法を定めること。</p>	<p>廃校の利活用につきましては、公共施設等総合管理計画及び公共施設の適正配置に関する方向性(中期)に基づき、関係部局が連携、協議し、地域住民との対話を図りつつ、民間活用も含めた利活用の方法を検討してまいります。</p> <p>なお、利活用が図られるまでの間は、隣接地周辺に迷惑をかけないように関係部局と連携し、適正な維持管理に努めてまいります。原案の記載はそのままといたします。</p>	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
377	8章	161		市民の減少に伴う職員の安易な削減には注意すべきと思う。また退職者は引き続き地域の担い手として活用されるべく教育することも必要では？	本市を取り巻く状況の変化に対応しながら、質の高い行政サービスを安定的に提供できる体制を維持するため、令和6年4月1日時点の職員数を基準とし、この水準を維持してまいります。また、高齢期職員を対象とした研修等を通じて、引き続き地域の担い手などとして活躍するための意識の醸成を図ってまいります。	C【今後の参考・その他】
378	8章	161-162	○	インフラ(上下水道)の管理手法としてPFI/PPPがあると思う。民間を利用することは効率もよく手法としては適切だろう。一方で行政職員のノウハウの貯蓄不足が課題として挙げられると思う。	PFI/PPPの活用を図る一方で、引き続き職場内研修(OJT)の実施などにより、職員の資質向上・技術水準の維持向上を図ってまいります。 参考として、上下水道局では計画的な局内研修や局外研修、効果的な職場内研修(OJT)を行うとともに、定年引上げにより在職期間が延長した職員などの経験豊富な職員に、技術継承や若手職員の育成の指導をさせるなど、これまで培ってきた技術を、次世代にしっかりと引き継いでまいります。	C【今後の参考・その他】
379	8章		○	パブリックコメントへのハードルを下げたい。市民が162ページにも及ぶ内容を読むのには時間がかかりすぎる気がする。また、サイトへのSEOも強くなく、「総合計画 下関」「パブリックコメント 下関」などのキーワードで検索すると1番上にこなくて見つけづらい。(→第2次のものが1番上にきます)	パブリックコメントの実施手順では、市民に分かりやすく簡潔に説明するため、概要版等の資料を併せて作成するよう定めています。 また、市ホームページのSEO(検索エンジンの最適化)に関しては、適切なキーワードの設定や、サイト構造の整理などの対策を行っているところですが、新着情報がすぐに上に表示されないこともあります旨、ご了承ください。	C【今後の参考・その他】
380	8章		○	行政経営のお金についての収入や支出等の計画は別なのかが気になりました。	行政経営の収入や支出等の計画につきましては、財政の健全性と施策の計画的かつ重点的な取組を行う上での参考指標とするため、今後5年間の中期的な収支見通し(中期財政見通し)を作成し、毎年度市議会へ報告しているところです。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
381	8章		○	市のデジタル化があまり進んでないと感じる。	全庁を挙げて、デジタル技術を活用した行政事務の効率化はもとより、今後多様化する市民のライフスタイルに対応した行政サービスの改革に対応してまいります。	C【今後の参考・その他】
382	8章		○	パブリックコメントもGoogleフォームなどを利用すれば多くの意見を集めることができますと思います。(電子機器を使えないお年寄りは今のまま手書き)	郵送、ファックス、電子メールのほか、webフォームなどオンラインによる意見募集の方法も、引き続き採用してまいります。	C【今後の参考・その他】
383	8章			統廃合により廃校になった校舎を利用し、動物愛護センターや保護施設として活用することを提案します。既存の建物を有効に活用することで、予算面での効率も高まり、動物の保護に対する対応が迅速かつ効果的に進められると考えます。 下関市において、動物に対するより適切な保護や管理体制を整えるためには、市独自の条例の改善や愛護センターの拡充が不可欠です。動物に優しい街としてのイメージを発信することは、観光業や住民の生活の質向上にもつながるのではないのでしょうか。	動物愛護管理センターの機能につきましては、既存施設で対応できており、増設等の予定はありません。 また、動物の保護につきましては、動物の愛護及び管理に関する法律に沿って、適切に進めてまいります。	C【今後の参考・その他】
384	8章		○	市が行っていることが分かりづらいです。 若者が自分達から掴みに行かなくても、生活の中に溶け込むくらい、お年寄りだけではなく、これから下関で生活していく、作っていく若い年代に確実に情報が届くようなシステムを作りたいです。もう少し分かりやすく、堅苦しく無いような組織であってほしいです。	デザインの重要性は認識しており、全部局が共通の認識のもとで一体となり、市民誰もがわかりやすく興味関心が高まるデザイン化をはかるなど、情報発信の質の向上を進めてまいりたいと考えており、第8章の原案を修正いたします。 ご指摘のデザイナーズチームの設置についても、今後の参考とさせていただきます。 また、市報をSNSで発信することにつきましては、LINEの市の公式アカウントやしもまちアプリにおいて、すでに実施しているところです。	A【反映する】
385	基本構想	15	○	活用可能な空き家・空き店の有効活用を促すということをアンケートに今回から導入して29.4%と2番目に多く票を得ていて驚きました。下関の町を見ていると空き家や空き店を多く見るので有効活用して活気ができれば良いと考えます。	本市では現在、空き物件活用ビジネス支援事業の補助対象者を賃借人だけでなく、所有者、管理者まで拡充することで、個人や民間の事業者の積極的な補助金活用を促し、空き店舗・物件の解消及びにぎわい創出促進に努めているところです。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
386	基本構想	26		ここに書かれている文章を読み、とてもワクワクしました。海も山も川も身近にある下関。これは当たり前のことではなく、とても恵まれた環境だと思います。のびしろしかない下関で生活していくのが楽しみです。	ご意見ありがとうございます。様々な地域の特徴を最大限活かして、地域活性化を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】
387	基本構想	26		<p>■まちづくりの基本理念</p> <p>○文章の羅列で、何度読んでも下関市の特性を生かした目指したいまちの理念が何なのか、また、具体性に欠けるし、何度も読むが理解できない。もっと分かりやすく、伝えたい理念を完結に表現すべき。</p> <p>○なお、「古くから海峡のまちとして、歴史を動かそうとしてきた人びとが交差してきた土地。コンパクトながら、多様な自然環境があり、幅広いライフスタイルが選択できるこのまちを。」の記述をもって、理念とすることは、旧下関市目線(上から目線)としか窺えなく、中山間地である旧豊浦4町を考慮した理念とは思われない。</p> <p>○この表現が発せられる根底には、原案の各章の構成、記述内容からも旧下関市目線であると窺える。</p>	<p>ご意見を踏まえ、全体的に修正いたします</p> <p>・市と作成に関わった市民(審議会委員/パブコメ/市民説明会/ワークショップ/議会全員協議会/各種アンケート)が、一体となって策定したまちづくりの基本理念である「可能性を築くまち」の中で、「誰もが安心して未来を描いていける環境を整え、各々が個性を活かし、輝けるまちを、下関で暮らす市民、活動する人たちと一緒に築いていきたい」というメッセージを市民や下関に関わる人たちに向けて、記載します。</p> <p>・「下関は、多様な自然環境があり、各地で育まれた地域資源によって、幅広いライフスタイルが選択できる」と修正し、旧豊浦4町をはじめ、他の地域の特長を表現します。</p> <p>また、全国的に下関のイメージとして認知されていることから追加する形で(～でもあります)、「海峡のまち」を表記します。</p>	A【反映する】
388	基本構想	26		まちづくりの基本理念―読みにくい。過疎になり、学校や公共施設、公共交通が無くなる地域では「可能性を築く」ことはできない。	都市部から農山漁村部までにいる、多様な地域特性をもって、いる本市だからこそ、旧4町地域にも拠点位置づけるなど、各地域においても、生活利便施設などを誘導し、居住環境の向上を図るとともに、自然環境をはじめとした、豊富な地域資源を活かした、地域再生に取り組んでまいります。	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
389	基本構想	26		<p>「基本構想は、施策や事業における基本概念。自治体のめざす将来像と将来の目標を明らかにし、これらを実現するための基本的な施策の大綱を示すもので、企画、事業実施のための概念や理念、計画や事業全体のガイドラインを指す」と一般的に理解されています。</p> <p>1)「わたしたち下関は、『可能性を築くまち』を、新たなビジョンに掲げて(1行目)」、それを「一緒につくっていきましょう(24行目)。この文は地方自治体＝市行政からのまちづくりへの市民への協働参画の呼びかけではないでしょうか。</p> <p>2)今回の総合計画の追い求めるところは、市民の「誰もが安心して生活することができる(2行目)」「より多くの人々が半歩先の未来を描くことができる(3行目)」ことで、市長をトップとする市行政はその「基盤づくり」/「環境づくりに注力する」と言っているのでしょうか。</p> <p>「注力する」を他の言葉に置き換えれば『配慮して努力する』ですか。地域づくりのリーダーとしての主体性を疑わざるをえません。</p> <p>3)8～11行目;「…まちを前に進めていくのは、ひとの可能性です」、「色々なひとの可能性が、折り重なっていくことで、まち全体の力が高まり、これからの時代を駆け抜けていくことができます」とあります。</p> <p>今回のまちづくりの理念は、市民(個人、法人等)それぞれの自立自助を求める『人生訓』ですか。とても基本計画/実施計画の企画展開や事業実施の指針となる概念(コンセプト)になるとは思えません。</p> <p>4)12・13行目;「…まずは安心して生活ができる基盤づくり…」、14・15行目;「…自分にあった暮らしを実現できること」、16・17行目;「…はじめの一步が生まれやすい拠点としての環境を整えること…」。この役割を担うのは?誰が主体となって取り組むのでしょうか。</p> <p>18行目「私たちは、…価値やあり方を新しい視点で捉え直し」とある『私たち』は市行政ですか。それとも市民全般ですか。</p> <p>19行目『…その環境づくりに、挑んでいきます』の役割を主体的に担うのは誰ですか。市行政であるならば基本計画/実施計画にそのための施策が組み込まれ、その企画展開や事業実の方向が記述されていなければなりません。</p> <p>5)1行目;『わたしたち下関』、18行目/20行目『私たち』の語彙は誰かを明確にし使い分けてほしい</p>	<p>・市と作成に関わった市民(審議会委員/パブコメ/市民説明会/ワークショップ/議会全員協議会/各種アンケート)が、一体となって策定したまちづくりの基本理念である「可能性を築くまち」の中で、「誰もが安心して未来を描いていける環境を整え、各々が個性を活かし、輝けるまちを、下関で暮らす市民、活動する人たちと一緒に築いていきたい」という市民や下関に関わる人たちに向けたメッセージとして記載します。</p> <p>・メッセージの主語は、市と作成に関わった市民で、できる限り多くの市民や下関に関わる人たちに伝え、共有し、一体となってまちづくりを推進してまいります。</p>	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
390	基本構想	26		<p>基本構想における「まちづくりの基本概念は、下位の基本計画/実施計画における企画展開、事業実施の方針/方向を指し示す、基軸、基調となる概念です。『可能性を築くまち』はそうしたコンセプトワードとして非常に使いにくいと思います。</p> <p>1)「わたしたち下関は、『可能性を築くまち』をめざします」と新たなビジョンに掲げるとき、「どのような可能性ですか」問い返されるでしょう。それは、例えば、「産業振興のもとになる様々な人材育成や交流の」(基本計画P36第1章産業・就業<方向性>1行目)、または、「国際化に対応できる人材の育成を図る」(基本計画P49第2章交流・にぎわい<方向性>9行目)、或いは、「将来にわたって幸福な生活を送ることができる将来にわたって幸福な生活を送ることができる」(基本計画P66第3章子ども・子育て・教育<方向性>3行目)、といった「可能性」でしょうか。</p> <p>いずれも基本構想P27の「未来を担う人づくり」分野ですが、詳しく調べていないので他にもあるでしょうが、他の多くの施策はそのための「基盤づくり」、「環境づくり」と、もし説明するのであれば、「下関市は未来を担う人づくりのまちをめざします」を未来ビジョンとした方が良いと思います。わかりやすいと思います。</p>	<p>・可能性というのは、必ずしも新しいことへの挑戦を示すものではないと考えております。</p> <p>・2つのコンセプトがあり、まずは「誰もが安心して未来を描けるか」という生活・暮らしの視点、そのうえで、「何か歩みを進めよう、挑戦してみようとする意識を育み、下関の価値を存分に活用した挑戦が実現できる」ものと考えております。</p> <p>・具体的な可能性については、生活の質の向上・学ぶこと・働くこと、成長していく子どもたち、新たなビジネス展開、リスクリング、起業、移住、リカレントによる自身のスキルアップや成長・充実など誰もが自分事として、捉えた可能性であって、そういう可能性を想像できる、実現できる環境づくりを推進したいというメッセージとして、原案を修正いたします。</p>	A【反映する】
391	基本構想	26	○	基本理念がもう少し短くコンパクトだと良いと思った。	メッセージができる限り、わかりやすくイメージできる範囲でコンパクトにいたします。	A【反映する】
392	基本構想	26		「可能性を築くまち」を基本理念と掲げていますが、これは何処の市町村でも使える理念ではないでしょうか？下関市の独自性が分かる言葉を入れた方が良く感じました。前回の「まちの誇りと自然の恵みを未来でつなぐ輝き海峡都市・しものせき」からより抽象性の強い表現にした理由・経緯について「序論」または「基本構想」の中でもっと触れておく方が良く感じました。	<p>・基本理念のキャッチコピーにつきましては、総合計画審議会委員の皆様より、現在のキャッチコピーより「短く・誰にでもわかりやすく・おぼえやすい」ものであるよう、多くのご意見をいただきました。</p> <p>・これまでのキャッチコピーは本市の特長は示しているものの、市民と一体となって、どんなまちであってほしい、どんなことができるまちを一緒に取り組んでいこうというメッセージがございました</p> <p>この2点を視点に構成いたしました。</p>	A【反映する】
393	基本構想	26	○	P26の上から4行目の「より多くの方が半歩先の未来を描くことができる環境づくり」は「より多くの方が自分の可能性を追求できる環境づくり」などに修正すべきです。「半歩先の未来」という言葉は、何を意味するか分かりにくく、今後10年のまちづくりの基盤である総合計画においては消極的なニュアンスとして受け取られるおそれがあります。	ご意見を踏まえ、全体的に修正いたします。	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
394	基本構想	26.28	○	まちづくりの基本理念の「可能性を築くまち」が、目指すまちの子育てや挑戦といったところとしっかりリンクしていて良いと思った。	ご感想ありがとうございました。	A【反映する】
395	基本構想	26.28		「また、何か歩みを進めよう、チャレンジしてみようと思うひとの障壁をなるべく少なくし、はじめの一步が生まれやすい拠点としての環境を整えることが必要です。」とありますが、全国から「保守王国中の保守王国」と言われるなど、封建的で現状維持を好み、変化を嫌い新しい挑戦に対しては冷淡、時には妨害さえもしてきた下関市民の気質や歴史を踏まえると、このような環境整備は不可能ではないかと考えます。学校での起業家教育や、一般市民向けの小規模集会をこまめに開催するなど市民の意識改革を促すような地道な政策立案による市民、特に思考が保守化しがちな中高年齢者への啓蒙や意識改革が重要であると考えます。 「私たちは、下関の可能性を信じています。」とありますが、前述のような主に中高年の下関市民の気質を肌で感じて下関に絶望しているからこそ、若年層は東京や福岡といった大都市圏へ流出しているのではないのでしょうか？ 同様に、「幅広いライフスタイルが選択できる」環境にあるとは全く言えません。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。 市と作成に関わった市民(審議会委員/パブコメ/市民説明会/ワークショップ/議会全員協議会/各種アンケート)が、一体となって策定したまちづくりの基本理念である「可能性を築くまち」の中で、「誰もが安心して未来を描いていける環境を整え、各々が個性を活かし、輝けるまちを、下関で暮らす市民、活動する人たちと一緒に築いていきたい」という市民や下関に関わる人たちにに向けたメッセージとして、記載します。 第8章において、広報・広聴活動について、原案も修正し、「質の高い情報発信」及び「媒体や価値観の多様化に対応した広聴活動」を推進することと修正し、できる限り多くの市民や下関に関わる人たちに伝え、共有し、一体となって、まちづくりを推進できるよう意識改革に努めてまいります。	A【反映する】
396	基本構想	26.28	○	「半歩先の未来」は明日、来週、来月、来年のような少し先の未来を指しているのでしょうか？10年後の下関の数字が「100%」「ゼロ」と極端で現実味がない	・当該表現については、見直しを行います。 ・お示しの目標は、総合計画の基本計画における、第1章～第8章までの各種施策のKGI(ゴール目標)KPI(目標指標)を高めることで、叶えたい希望的・挑戦的な数値としております。	A【反映する】
397	基本構想	27		■将来像(全体図) ○何を、どのように構想しているのか全く分からない。 ○全体図は、単に、第3部の目次ではないか。インパクトがなく、全くさみしい。	まちづくりの基本理念の実現に向けて、展開する基本計画に掲げる第1章から8章までの施策の方向性を4つのカテゴリーにまとめ、展開図として整理します。	A【反映する】
398	基本構想	27		見にくいし、魅力的なデザインとは言えない。	原案ではデザインについて着手しておりませんので、今後冊子化する中で対応してまいります。	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
399	基本構想	27		P27『将来像(全体像)』とP28『目指すまち』の意味はどう使い分けられているのですか。 P27は、『将来像』ではなく、『可能性を築くまち』を基本理念とした基本計画の施策展開構想図と理解されます。 経済の活性化/未来を担う人づくり/良質な生活づくり/共生社会づくりの4分野における『可能性を築く』ための基盤づくり/環境づくりの施策を基本計画の第1章~7章でそれぞれ展開・実施していくことを表しているとの理解でよいのでしょうか。	まちづくりの基本理念の実現に向けて、展開する基本計画に掲げる第1章から8章までの施策の方向性を4つのカテゴリーにまとめ、展開図として整理します。	A【反映する】
400	基本構想	28	○	現在社会減が多い状態から2034年に社会減をゼロにするまでの道のりをもう少し明確にしてほしいと感じた。	「若者の社会減ゼロ」は、基本計画における第1章~第8章に掲げる、各種施策のKGI(ゴール目標)KPI(目標指標)の着実な取組により目指すものとなっており、毎年効果検証を行ってまいります。	B【反映済み・原案のまま】
401	基本構想	28		■目指すまち ○審議会で多々検討されたのでしょうか、これだけですか。例えば次のような提案はなかったですか。 ※(例えば) 自然と人、人と人がふれあいを大切にするまち	基本理念のキャッチコピーにつきましては、総合計画審議会委員の皆様より、現在のキャッチコピーより「短く・誰にでもわかりやすく・覚えやすい」ものであるよう、多くのご意見をいただきました。 ・これまでのキャッチコピーは本市の特長は示しているものの、市民と一体となって、どんなまちであってほしい、どんなことができるまちを一緒に取り組んでいこうというメッセージがございました この2点を視点に構成いたしました。	B【反映済み・原案のまま】
402	基本構想	28		数値目標を掲げる意味がわからない。	基本計画における第1章~第8章に掲げる、各種施策のKGI(ゴール目標)KPI(目標指標)の達成に向けて、実効性の高い施策を展開することで、10年後の下関において、叶えたい希望的・挑戦的な目標値としております。	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
403	基本構想	28		<p>P28『目指すまち』と『可能性を築くまち』との関係をしっかり説明してください。</p> <p>『可能性を築くまち』ための基盤づくり/環境づくりを突き詰めると、まちづくりの目標が『年齢問わず、安心して暮らせる、子どもを育みたいと思えるまち』と『挑戦を想像できる、挑戦が実現できるまち』となるということでしょうか。ただし、『挑戦を…できるまち』は意味不明。例えば、「〇〇市のように…がある…」のように説明しないとわかりません。</p> <p>『10年後の下関』は、まちづくり施策の効果の検証評価の試みか。まったく意味不明。まちづくり目標と評価項目が対応していないし、10年後の目標値を100%としている。真面目にこう考えているのか、真剣さを疑います。</p>	<p>まず、序論において本市の主な課題を基本計画における章ごとに記載し、これら解決に向けたまちづくりの基本理念「可能性を築くまち」を掲げ、実現に向けた展開図(基本計画第1章から8章を大きく4つにカテゴリ化)を示し、基本計画に記載するKGI/KPIの達成が相まって、10年後の下関として、叶えたい4つの希望的・挑戦的な目標として掲げます。</p>	A【反映する】
404	基本構想	28		<p>2)『10年後の下関』の欄における、「下関は、住みやすいと思う」「下関を、自分のまちとして愛着を感じる」「下関に、住みたい/住み続けたいと思う」などの「市民の評価」が得たいのであれば、市内外へ向けた「都市のイメージづくり戦略」の展開が特別に必要なと思います。</p> <p>何分にも、都市イメージは世間の「評判」ですから「自分のまちはこんな都市だ。こんな魅力がある」と叫んでもそれを市内外の人が納得してくれなければ望ましい評価・イメージは生まれません。都市の「幸福度」/「魅力度」ランキングなるものがマスコミやインターネットでもてはやされている時代ですから。それなりの施策展開が必要です。</p> <p>その戦略を構築にあたっての担当スタッフの手持ち資料として、総合計画の企画展開/事業実施による「まちの魅力づくりとイメージアップ」の仕組み(イメージ図)がお役に立てばと思ってお送りします。</p> <p>(この資料は、市内特定地区における市民まちづくり団体の活動方針策定の際に数年前に作成したものです。現在の基本構想の「暮らす幸せの実感」をコンセプトワードにしたものですが。) ※資料添付あり</p>	<p>いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>	C【今後の参考・その他】
405	基本構想	28	○	<p>10年後の下関について、下関に住みたい、愛着を感じる、住みやすいと感じる市民の割合を100%にするとあるが、10年かけなくても実現できるのではないかな。なぜ10年後という設定にしているのか。</p>	<p>本市が今後10年間で目指す希望的・挑戦的な思いを込めた目標を、市民の皆様にもわかりやすく共有できるよう設定いたしました。少しでも早く実現できるように取り組んでまいります。</p>	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
406	基本構想	28	○	「10年後の下関」の目標値だけが非現実的すぎる。P33～の基本計画で示されている各項目の目標値との差がある。←これがまず達成できないと、100%の目標値・社会減ゼロなんて無理。現実的な目標設定をしてください。	まず、序論において本市の主な課題を基本計画における章ごとに記載し、これら解決に向けたまちづくりの基本理念「可能性を築くまち」を掲げ、実現に向けた展開図(基本計画第1章から8章を大きく4つにカテゴリ化)を示し、基本計画に記載するKGI/KPIの達成が相まって、10年後の下関として、叶えたい4つの希望的・挑戦的な目標として掲げます。	A【反映する】
407	基本構想	28	○	本市の主な課題と「目指すまち」の2つの目標を結びつけて、目標を掲げる背景がわかるようにすると良いと思います。	まず、序論において本市の主な課題を基本計画における章ごとに記載し、これら解決に向けたまちづくりの基本理念「可能性を築くまち」を掲げ、実現に向けた展開図(基本計画第1章から8章を大きく4つにカテゴリ化)を示し、基本計画に記載するKGI/KPIの達成が相まって、10年後の下関として、叶えたい4つの希望的・挑戦的な目標として掲げます。	A【反映する】
408	基本構想	31	○	ゾーンの役割をもう少し具体的にしたほうが良い。具体的な地名を記していないというお話があったが、地名を記して分類したほうが当事者意識が生まれるのでまちづくりの意識が高まると思う。	全体的なイメージ図、及び簡潔な説明(P31)を示しています。詳細な説明となるとかなりの分量となるため、ご意見を踏まえ、詳細な内容を示している関連個別計画を記載します。	A【反映する】
409	基本構想	31		ゾーニングはあくまでイメージ創りであり、行政課題との関連は薄く、これに強く影響を受けるべきではない。	ご指摘のとおりと考えます。	C【今後の参考・その他】
410	基本構想	31.32	○	図の中にどのようなことを形成するのかを記入した方がより分かりやすいと感じた。例えば都市拠点ゾーンには高度な都市的サービスを担うと図に示し、その図の前か後のページにそれぞれのゾーンの詳細を書いた方が分かりやすい。	全体的なイメージ図、及び簡潔な説明(P31)を示しています。詳細な説明となるとかなりの分量となるため、ご意見を踏まえ、詳細な内容を示している関連個別計画を記載します。	A【反映する】
411	基本構想	31.32	○	山陰の方は、田んぼや山以外に何もなくてあまり行く気にならない。自然を生かして、マイナスイオンを感じられるような場所をつくと足を運ぶ人が増えるのではと考える。(今の若者は自然が好きな人多いため)	包括的なものではありませんが、P31に掲載しており、具体的な施策等は実施計画や個別計画においてお示しいたします。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
412	基本構想	32		地域別まちづくりの方向性に関しては適切だと考えます。 しかしながら、海岸環境共生ゾーンおよび田園環境共生ゾーンには過疎集落や限界集落が多いことを踏まえると、これらの集落を整理淘汰し、主に高齢者からなる住人の都市拠点ゾーン、すなわち中心市街地への移住・集住を促すことが下関市の持続可能性および中心市街地の再生にとって必要不可欠であると考えます。	地域別まちづくりの方向性については、包括的ではありますがP31に掲載しており、具体的な施策等は実施計画や個別計画(過疎計画や地域再生計画)等でお示してまいります。人口減少社会にあっても、持続可能な都市を目指し、既存市街地の再編、既存施設のリニューアルなど、未来の都市に相応しい都市機能の集積を進めているところです。 また、都市部から農山漁村部までにいたる多様な地域特性をもっている本市だからこそ、旧四町にも拠点を位置づけるなど、各地域においても、生活利便施設などを誘導し、居住環境の向上を図るとともに、自然環境をはじめとした、豊富な地域資源を活かした、地域再生にも取り組んでおります。	C【今後の参考・その他】
413	基本構想	32	○	地域連携軸の分け方の詳細が必要である。	包括的なものではありませんが、P31に掲載しており、具体的な施策等は実施計画や個別計画においてお示しいたします。 なお、詳細な説明となるとかなりの分量となるため、ご意見を踏まえ、詳細な内容を示している関連個別計画を記載します。	A【反映する】
414	基本構想	26-30		「10年後の世の中は、どうなっているのか?」(10年後の世の中)、そして「自分達は(10年かけて)10年後にどうなりたいのか?」を、もう少ししっかり記述していただきたい。	まず、序論において本市の主な課題を基本計画における章ごとに記載し、これら解決に向けたまちづくりの基本理念「可能性を築くまち」を掲げ、実現に向けた展開図(基本計画第1章から8章を大きく4つにカテゴリ化)を示し、基本計画に記載するKGI/KPIの達成が相まって、10年後の下関として、叶えたい4つの希望的・挑戦的な目標として掲げます。	A【反映する】
415	基本構想	29-30		■10年後の下関 ○2023年基準値の根拠が分からない。 ○2034年目標値 100%、若者(39歳以下)社会減ゼロ はあるのか。表現として不適切である。	基準値は、令和5年度に実施した市民アンケートの結果によるものです。 目標値は基本計画における第1章~第8章に掲げる、各種施策のKGI(ゴール目標)KPI(目標指標)の着実な取組により目指す希望的・挑戦的なものとなっています。	B【反映済み・原案のまま】
416	基本構想	29-30		不要なページ 現実と乖離したイラストでごまかすのはやめてほしい。	原案ではデザインについて着手しておりませんので、今後冊子化する中で対応してまいります。	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
417	基本構想	29-30	○	イラスト・写真挿入ページの見出しにある「暮らしやすい、住みよいまち」と「若者でにぎわうまち」が表現のニュアンスはわかるのですが、どこからやってきた目標かわかりにくい。「目指すまち」に合わせ、それに沿うコンテンツに揃えてもよいのでは、と思いました。また、コミュニティを表す写真やイラストなど、一概に表現できるものがないものが多すぎるように思います。実際の下関市内の取り組みなどを事例にあげるのでしょうか。イメージが湧きやすく、市民にとっても身近であり、意識の高まるもの(自分たちが事例になっていたらうれしい、やる気につながるなど)考慮があると嬉しいなと思います。	いただいたご意見は、今後の検討の際に参考とさせていただきます。	C【今後の参考・その他】
418	基本構想	31-32		<p>■テーマはあるが、「写真/イラスト」なし。何故示さないのか。 ○掲載する「写真、イラスト」は、「目指すまち」の記述とマッチしたものとすべきでは。 ※示されてないので、個別に意見が言えない。</p> <p>■地域別まちづくりの方向性 ○ゾーンの形成 ○地域連携軸の形成 ※ゾーンに分割して方向性を示すとあるが、都市、環境ゾーン分割の分割は格差を誇張するのでは。また、ゾーンの形成方向は、薄ペラの文章で記述されており、どうしたいのか全く分からないし納得できない。</p> <p>※豊田町は、「田園環境共生ゾーン」とされており、「豊かな自然と共生し、その恵みを活かしたまちづくりを推進するエリア」とされているが、住民としては、自然との共生も大事ではあるが、第一に住んでいる人が支障なく生活でき、まちが活性化することと考える。 ※他のゾーンについての記述も納得できない。</p>	<p>原案では写真・イラストを含む、デザインについて着手しておりませんので、今後冊子化する中で対応してまいります。</p> <p>地域別まちづくりの方向性については、包括的ではありますがP31に掲載しており、具体的な施策等は実施計画や個別計画(過疎計画や地域再生計画)等でお示してまいります。人口減少社会にあっても、持続可能な都市を目指し、既存市街地の再編、既存施設のリニューアルなど、未来の都市に相応しい都市機能の集積を進めているところです。</p> <p>また、都市部から農山漁村部までにいたる多様な地域特性をもっている本市だからこそ、旧4町地域にも拠点位置づけるなど、各地域においても、生活利便施設などを誘導し、居住環境の向上を図るとともに、自然環境をはじめとした、豊富な地域資源を活かした、地域再生にも取り組んでいます。</p>	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
419	基本構想	31-32		地域別まちづくりというが、都市拠点ゾーンに入っている地域もドーナツ化が進んでおり、商業面でも地盤沈下が著しい。住民の同意も得ずに、勝手に〇〇ゾーンを設定するのはおかしい。	地域別まちづくりの方向性については、包括的ではありますがP31に掲載しており、具体的な施策等は実施計画や個別計画(過疎計画や地域再生計画)等でお示してまいります。人口減少社会にあっても、持続可能な都市を目指し、既存市街地の再編、既存施設のリニューアルなど、未来の都市に相応しい都市機能の集積を進めているところです。 また、都市部から農山漁村部までにいたる多様な地域特性をもっている本市だからこそ、旧四町にも拠点を位置づけるなど、各地域においても、生活利便施設などを誘導し、居住環境の向上を図るとともに、自然環境をはじめとした、豊富な地域資源を活かした、地域再生にも取り組んでおります。	C【今後の参考・その他】
420	基本構想		○	無いに等しい。市民が一丸となるイメージのもと作られた文章、データではない。役所っぽい。そこを変えて！	ご意見、ご感想として承りました。	C【今後の参考・その他】
421	基本構想		○	総合計画の市民説明会を、下関市内の大学で講義してほしいと思った。大学4年間を下関で過ごすので、興味を持つ学生は多いと思う。自分のまちとして愛着をもつ人が増えるのではないか。	今回、一部の大学ゼミのご協力で大学生向けの出張説明会が実現しました。ご提案のように市内の大学生に興味をもっているように取り組んでまいります。	C【今後の参考・その他】
422	基本構想			まちづくりの基本理念と4つの視点(経済・生活・共生・人)は、実務的で立派にできていると思います。ただ、残念なのは、この基本構想には、「こんな都市でありたい!」「こんな都市を目指したい!」という、市民の動機づけとなる「市民が目指す都市像」が描かれてない。これがあると、まちづくりの基本理念が生きてくると思います。 そこで、この第3次下関市総合計画(原案)を一通り読んで、目指すべき都市像を考えてみましたので参考までに提案します。 新たな都市像:世界に誇る3つの橋 花火と食と笑顔でもてなす 国際観光都市・下関 (3つの橋は関門橋、角島大橋、人工島橋です。なお人工島橋は、下北大橋に代わります。)	ご意見のとおり、基本理念に掲げるまちづくりは、市民が主役であり、自分事として参画していただきたいため、市民の動機付けは大変重要であると認識しております。 そのようなことからまちづくりの基本理念は、市民に向けたメッセージとして、周知を図ってまいります。	C【今後の参考・その他】
423	序論	2	○	前回の第2次下関市総合計画の概要まとめ、結果、反省点などを入れていただきたかった。前回の結果等が見えないと、今回の策定への意見が主観なものになる気がしました。	現在の第2次総合計画の振り返りにつきましては、総合計画審議会にはお示した上で、審議を重ねてまいりました。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
424	序論	2		本文では「このような中で、本市は、令和3年(2021年)4月に施行された「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき、引き続き、旧豊田町、旧豊北町が一部過疎地域として指定を受け、翌年の令和4年(2022年)4月には新たに、旧豊浦町が一部過疎地域に追加指定されるなど、人口減少・少子高齢化が著しく進行しています。」とありますが、過疎地域の限界集落からの「戦略的撤退」と、中心市街地の活性化のために限界集落の住民の中心市街地への移転促進が必要であると考えます。	都市部から農山漁村部までにいたる多様な地域特性をもっている本市だからこそ、旧四町にも拠点を位置づけるなど、各地域においても、生活利便施設などを誘導し、居住環境の向上を図ると共に、自然環境をはじめとした、豊富な地域資源を活かした、地域再生にも取り組んでいます。	C【今後の参考・その他】
425	序論	2		この前の10年計画の実施状況や問題点などがあって初めて今後10年を考えられると思うが、全く取り上げられていない。「新しい資本主義」「リスクリング」といった、言葉だけが先走り、計画策定の根本姿勢が定まっていない。 P9~P12の人口動態については、数だけでなく、地域的にどのように変化しているかもとらえる必要がある。 P13~P23までのアンケート結果のグラフ化は必要か？むしろ、自由記述に見るべきものが多かった。 (字が小さく見えにくく、一方で不要な空欄が多いと感じた)	現在の第2次総合計画の振り返りにつきましては、総合計画審議会にはお示した上で、審議を重ねるとともに、本市をとりまく社会的背景を踏まえ、策定に至りました。 地区別の人口動態については、今年度末に予定している人口ビジョンの改訂の中でお示しいたします。 市民アンケートのグラフ化は、特に注目すべきアンケート結果をわかりやすく配置したものです。	C【今後の参考・その他】
426	序論	3		■計画の構成 ○基本構想、基本計画 の意見を求めた結果を、何時、どのような過程で修正するのか。また、修正した場合には、内容について再度意見を求めることはあるのか。 ○今後の審議、公表の予定は決まっているのか。 ○「実施計画」は、何時、どのような過程を経て作成するのか。また、市民の意見を述べる機会はあるのか。公表予定、方法はどのように考えているのか。	○今回のパブリックコメントや市民説明会でいただいたご意見をもとに、市役所内で原案の見直しを行い、総合計画審議会において審議いただいたものが最終原案となり、議会の議決をかります。 ○11月に総合計画審議会を開催します。パブリックコメントでいただいたご意見と、それに対する市の回答は11月末に市ホームページにおいて公開予定です。 ○実施計画は、現在作成中の次期総合計画の策定後、令和7年6月に策定し、市議会への報告を経て、市ホームページにおいて公表予定です。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
427	序論	3	○	10年間の目標に到達に向けたステップアップのような図があると理解されやすいように思います。5年で計画の見直し・検証を行うことも、ぜひ図式に加えてください(目標基準年度の令和11年に印をつける等)。	毎年、有識者会議にはかりローリングを行い、KGI(ゴール目標)KPI(目標指標)の達成状況や、効果測定及び見直し検討を行った上で、市ホームページにおいて公表します。	B【反映済み・原案のまま】
428	序論	4		本文では、「スタートアップ(新規創業)人材やイノベーション人材の育成、人材確保の支援などに取り組むことが求められています。」と書かれていますが、これがまさに今の下関市にとって重要な課題であると考えます。	ご指摘の記載については、短期的な視点と長期的な視点が必要であると考えています。 まずは、スタートアップ企業との連携やイノベーション人材がこれからの地域経済の活性化や発展に有用であることを示します。そして、長期的な視点では、若年層をターゲットとしたアントレプレナーシップ教育プログラムを行い、今後の地域を担う人材を育成し、持続的な地域の活性化を目指します。	C【今後の参考・その他】
429	序論	4	○	<p>・P4(3)テレワークについて</p> <p>①国内の都市部であれば理解できる話であるが、下関市の主要産業・事業の割合、業種別のテレワーク実施率等のエビデンスを元に分析して、今後の市内での需要をある程度想定しての裏付けあつての記述か?(ネット上に出ている調査は地域、業種にかなり偏りがあるためあまり参考にならない…)</p> <p>②個人の価値観やライフスタイルが多様化→テレワークとの記載について 本市の現状において、どのような理由で必要なのか(意味が通らない)理解できる文面ではないので、理由があれば説明に加えるべき。</p> <p>すれば、この計画に書くほどの事象ではないように</p> <p>③本市においてこの計画に記載するほど一般化されないように思うし、10年後も(エビデンス次第であるが)記述するまでもない広がりしか見せないと思う。これより注力すべきことはこの項目内に多数あるので、分散させずに取り組むべきだと思うが如何か?本市において広く需要も調査せず導入が必要と判断されているならば再検討すべき。</p>	P4-5については、「本市を取り巻く社会的背景」として、国をはじめ、他都市の動向を示しております。 そのような中で、本市においても、現在テレワークによる移住施策に取り組んでおります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
430	序論	4		東京の新宿区は行き詰まりを感じた行き場のない人向けの場所「きみまも」を開設しました。本市も他人事ではなく、一定数対象者がいると予想され、山口県最大の都市として開設を検討する意味はあるように思います。	本市においてご提案のような施設は設置しておりませんが、社会福祉協議会内に「生活サポートセンター下関」を設置しており、生活に困りごとや不安を抱えている方に対して、専門の支援員が寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行っております。	C【今後の参考・その他】
431	序論	6		「長引く少子化のトレンドを反転させなければなりません。」とありますが、少子化の流れを反転させることはもはや不可能という研究結果もあることを踏まえると、少子化を所与のものとして受け入れ、それを前提とした政策立案が必要なのではないかと強く考えます。	少子化は、たいへん深刻な問題です。令和5年12月22日、次元の異なる少子化対策に向けて「こども未来戦略」が閣議決定されました。「こども未来戦略」では、少子化を我が国が直面する最大の危機と位置付けた上で、若年人口が急激に減少する2030年代に入るまでが、急速な少子化・人口減少に歯止めをかけるラストチャンスとし、若い世代の誰もが将来に明るい希望をもてる社会を作るため、我が国の持てる力を総動員して少子化対策と経済成長の実現に取り組んでいくとしています。市としてもこれに的確に呼応することとし、総合計画のもと、充実したこども・子育て支援をはじめ、少子化対策に資する施策を展開してまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
432	序論	6	○	<p>・P6(1)産業・就業「スタートアップの推進によるイノベーションの創出」の記述について ④対象が広すぎる。どのような領域(業種)のスタートアップか少しでも根拠に基づくイメージして文言を入れるべき。また、そのような具体がないのであれば、検討から入るべき。 下関にあった方がいいもの(欲しいもの)、現実、見通し、再現性が混在し、整理されていないように思う。でなければ具体性に欠けるただの理想になり、抽象的な取組ばかりになることを危惧している。(現在進行形)</p> <p>例)(5)では「災害」のような括りではなく、台風、高潮、地震、津波とある。 食・農林水産・AI・IT・ロボット・電気・インフラ・医療・健康・・・等</p>	<p>現在、本市らしいスタートアップ戦略を策定中で、本市の特性を活かした分野に絞り、まずはその分野での成功事例を創出することを目指しています。</p>	B【反映済み・原案のまま】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
433	序論	6	○	<p>・P6(2)交流・にぎわいについて ⑤国内で言われる一般的な現代の観光論の潮流に乗っているだけの印象しかない。(エリアビジョンのポンチ絵等の青写真)前回計画に含まれる個別計画にも数値的な様々な試算(経済効果、全体予算、観光客数、人口動態数、市に及ぼす効果等…)がないことも不安材料である。 青写真でいいので(可能なら根拠に基づく見通しが良いが)滞在型観光に転換した先の、観光を通した10年後のビジョンを入れた方が良い。そうでなければただの観光狂い、観光傾倒である。例)後発の投資創出についての言及、人口創出、シビックプライド等</p> <p>・P8(8)行政経営について 前半の部分「市民の参画～求められています。」に関して ⑥「行政情報の多様な媒体による発信や市民による提言機会の拡大」「情報公開による行政の透明化」についてやって当たり前。今までも公開する内容、頻度に関しては行われているように思う。今更、書くまでもない。</p> <p>現状、情報公開は行なっているが市民に対して透明性は薄い。それはここ10年で住民の情報収集における媒体の変化が大きいためである。今の認識以上に、根本的な部分の見直しが課題である。具体的に個別計画等を進めていくためにも課題として認識する必要がある。</p> <p>この観点がない限りは、情報の共有や市民の声を市政に反映するハード面が整っても状態は改善しないことは明白。</p> <p>この前提があるなら、【1.本市を取り巻く社会的背景/P4~5】に、住民の情報収集における媒体の変化(テレビ、新聞、市報、回覧板、口コミ)それに加え、情報収集の思考の変化(娯楽と情報収集を兼ねている。例/X、LINE使用時にニュース、インスタのストーリー)等を「本市を取り巻く社会的背景」に加味するのが望ましい。</p> <p>参考資料 ※総務省 主なメディアの利用時間と行為者率 スマホ(普及率2013/37%→2023/96%) ※モバイル社会研究所</p>	<p>⑤総合計画においては、「観光消費額」「観光客数・宿泊客数」を目標指数に設定しており、現在、「下関市観光交流ビジョン」(R7-R11)の策定も進めています。本市における観光はリピート率が高く、市内市外との連携強化による新たな魅力づくりを進め、「何度訪れても新しい魅力に出会える観光交流都市・下関」をテーマとし、本市の観光の将来の在りたい姿としています。</p> <p>⑥「本市を取り巻く社会的背景」においては、あくまで主なものを取り上げております。 ご指摘の広報広聴については、「本市の主な課題」P8(8)及び第8章「行政経営」において現状と課題、取組の方向、主な取組について、他のご意見を踏まえ、原案を修正します。</p>	A【反映する】
434	序論	6	○	<p>課題についてもう少し簡単にまとめてほしい。箇条書きにしてもいいのではないか。</p>	<p>できるだけわかりやすい説明を心掛けていることから、文章が長くなっているものもございます。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
435	序論	7		「人口減少と高齢化が進行しても、都市の魅力を高めるためには、都市機能を強化・集約し、拠点同士、拠点と地域が道路や公共交通ネットワークでつながれた持続可能な都市空間の形成が必要です。」とありますが、下関市もいわゆる「コンパクトシティ」への転換が必要であると考えます。そのためにも過疎地域からの戦略的撤退・過疎地域の住人の中心市街地への集団移転が必要ではないかと考えます。	人口減少下にあっても日常サービスや地域コミュニティを確保し、持続可能なまちづくりを進めるには、一定エリアにおいて人口密度を維持することが重要です。 本市ではその取組を推進するべく、立地適正化計画を策定し、安全で交通利便性の高い地域への居住・都市機能の誘導・集約に取組み、居住誘導を更に促進するため、転居する際の住宅取得費や家賃等の一部を補助する、まちなか引越しサポート補助金制度などを進めています。 都市部から農山漁村部までにいる多様な地域特性をもっている本市だからこそ、各地域においても、拠点を位置づけ、生活利便施設などを誘導し、居住環境の向上を図ると共に、自然環境をはじめとした、豊富な地域資源を活かした、地域再生にも取り組んでいます。	C【今後の参考・その他】
436	序論	10		グラフによれば、社会減が年を追うごとに増えていますが、下関市を出て行った人がどこへ向かったかだけの分析ではなく、なぜそこへ向かったのかをより深く掘り下げた分析が必要ではないかと考えます。これは社会人としてのキャリアの第一歩として魅力的な、やりがいを得たりスキルを得られたりする企業が下関にはほとんど存在しないことがその一因であると考えます。原因分析を行った上でその結果をこの総合計画に明記し、若い世代が流出する理由に対する具体的な施策・政策を立案することを強く望みます。	ご指摘のとおり、転出者の要因分析については、追跡調査が困難であります。 そのようなことから、今回初めて市内の中高大学生に向けた若者アンケートを実施し、本市からの転出要因等について調査いたしました。今後も引き続き同様の調査は必要であると認識しています。	C【今後の参考・その他】
437	序論	10	○	グラフに対してどう読み取ればいいのかを書いた方が分かりやすいと感じた。例えば、“自然動態から、出生数よりはるかに多い死亡数が分かり、自然増減数はマイナスを更新し続けている”など。	ご意見も踏まえ、原案の記載を変更いたします。	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
438	序論	11		<p>将来人口の推移のグラフは、単に、過去のトレンドを延長しているように見えるが、一方で、P6の主な課題の(3)こども・子育て・教育では、「家庭、学校、地域、職場など本市の総力を挙げて子ども・子育て支援の一層の強化を推し進め、長引く少子化のトレンドを反転させなければなりません」と記している。</p> <p>そのような決意を込めた総合計画ならば、将来人口の推移のグラフは、右下がりのグラフで良いはずはないと思うが。</p> <p>注記を入れて、減少→下げ止め→横ばい→微増へというグラフを提示しても良いのでは？</p> <p>このことは、P28の10年後の下関の3つの項目すべて100%、若者の社会減ゼロという目標にも符合するのでは？</p>	<p>お示しているのは、あくまで現状をベースとした人口推移であって、目標ではございません。</p> <p>これらの実態を踏まえ、希望的・挑戦的な目標値を設定し、できる限り達成することで、好転できるよう取り組んでまいります。特に人口については、基本計画における第1章～第8章に掲げる、各種施策のKGI(ゴール目標)KPI(目標指標)の着実な取組により達成し、人口減少を少しでも好転できるよう取り組んでまいります。</p>	B【反映済み・原案のまま】
439	序論	12	○	<p>SDGsの考え方が生まれた背景として、2008年のリーマンショック以降、“CSR”という考え方の重要性が経済学を中心に強まった。それは、資本合理主義という強靱な思想に対し、別軸(別レイヤー)の思想を持つことが重要としたもの。下関市として、例えば「地域文化の復興」等の強い意思を示すべきページ。全体的にデータとSDGsの紹介にとどまっており何も示していない。</p>	<p>現在の第2次総合計画(後期基本計画)同様に、冊子作成時には、基本計画の各章において、関係の深いSDGsの分野を記載いたします。</p>	C【今後の参考・その他】
440	序論	13		<p>市民アンケートの回収率がわずか34.7%というところに、市民の街づくりへの主体性の欠如、あるいは多くの市民が下関市の将来に対してあきらめの境地に入ってしまったのではないかと強く憂慮しています。P158以下にもあるように、行政DXの徹底により、市民の声が直接、しかも簡便な形で市に届き、なおかつそれらが施策に反映される仕組みの構築を強く求めます。</p>	<p>市民アンケートについては、統計学的に信頼性が確保できるサンプル数を確保しておりますが、市民が市政に参画する意識を高める必要があります。</p> <p>ご指摘のとおり、市民の声が直接、簡便に市に届き、施策に反映されることが重要であることから、広聴業務の更なる推進を図ります。よって、第8章における広報・広聴活動について原案を修正します。</p>	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
441	序論	13		<p>■市民アンケートの調査結果</p> <p>○幅広く意見を聞くことは、大切でありよいことではあるが、幅広くには聞いたかどうか疑問</p> <p>○旧市内と旧4町では抱えている問題は異なると思うが、この点を考慮した設問であったのか疑問。</p> <p>※調査数、回答数も少なく、これで市民の意見が集約されたとは思えない。</p> <p>※アンケートの対象区域、回答区域(旧市内、旧4町)の割合はどうか。</p>	<p>P13に記載しておりますように、市内3,000人に対してアンケート調査を実施しました。年代や居住地域も実際の比率に近づくように無作為抽出いたしました。</p> <p>本調査では、統計学的に信頼性が確保できるサンプル数を確保しております。</p> <p>アンケート回答者の居住地域は以下のとおりです。</p> <p>旧市内76.8%</p> <p>旧4町15.5%</p> <p>未回答7.7%</p>	C【今後の参考・その他】
442	序論	13		<p>市民アンケート:回収率34.7%はあまりにも低いのでは。参考として、何らかの方法で、アンケートの結果全体を提示してもらいたい。</p>	<p>本調査では、統計学的に信頼性が確保できるサンプル数を確保しております。</p> <p>市民アンケートの結果については、市ホームページにおいて掲載しています。</p>	C【今後の参考・その他】
443	序論	14		<p>アンケートにあるように、子育てがしやすく、高齢者が暮らしやすい都市にする為に、世代が違う人々が集いやすく、お互いにあるものを補い合える関係を築いていきたい。例えば、昔なら当たり前であった家庭の味(梅干しや味噌作りを習ったり、若い世代からデジタルの使い方を習ったり)</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>	C【今後の参考・その他】
444	序論	14	○	<p>市民アンケートで「子育てがしやすい都市」をさらに伸ばすイメージとして持っている人が多かったが、なぜ、下関の現状のどこを見て答えているのかを知る必要があると思う。</p>	<p>各種施策において個別計画の策定やアンケートを実施しており、要因を把握しており、これらを踏まえて実効性の高い施策の展開に取り組んでまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
445	序論	14	○	<p>都市イメージなどのアンケートを基に、AIなどを駆使して、下関の近未来都市のイメージ図を作ってみてほしい。</p>	<p>P29-30に10年後の下関市をイメージできる写真・イラストを掲載予定です。</p>	B【反映済み・原案のまま】
446	序論	14.15		<p>20代以下のトップが「若者が多く集まる都市」でしたが、これが現在の下関市の政策において実現していないことへの不満の表れであり、若者が市外へと流出していく原因の主因であると考えます。</p> <p>同様に、15ページでも20代以下は「交流人口を増やし市の活力が失われないようにする」「他の市町村から人を呼び込むため、助成金・サービスを充実させる」に多く回答していますが、これはすなわち若い世代は人口流出を肌で実感しているということであり、政策の工夫により若い世代の人口流出を食い止められる可能性はまだあると考えます。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
447	序論	15	○	人口が減っていく中で、下関市の対策として、私がか切だと考えている項目は、子育て支援の充実、観光、スポーツによる交流人口を増やし、市の活力が失われないようにするの2点がか切だと思った。	ご意見として承りました。	C【今後の参考・その他】
448	序論	16		①アンケート(2)に関して、公共交通機関に対して不満を持っている層が過半数を占めており、公共交通機関の利用促進や車社会からの転換による持続可能な街づくりには彼ら・彼女らのニーズをきめ細かく拾うことが必要であると考えます。説明会にあたり市側もこの課題を認識している旨言及があったことを踏まえ、総合計画策定後、公共交通に関する政策を立案する際には幅広い世代の市民と公共交通機関の実務担当者、加えて大学教員交通政策の専門家による審議会の設置も検討に値すると思えます。 ②アンケート(3)に関して、娯楽施設の不足が若年層の人口流出の主因の一つではないかと考えます。娯楽施設のスタートアップに対して何らかの優遇措置を設けることも検討に値すると思えます。	①本市では、バス・タクシー事業者や有識者(大学教授)、行政関係機関、連合会長等からなる「地域公共交通協議会」を設置しており、情報の共有や、市民生活に必要なバス等の旅客運送を確保し、利用者の利便が増進するための施策や地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項などを協議しております。また、令和5年度に、市内に居住する5,000世帯を対象に、公共交通に関するアンケート調査を実施し、本市の地域公共交通計画の策定に向けてニーズ把握に努めております。更に今後、各地区ごとの交通課題について、地元の方々との意見交換の場を設けることとしており、より詳細なニーズについて確認し、今後の施策検討に活かしてまいります。 ②ご意見は今後の参考とさせていただきます。	C【今後の参考・その他】
449	序論	16	○	表(2)については私も感じていた。もう少し公共交通の便が良ければ、下関に人が残るのではと考える。自由に博多や広島など楽に行けたら、物価が安い下関に移住するのではないかと考えた。	本市としては、都市機能の効率的な配置や集中と併せて、公共交通の合理化と利便性の向上が急務と考えており、交通事業者とともに、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。	A【反映する】
450	序論	18		アンケート(2)に関して、公共交通機関へのニーズそのものは強く存在するものの、自家用車の移動の自由さ、便利さに負けてしまっていると思えます。	本市としては、都市機能の効率的な配置や集中と併せて、公共交通の合理化と利便性の向上が急務と考えており、交通事業者とともに、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。	C【今後の参考・その他】
451	序論	19	○	娯楽施設がもう少しあれば良いと思いました。遠方から下関に来た際に朝まで過ごせるネットカフェなどの施設があれば嬉しいです。	ご意見として承りました。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
452	序論	14-15	○	P16からのグラフに比べて、P14～15のグラフが少し理解しにくく感じた。	複数回答による要因調査での回答集計と、1項目ずつによる評価をお聞きした集計で、質問方法の違いからグラフの形態が異なっております。	C【今後の参考・その他】
453	序論	14-23	○	アンケート結果から読み取れることを書くといい。	ご意見も踏まえ、原案の記載を変更いたします。	A【反映する】
454	序論	4-7	○	「本市を取り巻く社会的背景」と「本市の課題」が対応していたほうが分かりやすい。例えば(1)未曾有の人口減少、少子高齢化であれば、P6(1)は人口減少に対する課題を書いたほうが良いと思う。	ご指摘の社会的背景は主なものをお示しており、そのような時代の中で、本市の課題を基本計画の第1章～第8章における全施策の分野ごとに関連づけてお示したものです。	B【反映済み・原案のまま】
455	序論	9-11	○	グラフの結果、グラフから分かることを文章化して書いていただくと分かりやすく、見る気になりやすいと思いました。(人口が年々減少傾向にある。など…)	ご意見も踏まえ、原案の記載を変更いたします。	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
456	序論		○	<p>「新しい資本主義」の実現に向けた、リスキリングを中心とした人への投資やDX・GXの推進、スタートアップ推進など、新しい時代のニーズや生活スタイルに即した多様な施策、とあるがこれは「新しい資本主義」については岸田内閣の言っているキャッチコピーに過ぎず下関に求められているかどうか検討の必要あり。DX・GXでは意味が分からない人が多いので、きちんと日本語で定義してください。原発をGXという人もいればそうでない人もいる。野山を切り開いて太陽光パネルを設置するのをGXという人もいる。下関にとってのDX・GXを定義しなければ、この計画の意味がない。</p> <p>コロナを経て「一方で、デジタル・オンラインの活用により、時間と場所にとらわれない働き方が進み、多地域居住・多地域就労といった、多様なライフスタイルが創出されました。」とあるが、これは事実でしょうか？ほかの先進国ではオフィスの空室率が向上して戻っていませんが、日本のオフィスの空室は埋まりコロナ前に回復しました。なんとなくのイメージで政策を決めると失敗します。曖昧・データに基づかない印象で議論を進めるのはよくない。</p> <p>「その方策として、リスキリングの促進をはじめ、スタートアップ(新規創業)人材やイノベーション人材の育成、人材確保の支援などに取り組むことが求められています。」とあるが、主語が明確ではない。少なくともアメリカにおいてスタートアップやイノベーションの主体は国家予算に匹敵する巨大資本・巨額の補助金を拠出する国家戦略があります。下関がカラスタなどを作っているのはレベルが違う。スタートアップと小規模の創業を区別しておくべきです。スタートアップは下関では不可能。ヤマグチレポリユージュナリーの悲惨な結果を見ればわかる。小規模企業支援に特化したスモールビジネス支援にするべき。それが地域の経済循環と関係構築につながる。</p> <p>「2050年カーボンニュートラル」について、バイオマス発電が完成しましたが、燃料を輸入するという時点で全然エコではない。単なるグリーンウォッシュである。総合計画に入れる以上、これも形骸化することなく市内・県内・国内の林業を含めた活用を十分に検討してほしい。</p> <p>「価値観の多様化・共生社会」とあるが、まず多数派の最低限の暮らしを保つことが必要。多数派・中間層が弱くなると、少数派への排外が進む。企業の要請に従って安い労働力を外国から調達するだけでは豊かな地域はできない。障害者支援や不登校支援については継続してほしい</p> <p>「持続的な成長には、企業誘致や創業支援による雇用創出、DX推進、企業が抱える人材課題の解決、働きやすい職場環境の整備等が求められています。」とあるが、持続的な成長など表現不可能。人口規模の推移を見ればわかる。それを計画に入れてしまうと、すべてが無理になる。未来世代のことを考えて、いかに規模縮小・定常経済を目指すかを現実的に考えてください。</p> <p>「市の総力を挙げてこども・子育て支援の一層の強化を推し進め、長引く少子化のトレンドを反転させなければなりません。」これも現実的に不可能です。すでに結婚して出産できる世代の人口が減っているので、反転はできない。無理な目標を政策の前提にするのはやめたほうがよい。</p> <p>「教育を取り巻く社会情勢は、少子高齢化の進行、グローバル化・高度情報化の進展等により、急激に変化しており、こども達が持続可能な社会の創り手として、未来に向けて歩いていくことができるよう、「生き抜く力」を養うことが必要です。」この30年程度で下関市の景色、企業活動はそこまで進展していない。人材を都市部・シリコンバレーに供給することが目標ならよいが、地域に根差した人材を育成することを目標にして国・経団連の主導する教育とは一定の距離を置かなければ、地域で活躍できる人材が減る。大学進学者の地元定着割合、商業・工科卒業生の地元定着割合などを検討すべき。</p>	<p>まず、ご指摘の「新しい資本主義」については、キャッチコピーであるため、削除いたします。</p> <p>また、DX・GXといった用語については、冊子化する段階で、用語解説を作成し、説明を加えることとしています。</p> <p>少子化については、たいへん深刻な問題です。</p> <p>令和5年、次元の異なる少子化対策に向けて「こども未来戦略」が閣議決定されました。「こども未来戦略」では、少子化を我が国が直面する最大の危機と位置付けた上で、若年人口が急激に減少する2030年代に入るまでが、急速な少子化・人口減少に歯止めをかけるラストチャンスとし、若い世代の誰もが将来に明るい希望をもてる社会を作るため、我が国の持てる力を総動員して少子化対策と経済成長の実現に取り組んでいくとしています。市としてもこれに的確に呼応することとし、総合計画のもと、充実したこども・子育て支援をはじめ、少子化対策に資する施策を展開してまいります。</p> <p>その他にいただいた貴重なご意見につきましては、今後の検討の際に参考とさせていただきます。</p>	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
457	序論			<p>■第3次下関市総合計画(原案)は、総合計画としては、「画竜点睛を欠く」 <理由> ○市民憲章のない計画は、何故。 ※市民憲章は、「まちの理想を掲げて空間環境的な達成目標を示す」ことと「個々人の生活を快いものにするための社会的な努力目標」である。 ※下関市には、合併2周年に合わせ、「市民の心のよりどころとして、また市民共通の行動指針として掲げた」市民憲章があるはずであるが、本原案には、全く明記されてない。 ※市政の根幹となる総合計画が、「画竜点睛を欠く計画」でよいとは思わない。</p>	原案には掲載していませんが、現在の第2次総合計画同様に、冊子化する際には掲載いたします。	C【今後の参考・その他】
458	序論			約1000人の回答ではありますが、統計上の有効・信頼度は担保されているのでしょうか？市民アンケート結果のグラフのみならず、前回との比較や考察等も入れるべきではないでしょうか？	本調査では、統計学的に信頼性が確保できるサンプル数を確保しております。 また、前回(5年前)との比較も記載しております。	B【反映済み・原案のまま】
459	序論		○	若者の人口移動は下関にある娯楽施設が少ないからだと感じた。遊びたい人が多いはず、特に夜。夜もにぎわうまちにすると良いかなと思う。	若者アンケートの結果からも、にぎわいや娯楽が重要な要素であると認識しています。	C【今後の参考・その他】
460	全体			<p>①資源が乏しい中で自給自足が重要と考えます。(気候、輸入による不安定が今後さらに増加する) ②AIの急速な普及に対するの対応、特に高齢者になるほど対応出来ず、それによる被害の拡大、解釈、使い方等々</p>	<p>①ご指摘のとおり、食料自給率の向上は課題のひとつと認識しており、P36に記載のとおり、持続的な供給体制の強化のため、様々な施策を検討してまいりたいと考えております。 ②市民誰もがデジタルサービスを利用でき、その恩恵を享受できるよう、高齢者等に対するサポート体制を強化し、情報格差(デジタルデバイド)の解消に努めてまいります。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
461	全体			<p>①基本計画、総合計画は「現状と課題」は十分に理解出来るが、実施計画では具体的に5W1H法で実施して頂きたい。</p> <p>②高齢者はデジタル技術の理解と扱い方が分からず避けている。理由：目に見えず「恐ろしさ！！」を優先するため。この点を解消する努力。 ※ICカードの登録、またコロナワクチン接種でも高齢者は判らないが早く対応している。しかし若い方は少ない。そのためポイントを与えての実施でなく、理解と義務の推進を望む。選挙の投票についても低い、この改善。(投票に行かない人、行けない人を考えた罰則も必要かと)</p>	<p>①いただいたご意見は、今後の検討の際に参考とさせていただきます。</p> <p>②市民誰もがデジタルサービスを利用でき、その恩恵を享受できるように、高齢者等に対するサポート体制を強化し、情報格差(デジタルデバイド)の解消に努めてまいります。</p>	C【今後の参考・その他】
462	全体		○	遊ぶ場所を増やす。(海など)ポーカールームとか欲しい。ギャンブルできる場所。カジノしたい。ボクシングや総合格闘技をしたい。バスケットコートを作ってほしい。体験コーナーを増やしてほしい。	若者アンケートの結果からも、にぎわいや娯楽が重要な要素であると認識しています。	C【今後の参考・その他】
463	全体			先日、市民説明会に参加しました。説明は聞きとりやすかったです。ありがとうございます。ただ平日の夕方からの参加は、私たち子育て世代にはとてもハードルが高いので、配信等して頂けると自分の時間で見ることが出来、もっと多くの市民が関心を持つことが出来るのではないかと感じました。	市民説明会という限られた場とはなりますが、開催時期や公開方法については今後の参考にさせていただきます。	C【今後の参考・その他】
464	全体		○	若年者の市外流出は、大学進学等、社会的構造上避けられないUターンIターンをいかに増やすかが問題。市や市民は、それに対して経済的理由を挙げ、誘致等をしがちであるが、根本的に遊び、若者文化の振興を基礎にしなければ、若者が求める生き方に訴求することはない。経済の発展をスタート地点にせず、副次的な要素と捉え、若者(～30代)を主に置いた政策を！SDGsの本質的な理解が未熟だと感じた。	今回の総合計画の策定においては、若者向けアンケートを実施するとともに、若者のニーズに沿った施策を検討してまいりました。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
465	全体		○	<p>豊前田の照明を白から黄色にすべき。白はオフィスで使う色です。コストもたいしてかからない。ふんいきを作るつもりがあるのか。センスを疑います。</p> <p>市を想っております。強めの主張失礼致しました。私なりにやるべきことをやりますので。市役所員の方々も頑張ってください。</p>	<p>豊前田商店街の道路照明につきましては、安全・安心な歩行空間を確保すると共に、魅力的でにぎわいのある街路空間の創出を図ることを目的して、平成30年度から点灯を開始しました。照明の色につきましては、地元の意見を参考にしながら整備を進めて参りました。頂いたご意見を踏まえ、今後の道路整備の参考とさせていただきます。</p>	C【今後の参考・その他】
466	全体			<p>総じて、この計画案は「過去の政策の失敗の原因の分析が不徹底である」「過去の下関市の繁栄・栄光にすぎることから脱却が出来ていない」という二つの重大な欠陥を抱えていると考えます。過去の政策の失敗の批判的検証が必要です。</p> <p>また、市民の側にも「自分の住む街を自分たちでより良くしていく」という当事者意識の欠落が大きな問題としてあると考えます。これらの解決なくして、下関市が衰退のスパイラルから脱出し、再び成長軌道に乗ることは不可能です。</p> <p>そのような視点からの総合計画の修正と、具体的な施策・政策の展開を強く求めます。</p>	<p>現在の第2次総合計画の振り返りににつきましては、総合計画審議会にはお示した上で、審議を重ねてまいりました。</p> <p>ご指摘のとおり当事者意識や市民参画の意識が高まるように第8章の記載を修正し、1人でも多く市民の声を市政に反映することで、自分ごととらえ、市民参画の推進を図ってまいります。</p>	A【反映する】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
467	全体			<p>■市の姿勢は、上から目線で、市民に目を向けていない。 ○説明会では、「本計画は下関市の未来を示す基本となる計画である。」と終始発言された。 ○しかしながら、市民への説明方法の周知、意見募集方法(パブリックコメント)等は、全く不十分である。</p> <p>■市民に「意見募集」、「説明会」の周知が大変に不十分 ■知らなかった市民が多数いる ○意見募集(9月2日~10月18日) ※市報 9月号 P-17 (配布日:8月末) ※市のホームページ 更新日 9月2日 ※回覧等(各個配布) なし ○説明会(10月5日~10月10日) ※市報 10月号 P-16 (配布日:9月末) ※市のホームページ 更新日 9月20日 ※回覧等(各個配布) なし ○市民に周知するには、「回覧」を活用すべきであった ※市報の掲載は、最後まで詳細に読まないことを考えると途中ページでは見逃すことが多々ある。 ※市のホームページを閲覧する人が多いとは考えられない。(市民皆に見えない。) ※市民が一番身近にあり、確実な伝達方法である回覧(全戸配布)を何故活用しなかったのか疑問。 (市民にあまり関心をもってもらいたくないと考えているのではと疑いたくなる。) ※10月の全戸配布には、「下関海峡マラソンのパンフ」が一緒に入っていたが、基本計画の意見募集・説明会より大切なことなのか疑問に思う。</p> <p>■誰でも、支障なく閲覧できる姿勢でない ○閲覧できる場所では、どこでもと思いますが、閲覧箇所に1部置いてあるのみではないか。 ※多数のページ数(162ページ)のある資料を、立って読み込む事はできない。(椅子があるかどうか不明) ※閲覧している人がおられれば、横から入って見ることは出来ないのでは閲覧を諦めざるを得ない。 ※こんな閲覧方法でよいのか。よくない。 ※よって、数部用意し、いつでも、誰でも支障なく閲覧できるようにすべきであった。 また、貸出し用の冊子が数部あってもよいのではないのか。 ※今後の他の種々の閲覧においては、改善が検討されることを期待する。</p> <p>■提出期限について ○郵便の場合は、「必着」ではなく、「消印有効」とすべき。 ※最近の郵便局の集荷、配達事情を考えると、意見書の封書をいつ出したら間に合うかどうか分からない。 ※届くと思って投函しても、期限に届かない場合も考えられる。 ※届くように早く投函しろと言われれば、言葉はないが、全く配慮のない姿勢。</p>	ご意見として承りました。今後の参考とさせていただきます。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
468	全体			<p>①市民アンケートには辛辣だけれど、的を得た意見がたくさんありました。本当に下関市の今後10年の発展を考えるのであれば、パブリックコメントでも寄せられるであろう意見をきちんと取り入れて、計画が進行中であっても、やめるべき事業はやめる勇気を持つことが大切だと思います。市民の税金を使う以上、説明責任はきちんと果たしてほしいと思います。</p> <p>②あと、会場での説明で、パワーポイントを使わず、紙媒体で進めるのはなぜでしょうか。安岡会場では、50分以上も説明に時間がかかりました。(ゆっくりという要望があったのはわかりますが)音響も悪く、市役所の担当の方が長時間回答されるため、質問がしにくく、本当に市民を聞く気があるのか疑問に感じました。</p>	<p>①市民アンケートでいただいたご意見も踏まえ、次期総合計画の策定に努めてまいります。</p> <p>②市民説明会においては、会場ごとに参加者や音響設備が異なることもありご不便をおかけしました。</p>	C【今後の参考・その他】
469	全体		○	<p>大枠について ②0背伸びすることも時には大事だが、基本は自分の現在地を把握した上で行動すること。多少諦めることを認めていかないといろんな箇所が無理が生じてくるし、そのうち実態とかけ離れていく。(現在進行形かも…)</p> <p>②1世間や国の潮流に安易に乗るのはやめるべき。必ず本市に置き換えて実効性を検討をした上で政策として導入していただきたい。</p>	ご意見は今後の参考とさせていただきます。	C【今後の参考・その他】
470	全体		○	主な取組でイメージがつきにくいものに簡単な具体例をつけていただけると助かります。	主な取組の記載につきましては、実施計画や個別計画においてわかりやすくお示しいたします。	C【今後の参考・その他】
471	全体		○	説明会に参加し、市が色々な良い取り組みを行っていることを知りました。その取り組みが市民にあまり伝わっていないことがもったいないと感じました。	市の取組の周知が不十分である点を踏まえ、原案の第8章の記載を修正いたします。	A【反映する】
472	全体		○	主な取組から結果的なことは分かるが実際に行う取り組みが分からなかった。これまで行ってきた取り組みの具体例があるとイメージしやすい。また、今進行中の計画があれば聞きたい。	総合計画は取組の方向性をお示したもので、具体的な取組は今後の実施計画や予算化の中でお示しします。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
473	全体		○	市民にアンケート、直接対話等の形で行政に意見交流する機会を増やしてほしい。	原案の第8章の記載を修正いたします。	A【反映する】
474	全体			現状と課題を踏まえた取組の方向を目指して、策定後の具体的な取組をよろしくお願いします。(8章全てにおいて)	総合計画は取組の方向性をお示したもので、具体的な取組は今後の実施計画や予算化の中でお示します。	C【今後の参考・その他】
475	全体			第3部から各分野における「現状と課題」、「取組の方向性」、「主な取組」、と述べられています。主な取組として掲げたものの中で固有名詞というか特定の場所を指すものについては、再度吟味した方が良いでしょうに思いました。市全体の基本計画なので仕方ありませんが、ゾーンの中でも個別に現状は異なり、小学校区単位での支援というか、少子高齢化、人口減が進む地区においては、地域存続の困難地域が今後増えていくように思われます。そうした地域にも「可能性を築く」ことへ希望がもてるような「第9章」として、特別に提案をしていただけると嬉しいです。	総合計画は本市全体のまちづくりにおける基本理念を掲げ、実現に向けた施策の方向性を基本計画第1章から8章に記載しており、具体的な個別施策や特定の地域については、実施計画や個別計画等の中で具体的にお示してまいります。	B【反映済み・原案のまま】
476	全体			①目標値の数値の根基が理解しにくい。 ②目標指標、目標値の進行管理 実施計画を着実に進めるには、毎年、成果(実績)の評価が大事と思う。年度ごと進行管理が必要と思うが、どんな方法で行うのか、また、進行管理の評価・結果は市民に公表されるのか。	①目標値(KGI・KPI)の根基等は冊子作成時に、参考資料部分でお示します。 ②実施計画の進捗管理においても、毎年ローリングをはかるとともに、各種施策の主要な施策の成果に対しても、市議会や市ホームページにおいて公開してまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
477	全体		○	<p>・些細な点で恐縮ですが、和暦と西暦の扱いの違いを教えてください。目標基準年度がR〇年となっているのに、関連個別計画は西暦のものがほとんどですが、統一や併記はできないのでしょうか。</p> <p>・総合計画では、最上位計画であっても、いつからいつの計画なのか、どういう意図の計画なのか今ひとつわかりにくいです。名前で市民に浸透するよう、例えば「未来計画」や「10年計画」、「未来ビジョン」など周知用に名称を変更すると良いと考えます。</p> <p>・計画が決定した暁には、より多くの市民が、今回決まった構想やスローガンを身近に感じ、肯定的に捉えられるものであってほしいと願います。冊子として手に取りやすい(サイズ感や設置場所の工夫)、デザインによって興味・共感が湧くものであること、またスローガンを日常的に聞く機会、触れる機会があること。このような観点での広報・プロモーションにしっかり注力していただきたいです。総合計画は観光政策などの外に向けた発信ではなく、内側に向けた発信をすべきものです。「インナーブランディング」を意識し、一人ひとりが下関市に暮らすことに「肯定感」を持てる情報発信を、よろしくお願いいたします。「可能性を築くまち」を周知する計画や対象(たとえば、学校など)があれば教えてください。</p>	<p>・関連個別計画の年度表記については、西暦・和暦の併記とし、冊子作成時に対応いたします。</p> <p>・名称等は冊子作成時のデザインの部分として検討してまいります。</p> <p>・まちづくりの基本理念「可能性を築くまち」につきましては、市民をはじめ、下関に関わるすべての方へのメッセージであることから、できる限り多くの方へ伝え、共有し、一体となって、まちづくりを推進してまいります。</p>	A【反映する】
478	全体			<p>全体の計画は、堅実でよく検討されていると思います。また、市民アンケートも大変レベルの高いものでたくさんの市民の将来への思いが感じ取れました。ただ、基本構想案が審議会委員に聞いても示されてなかったのが、今回のパブコメが出るのをわくわくして待ちました。</p>	<p>ご意見ご感想ありがとうございます。</p>	C【今後の参考・その他】
479	全体			<p>市長は、いろいろとしがらみがあると思うが、もっと自身が思うがままに改革を進めて行った方がいい。 もうそれができるチカラはついたと思う。</p>	<p>ご意見ご感想ありがとうございます。</p>	C【今後の参考・その他】
480	全体			<p>戦後、下関には大陸や朝鮮半島から引き揚げてきた方が上陸してきた歴史を最近知った。(小串港など) そういった歴史に触れられやすくしたら、郷土の理解につながると思っています。</p>	<p>下関市は壇之浦の戦い、巖流島の決闘、奇兵隊拳兵など様々な歴史を有しています。お示しの歴史も含めて、様々な歴史に触れることは郷土の理解につながり大切なことと考えております。</p>	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A～C
481	全体			もっと市民に寄り添って、早い施策を。 教育に関して追記すると、グループ指導やオンライン教育など、新しい教育システムを作成し、統合した小規模校から試験的にやればよい。そうすれば旧市内にも人が引っ越してくると思います。一年単位の予算でなく、10年単位の予算計画を作らなくては、学校が改善されていかないと思います。	オンライン授業については可能な学校において実施しており、引き続き効果的に活用してまいります。予算につきましては、将来も見据えた上で、計画的に執行していきたいと思います。	C【今後の参考・その他】
482	全体		○	①電車の数が少ない。 ついつい車で移動という形になってしまいます。 街に出て何かをして軽く飲んで帰るということがしづらいです。 唐戸で再開発を行っていますが、来るのは観光客ばかり、しかも唐戸市場のみとなり、他に活性化してないのが残念です。 地元からするとやはり車でしかいけませんし、イベントがあっても行きづらいです。 イベントなども地元の人々の活性化に繋がる魅力がないと観光地ばかりではいずれ魅力が減って来るのではないのでしょうか。 ②商業施設がない ないので、小倉に行ってしまう。 同じ規模のものを作るわけではなく、地元の店を入れ替わりで入れたり、起業者向けにもっといい場所でトライアル出来るような場所を作ったり、もっと挑む姿勢を見せて行くのは大事なのではないのでしょうか？ 下関対して、地元の住民が思っていることはやっぱり福岡には負けるとよく聞きます。ならば都会ではなく、田舎だからできる事を発信出来るような取り組みをして欲しいです。 ③高齢者向けにタクシーサービスを 全員無料など厳しいと思いますが月に一回は使えるチケットや巡回のバスサービスをもっと充実させなければ、今後どんどん年齢層が上がるとともに事故が増えてしまうと思います	①本市としては、都市機能の効率的な配置や集中と併せて、公共交通の合理化と利便性の向上が急務と考えており、交通事業者とともに、利便性の高い公共交通サービスを安定的に提供することを目指し、取組を進めてまいります。 ②地方都市の駅前商業施設の多くが厳しい状況にある中、本市は北九州市や福岡市と近く商業施設も商圏で競合しているため、駅前商業施設も危機感を持って、来店客増加に向けた取組、施設の魅力向上などに努めているところです。 人口が大きく異なる都市圏と同じことをして争うのではなく、地元から支持される、下関だからこそその施設づくりが大切であることは駅前商業施設も理解しています。 下関駅前には本市の顔であるため、本市としても官民が密に連携することで駅前振興を図ってまいります。 ③住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、高齢者の移動手段の確保は重要な課題と考えています。市と各事業者とで引き続き検討してまいります。	C【今後の参考・その他】

No.	該当章	該当ページ	若者	意見・質問等	市の考え方 (回答・対応)	反映区分 A~C
483	全体		○	第3次下関市総合計画(原案)に関する市民説明会への参加者は少なかつたように思います。行きたくなるような工夫、例えば参加者に下関市ごみ袋を配布するなどの試みがあっても良いかと思ひます。	市民説明会への参加者が少なかつたというご意見に対しては、周知方法も含め今後検討いたします。	C【今後の参考・その他】
484	全体		○	下関市総合計画という名称が堅苦しく、市民の間でもピンとこず、市としてもどういふもので、市民にどうしてほしいか(=意見を送ってほしい)を伝えられていないと思ひます。まちづくりの最上位計画をめぐるこの現状が大変もったいないので、「下関市未来計画」「下関市ミライ計画」などに変更してみてもどうでしょう。	名称等は冊子作成時のデザインの部分として検討してまいります。	C【今後の参考・その他】
485	基本構想	31		地域連携軸の形成について重要、ゾーンの形成(各ゾーン)が出来たとしても2項の特に道路、鉄道、バスの交通網が人口不足による衰退が現実化している。この点を基礎構想が具体化される構想にして頂きたい	第5章の方向性をもとに、実施計画や個別計画において実効性の高い施策の展開を図ってまいります。	C【今後の参考・その他】